

平成28年度

埼玉県政世論調査結果の概要

県政世論調査は、県政の重要課題に対する県民の関心、意識、要望などを把握し、施策の立案及び推進の資料として活用するため、昭和43年度から毎年度実施しています。

今年度は、課題調査として「スポーツ振興」「認知症」「水道の利用」の3つのテーマと、定期調査（時系列項目）として「生活意識」「日常生活」「県政への要望」について調査を行いました。

【目次】

○ 調査のあらまし	
I 調査結果のポイント	1
II 調査結果（単純集計結果）	8
1 生活意識	9
2 日常生活	18
3 県政への要望	43
4 スポーツ振興	49
5 認知症	61
6 水道の利用	68
(参考資料) 世論調査実施状況	75

＜本調査の内容及び結果についてのお問い合わせ先＞

埼玉県県民生活部広聴広報課 広聴・知事への提言担当

電話 048-830-2850（直通）

○ 調査のあらまし

1 調査の目的

県民の県政に対する要望、意見及び県民の生活意識などを把握し、県政推進のための資料とする。

2 調査の項目

- (1) 生活意識（昨年と比べた暮らし向き、生活程度、生活全体の満足度、各生活面に対する満足度）
- (2) 日常生活
- (3) 県政への要望
- (4) スポーツ振興
- (5) 認知症
- (6) 水道の利用

3 調査の設計

- (1) 調査地域 埼玉県全域
- (2) 調査対象 満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000
- (4) 抽出方法 住民基本台帳による層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- (6) 調査時期 平成28年7月8日～31日
- (7) 調査実施委託機関 株式会社 サーベイリサーチセンター

4 回収結果

- (1) 有効回収数（率） 2,175（72.5%） 対前年比 +0.6ポイント
- (2) 調査不能数（率） 825（27.5%）
〔調査不能の内訳〕
 - 転 居 35（ 4.2%） 長期不在 73（ 8.8%）
 - 一時不在 312（ 37.8%） 住所不明 28（ 3.4%）
 - 拒 否 327（ 39.6%） 病気・入院 23（ 2.8%）
 - そ の 他 27（ 3.3%）

5 回答者の属性（上段：人、下段：%）

(1) 性 別

全 体	男 性	女 性
2,175	1,105	1,070
100.0	50.8	49.2

(2) 年代別

全体	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
2,175	26	162	279	495	357	465	391
100.0	1.2	7.4	12.8	22.8	16.4	21.4	18.0

6 調査結果の見方

- (1) 結果は、百分率で表示し、小数第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体又はカテゴリーを小計した数値が一致しないことがある。なお、回答者を絞った質問では、質問該当者を100%とするのを原則とした。
- (2) 1人の対象者に2つ以上の回答を認めた質問では、回答の合計を回答者（n）で割った比率を算出しており、通常その百分率の合計は、100%を超える。また、この回答の合計数を M.T.と表示した。

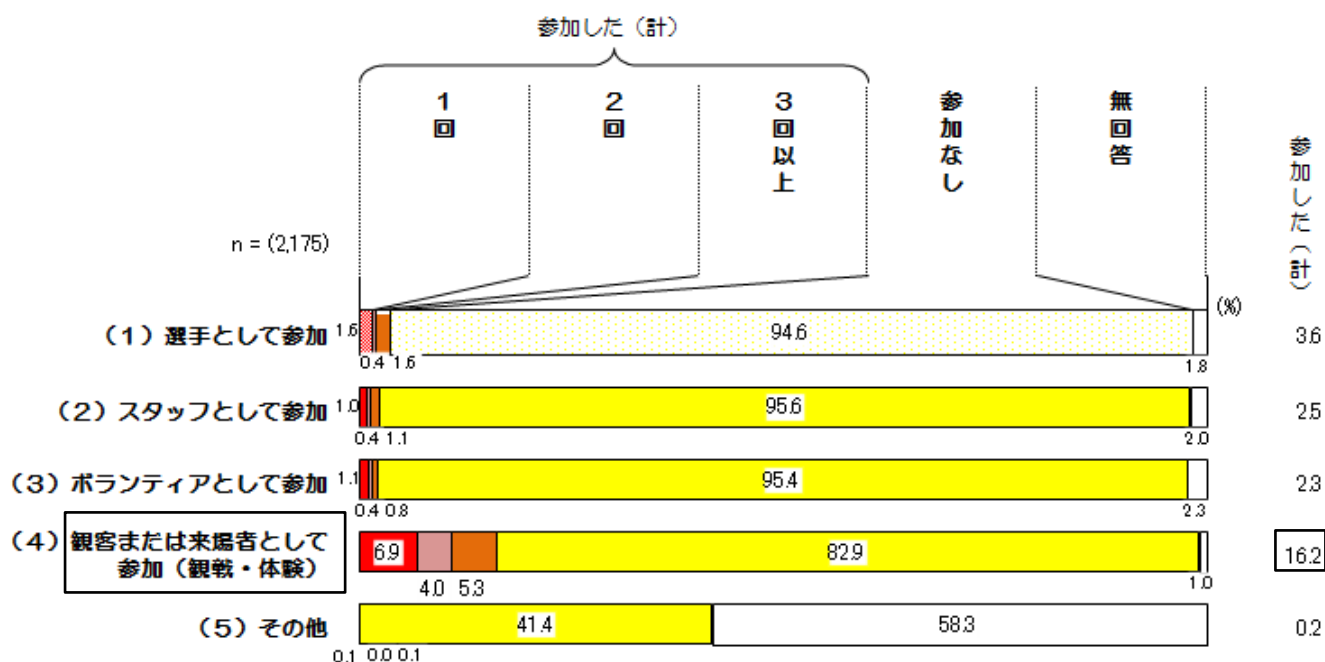
I 調査結果のポイント

1 課題調査

スポーツ振興について

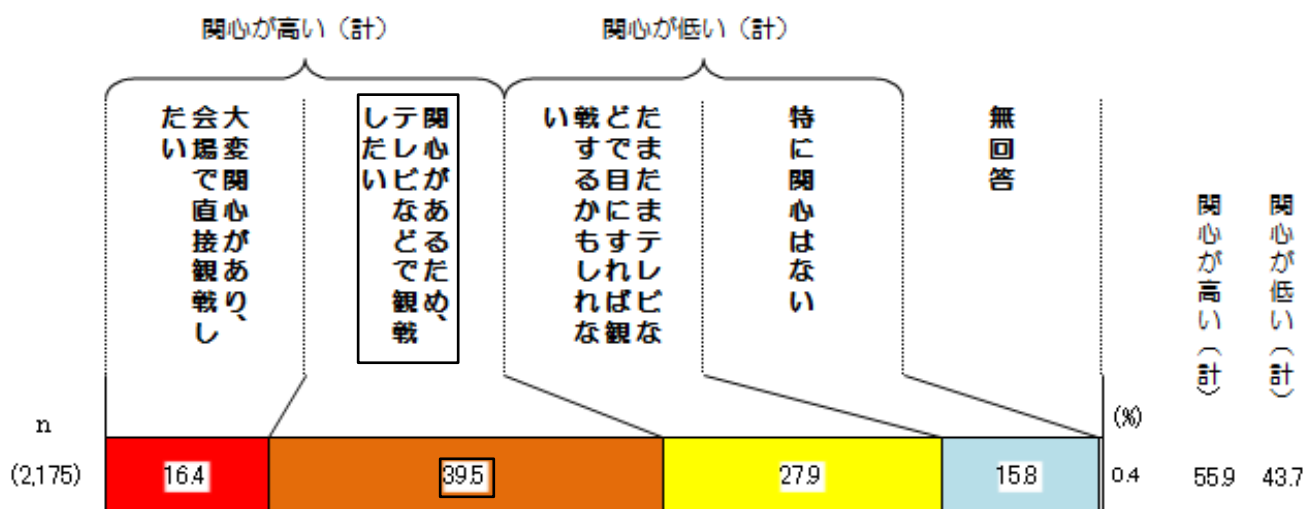
(1) スポーツイベントへの参加状況

- ・『参加した（計）』は観客または来場者として参加（観戦・体験）が1割半ば（16.2%）で最も高い



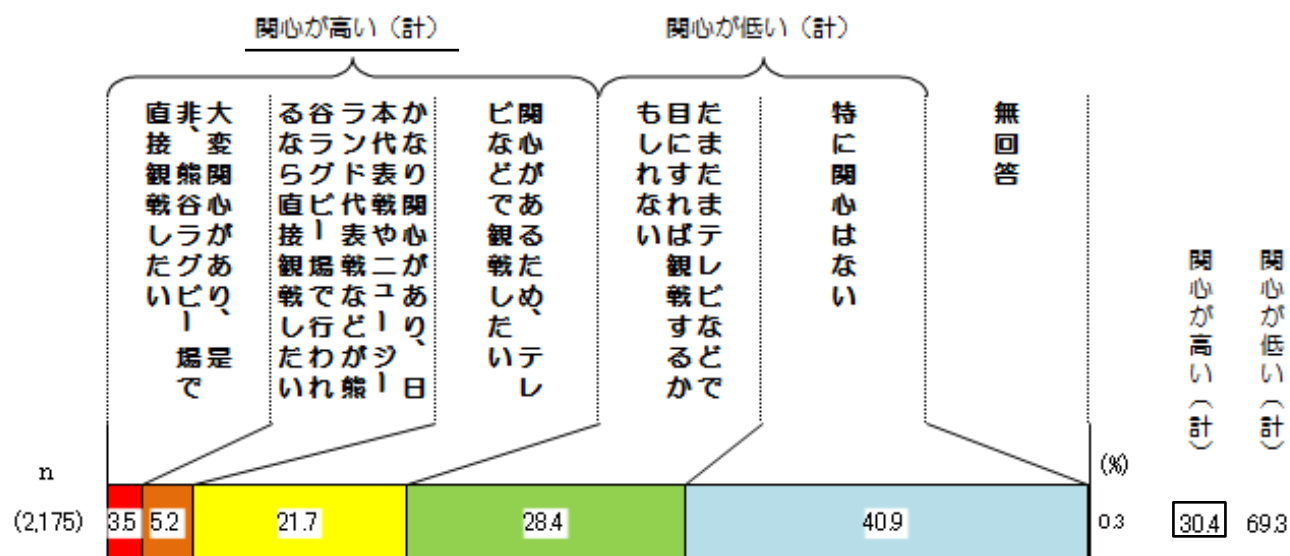
(2) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックへの関心度

- ・『関心が高い（計）』が5割半ば（55.9%）である一方、『関心が高い』が4割強（43.7%）
- ・「関心があるため、テレビなどで観戦したい」が4割弱（39.5%）で最も高い



(3) ラグビーワールドカップ 2019 への関心度

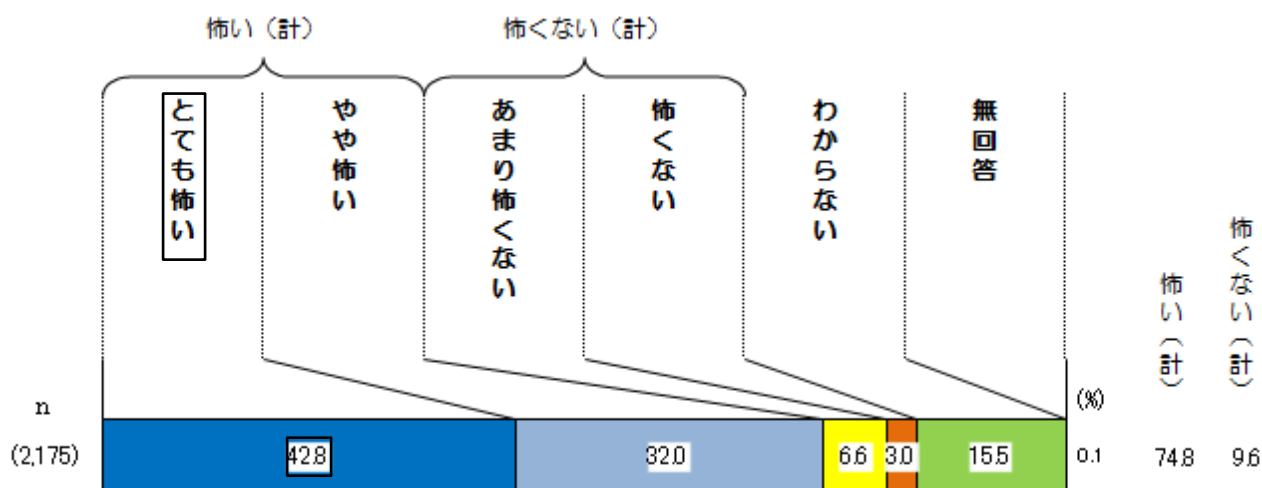
- ・『関心が高い(計)』が 3 割 (30.4%)、『関心が低い』が 7 割弱 (69.3%)



認知症について

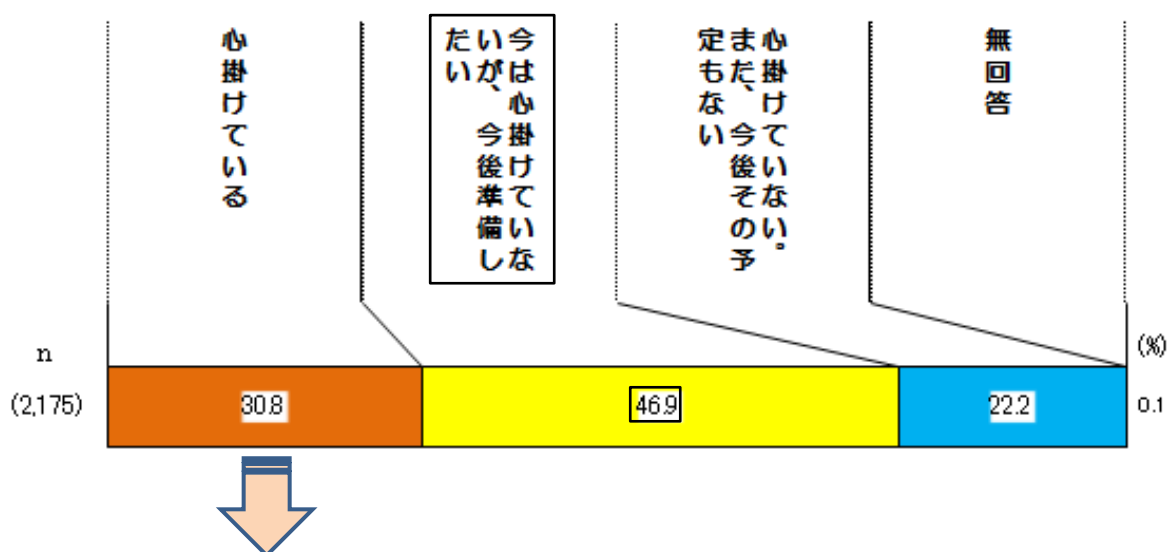
(1) 自分自身が認知症になることに対するイメージ

- ・『怖い(計)』が 7 割半ば (74.8%)、一方で『怖くない(計)』は 1 割弱 (9.6%)
- ・「とても怖い」が 4 割強 (42.8%) で最も高い



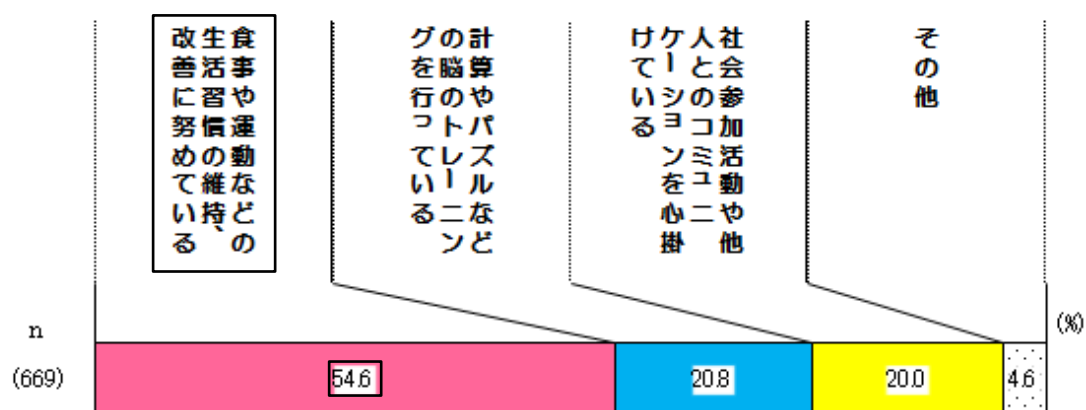
(2) 自分や家族が認知症にならないために心掛けていること

- ・「今は心掛けていないが、今後準備したい」が4割半ばを超え（46.9%）最も高い



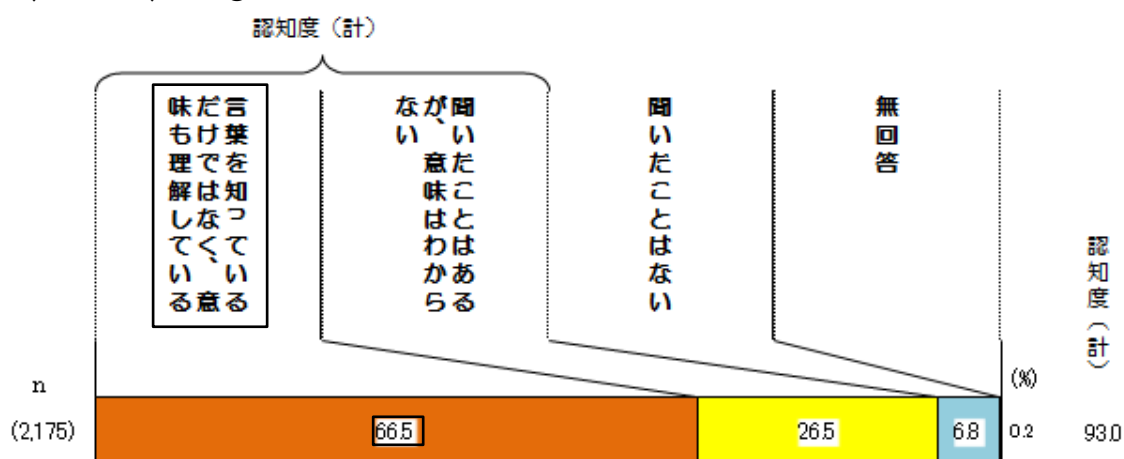
(2-1) 準備している内容 [(2)で「心掛けている」と答えた方に]

- ・「食事や運動などの生活習慣の維持、改善に努めている」が5割半ば（54.6%）



(3) 若年性認知症の認知状況

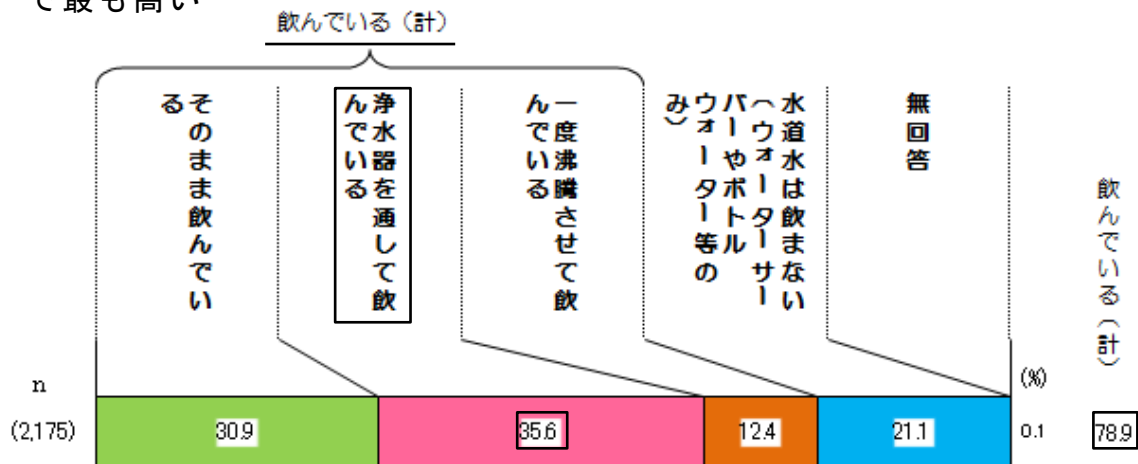
- ・「言葉を知っているだけでなく、意味も理解している」が6割半ばを超えて（66.5%）いる



水道の利用について

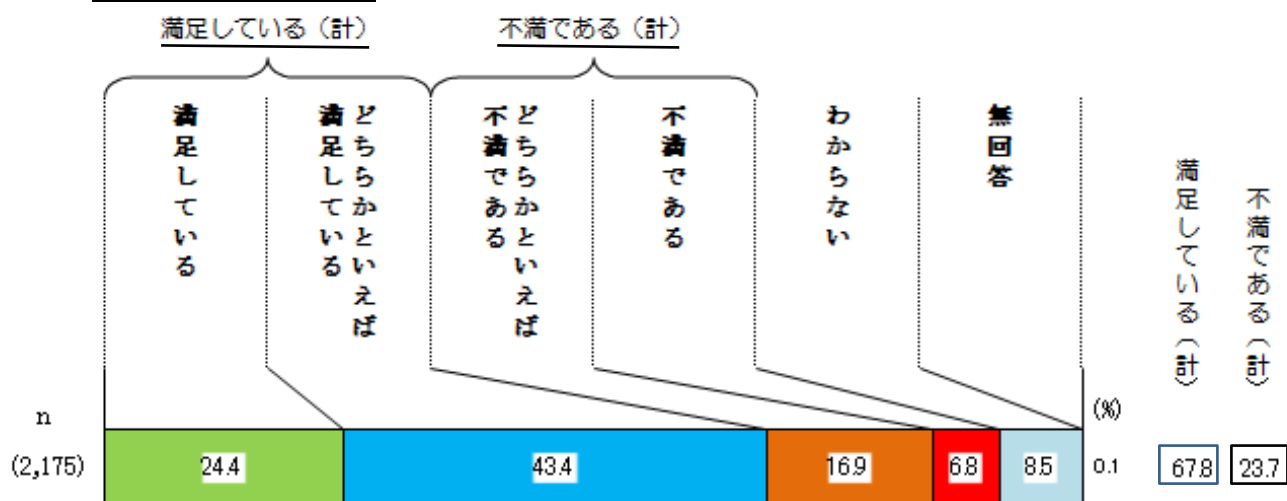
(1) 普段の水道水の飲用状況

- ・『飲んでいる（計）』が78.9%、「浄水器を通して飲んでいる」が3割半ば（35.6%）で最も高い



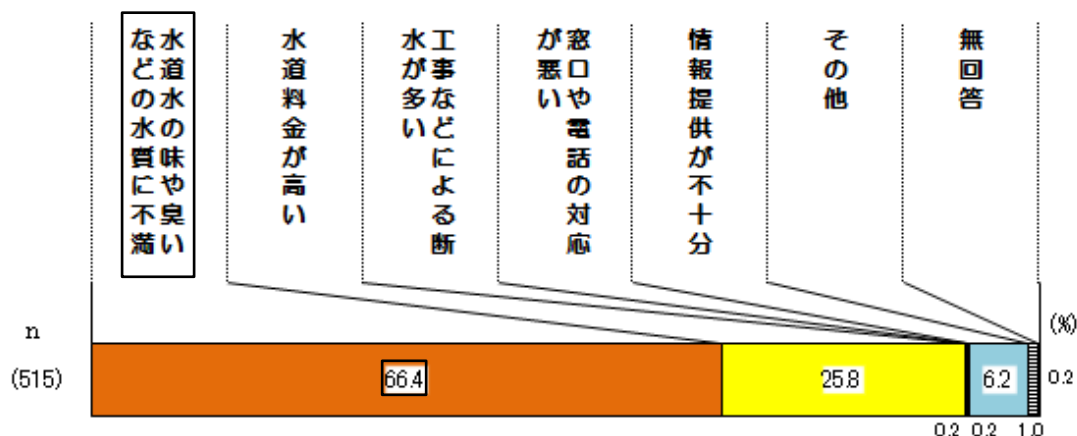
(2) 水道に対する満足度

- ・『満足している（計）』が6割半ばを超え（67.8%）、『不満である（計）』は2割強（23.7%）



(2-1) 不満の理由〔(2)で『不満である（計）』となった方〕

- ・「水道水の味や臭いなどの水質に不満」が6割半ばを超えて（66.4%）最も高い

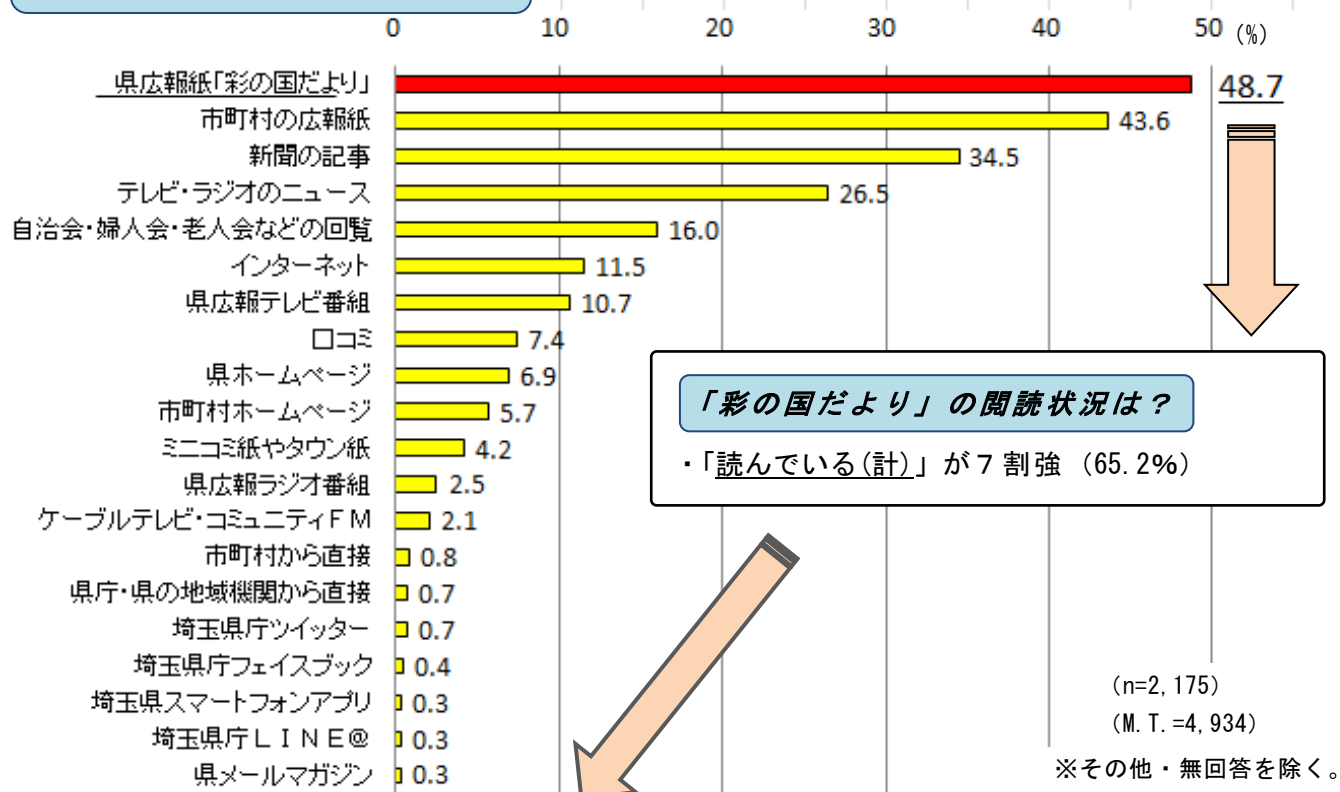


2 定期調査「日常生活」

埼玉県に関する情報の入手先

(複数回答・3つまで)

・「彩の国だより」が1位で5割強(48.7%)

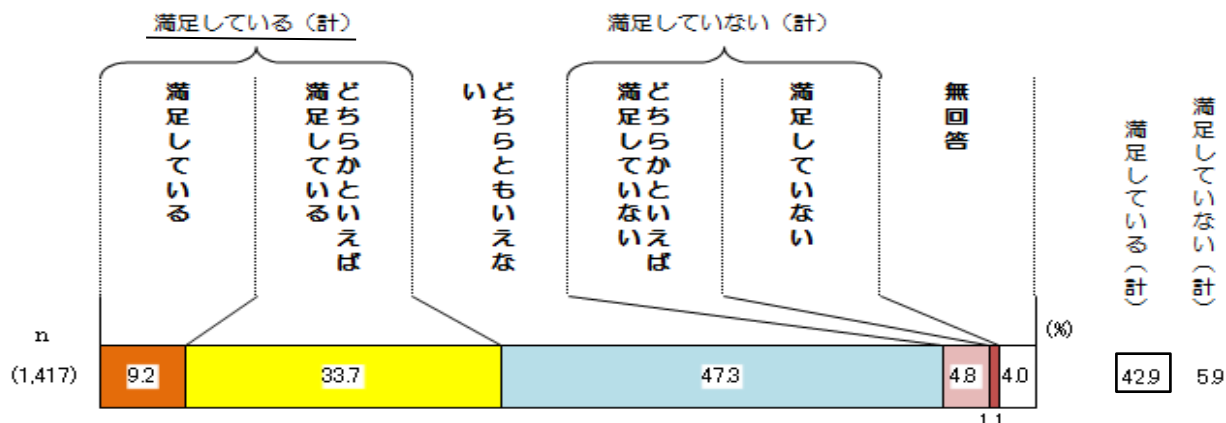


「彩の国だより」の満足度

(「読んでいる(計)」の方に質問)

・『満足している(計)』は4割強(42.9%)

・『満足していない(計)』は5.9%

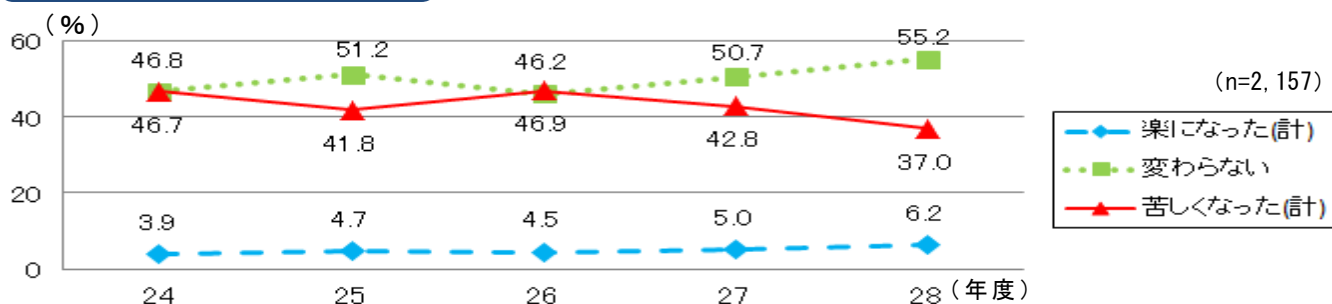


3 定期調査「生活意識」

昨年と比べた暮らし向き

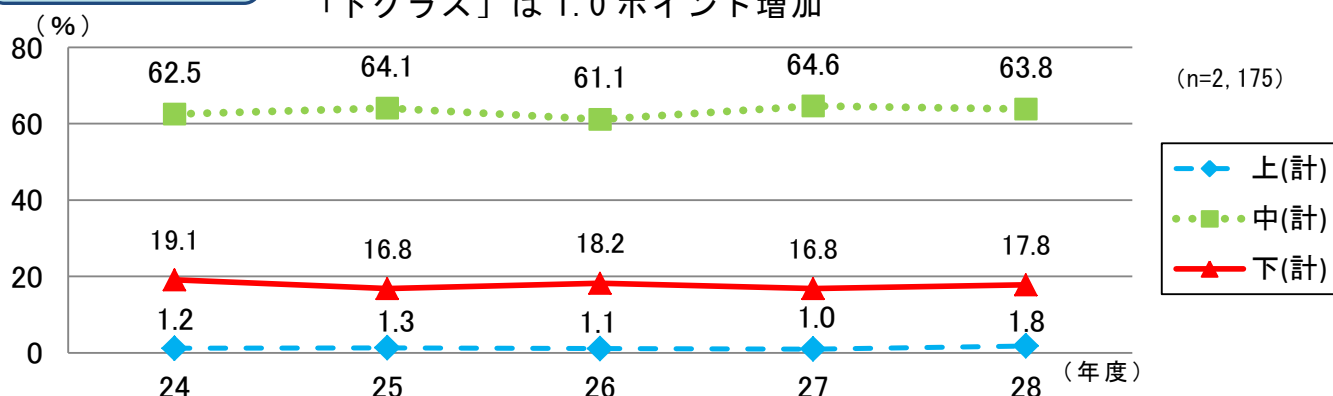
・「楽になった」は昨年より1.2ポイント増加

・「苦しくなった」は5.8ポイント減少



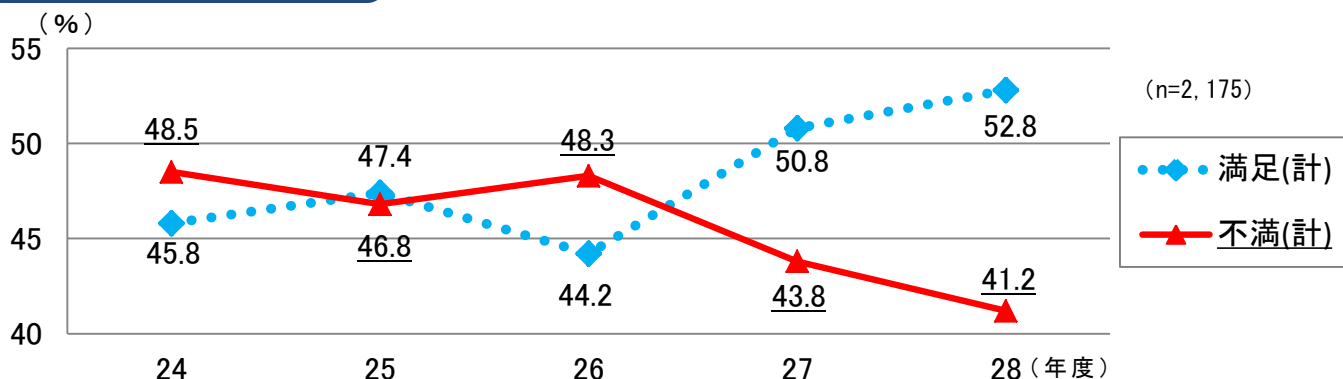
生活の程度

- ・「上クラス」=1.8%、「中クラス」=63.8%、「下クラス」=17.8%
- ・「上クラス」は0.8ポイント増加、「中クラス」は0.8ポイント減少、「下クラス」は1.0ポイント増加



生活全体の満足度

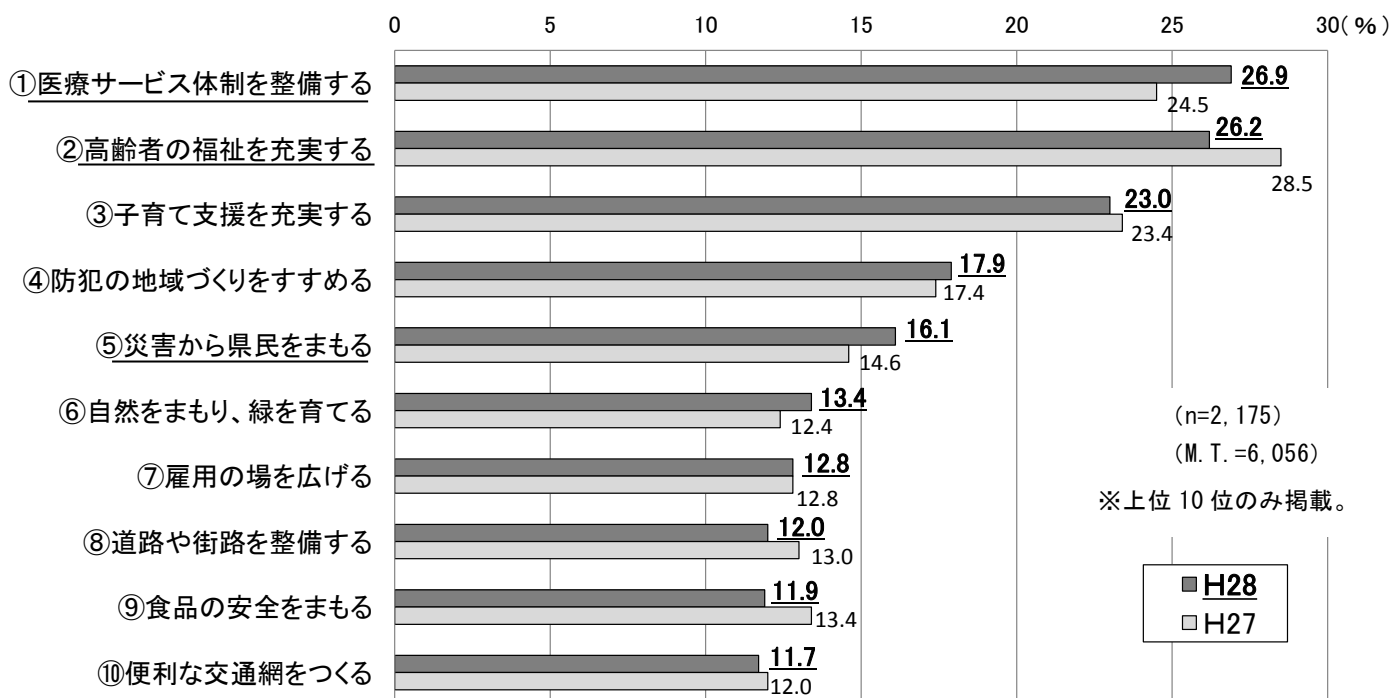
- ・「満足(計)」が「不満(計)」を11.6ポイント上回る
- ・「満足(計)」が2.0ポイント増加、「不満(計)」が2.6ポイント減少



4 定期調査「県政への要望（上位10位）」

県政への要望 (複数回答・3つまで)

- ・「医療サービス体制を整備する」の1位は14年ぶり
- ・「高齢者福祉の充実」の2位は11年ぶり
- ・「災害から県民をまもる」は1.5ポイント増加



Ⅱ 調査結果（単純集計）

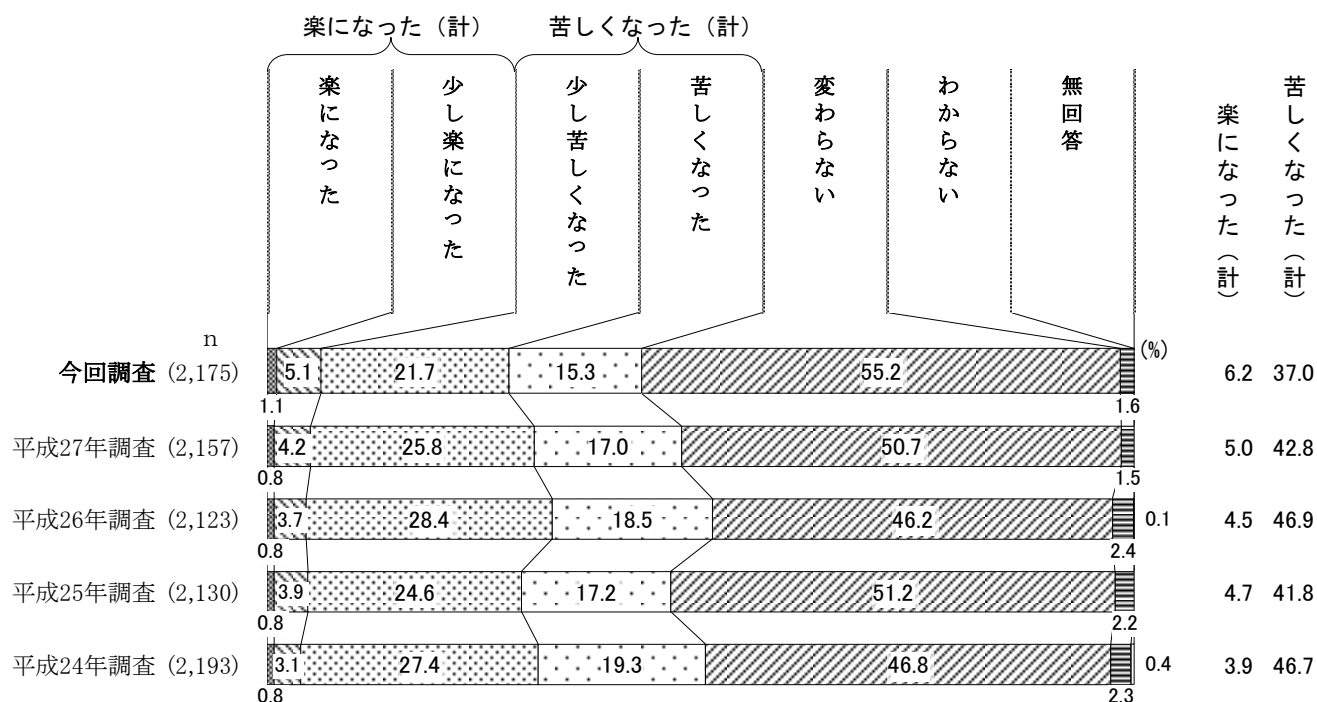
1 生活意識

(1) 昨年と比べた暮らし向き

◇『苦しくなった（計）』が37.0%と前年より5.8ポイント減少

問1 最初に、あなたの生活意識についておたずねいたします。

お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。



暮らし向きが「楽になった」（1.1%）と「少し楽になった」（5.1%）を合わせた『楽になった（計）』は6.2%となっている。一方で、「苦しくなった」（15.3%）と「少し苦しくなった」（21.7%）を合わせた『苦しくなった（計）』（37.0%）は3割台半ばを超えている。「変わらない」（55.2%）は5割台半ばとなっており、『苦しくなった（計）』を18.2ポイント上回った。

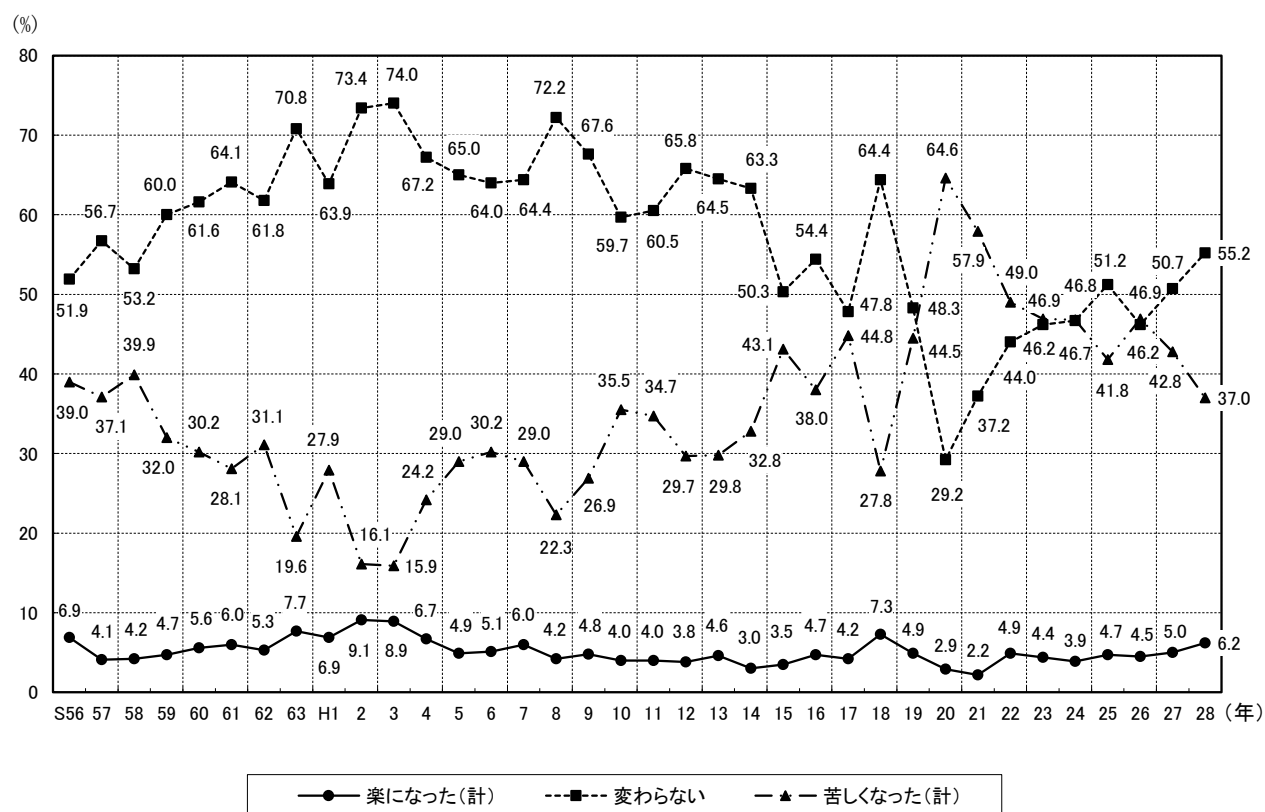
【過去調査との比較】

平成27年調査と比べて、『苦しくなった（計）』が5.8ポイント減少している一方で、「変わらない」が4.5ポイント増加している。

【経年比較】

この調査を開始した昭和56年以降の推移をみると、『苦しくなった（計）』は最も高かった平成20年（64.6%）からの減少傾向に対し、平成26年調査では46.9%と増加に転じたものの、平成27年調査では4.1ポイント、今回調査では5.8ポイントと連続で減少している。

○昨年と比べた暮らし向き・昭和56年以降の推移

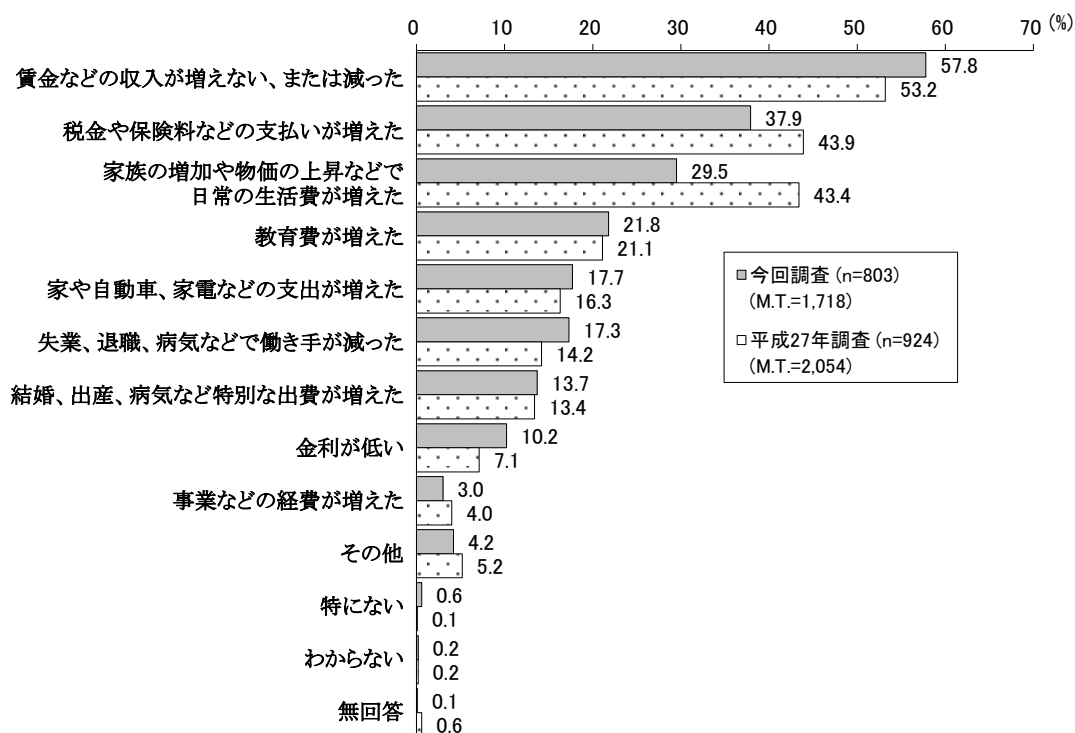


（１－１）暮らし向きが苦しくなった理由

◇「賃金などの収入が増えない、または減った」が57.8%と最も高く、前年より4.6ポイント増加

（問１で「少し苦しくなった」、「苦しくなった」のいずれかを答えた方に）

問１－１ その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



暮らし向きが苦しくなった理由は、「賃金などの収入が増えない、または減った」（57.8%）が5割台半ばを超えて最も高く、次いで、「税金や保険料などの支払いが増えた」（37.9%）、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」（29.5%）、「教育費が増えた」（21.8%）、「家や自動車、家電などの支出が増えた」（17.7%）などとなっている。

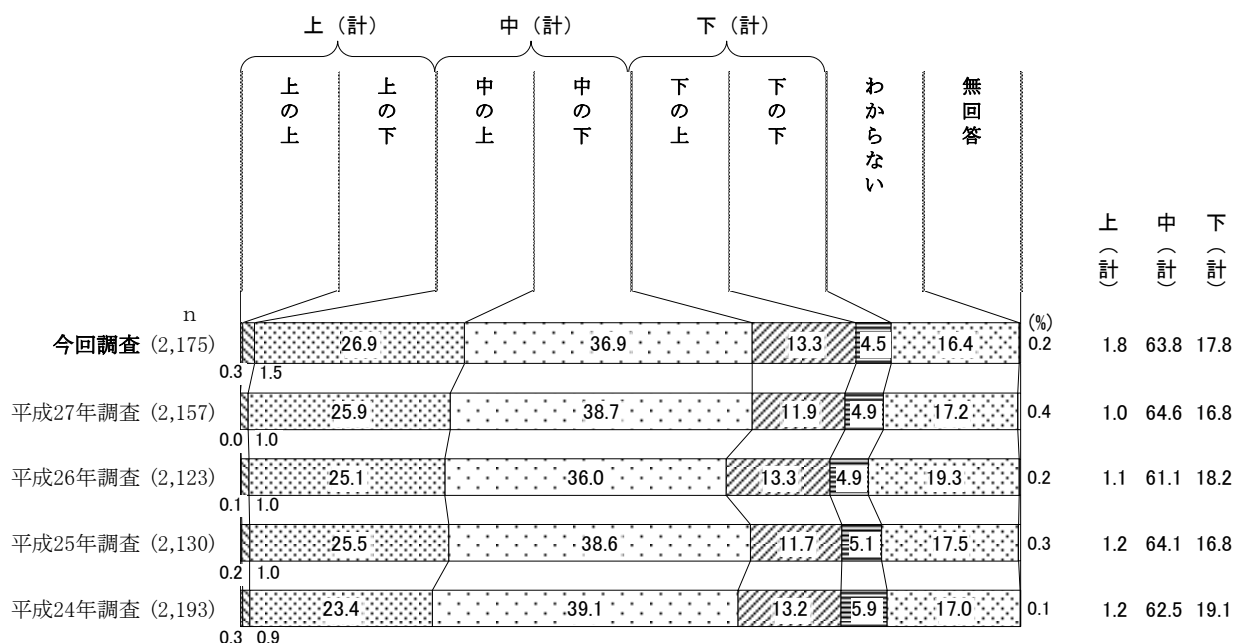
【過去調査との比較】

平成27年調査と比べて、「賃金などの収入が増えない、または減った」（4.6ポイント増）、「失業、退職、病気などで働き手が減った」「金利が低い」（ともに3.1ポイント増）などが増加し、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」（13.9ポイント減）、「税金や保険料などの支払いが増えた」（6.0ポイント減）などが減少している。

(2) 生活程度

◇『中（計）』が63.8%、『下（計）』は17.8%

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに属すると思いますか。



世間一般からみた生活程度は、「中の下」（36.9%）が最も高く、次いで、「中の上」（26.9%）となっている。両者を合わせた『中（計）』（63.8%）は6割強となっている。同様に「下の上」（13.3%）と「下の下」（4.5%）を合わせた『下（計）』（17.8%）は1割台半ばを超え、「上の上」（0.3%）と「上の下」（1.5%）を合わせた『上（計）』は1.8%となっている。

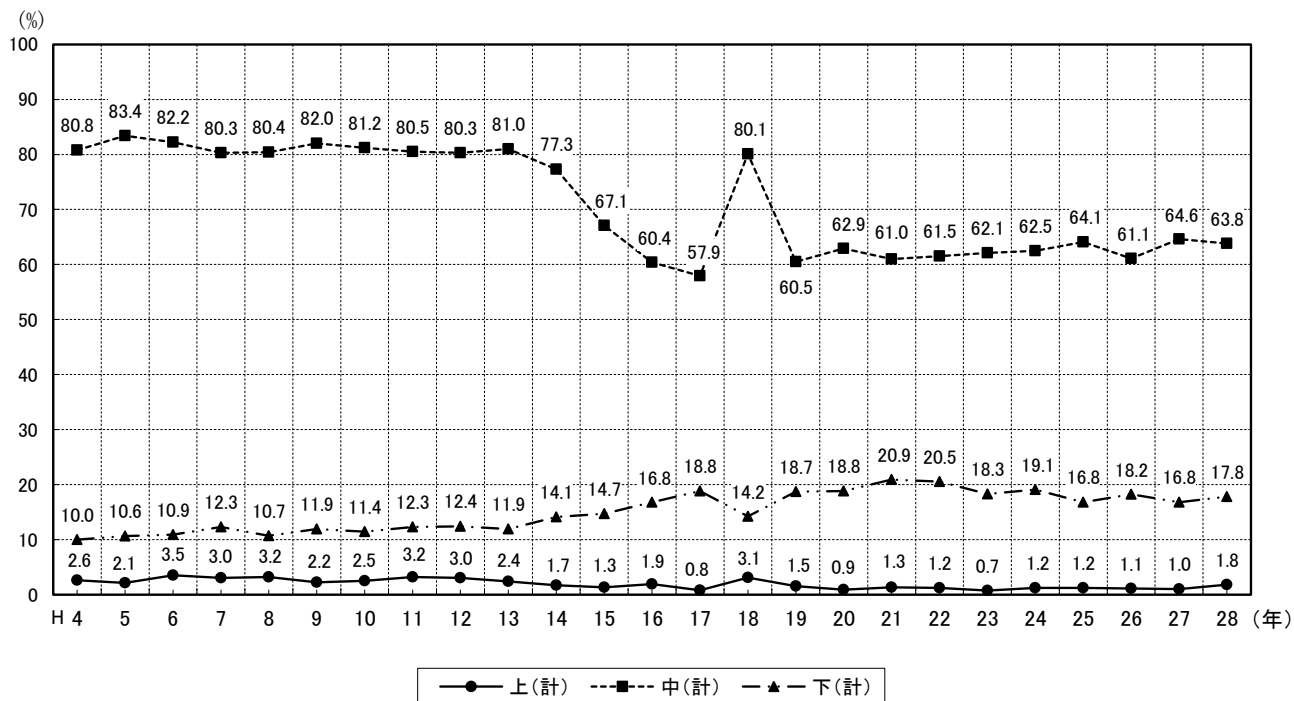
【過去調査との比較】

平成27年調査と比べて、『下（計）』が1.0ポイント増加、『上（計）』が0.8ポイント増加し、『中（計）』が0.8ポイント減少している。

【経年比較】

平成19年以降、『中（計）』が6割台前半で推移している。

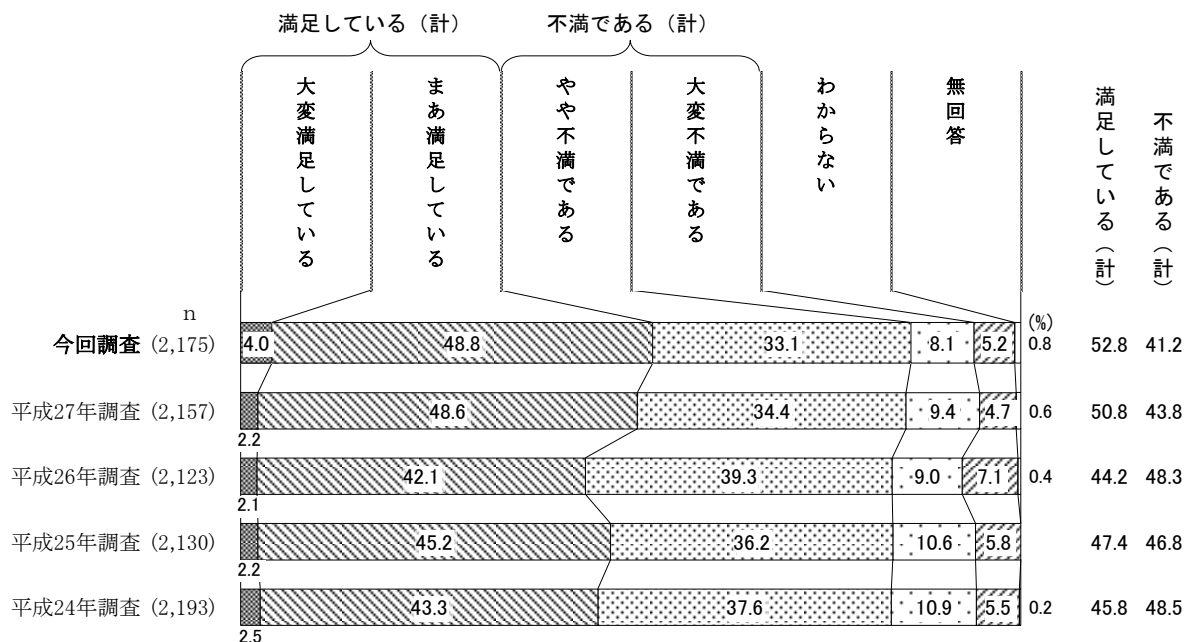
○生活程度・平成4年以降の推移



(3) 生活全体の満足度

◇『満足している（計）』は52.8%、『不満である（計）』は41.2%

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。



生活全体に対する満足度は、「まあ満足している」が48.8%で最も高く、次いで、「やや不満である」が33.1%となっている。「大変満足している」（4.0%）と「まあ満足している」（48.8%）を合わせた『満足している（計）』（52.8%）は5割強、「大変不満である」（8.1%）と「やや不満である」（33.1%）を合わせた『不満である（計）』（41.2%）は4割強となっている。『満足している（計）』が『不満である（計）』を11.6ポイント上回っている。

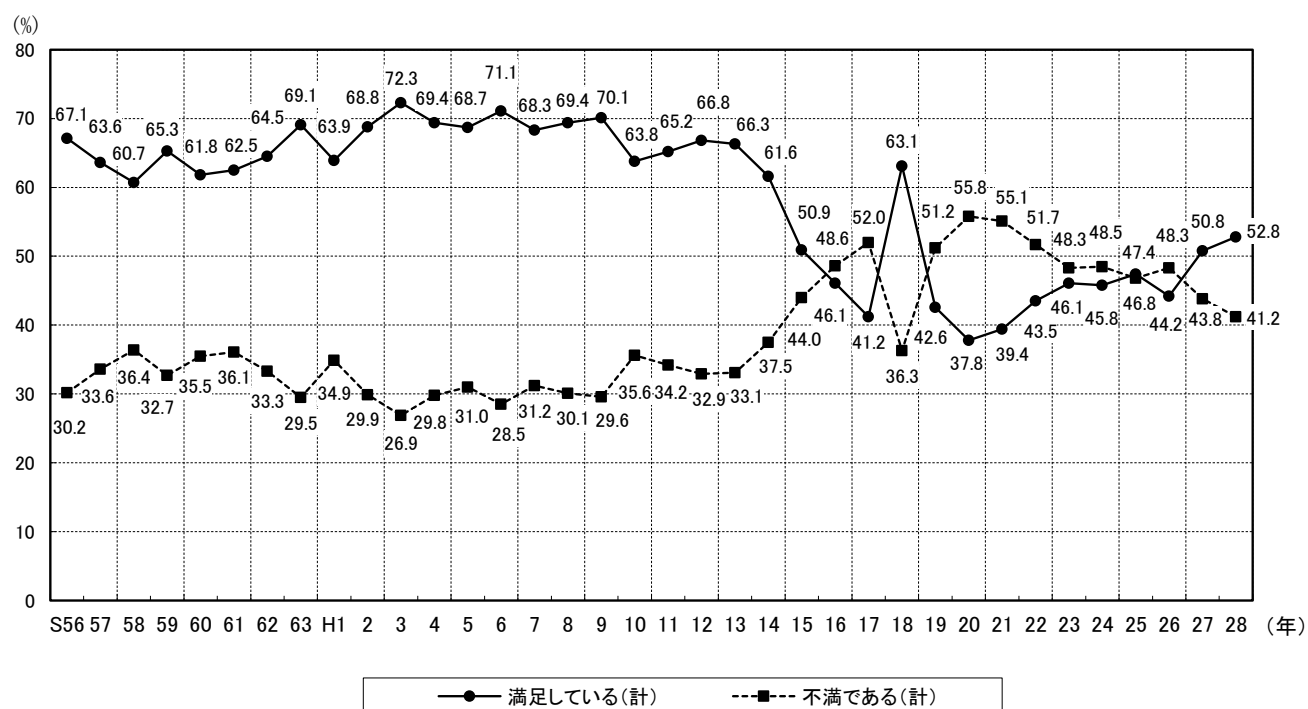
【過去調査との比較】

平成27年調査と比べて『満足している（計）』は2.0ポイント増加し、『不満である（計）』は2.6ポイント減少している。

【経年比較】

昭和56年以降の推移をみると、平成19年以降『不満である（計）』の割合が『満足している（計）』をおおむね上回る傾向にあったが、『満足している（計）』の割合が平成27年調査（50.8%）で5割を超えて、今回調査でも『満足している（計）』（52.8%）が『不満である（計）』（41.2%）を上回る傾向が続いている。

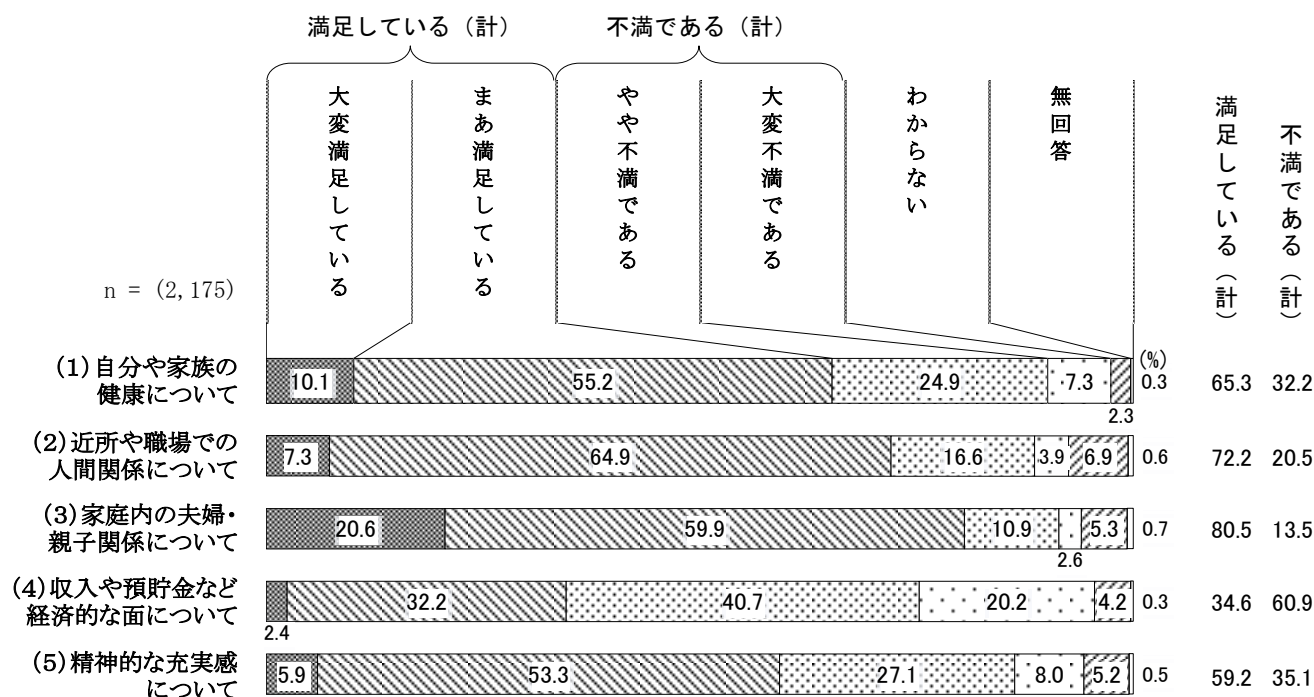
○生活全体の満足度・昭和56年以降の推移



(4) 各生活面に対する満足度

◇家庭内の夫婦・親子関係について『満足している（計）』が80.5%

問4 次にあげる5つの生活面について、あなたはどの程度満足していますか。

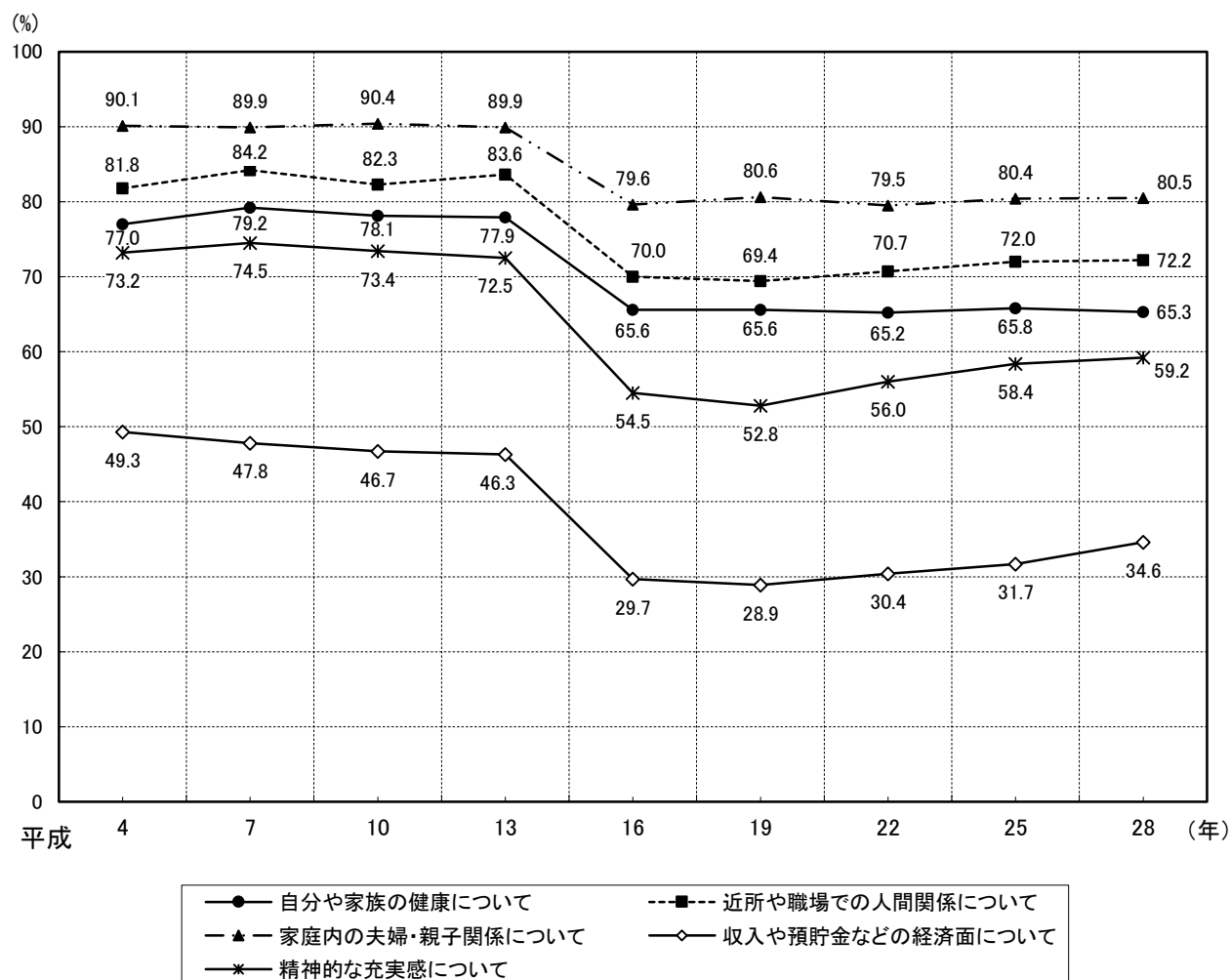


各生活面に対する満足度は、「まあ満足している」が（４）収入や預貯金など経済的な面についてを除くすべての生活面において半数を超えて最も高い割合となっている。「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している（計）』をみると、（３）家庭内の夫婦・親子関係について（80.5%）が約８割で最も高くなっている。次いで、（２）近所や職場での人間関係について（72.2%）となっている。一方、（４）収入や預貯金など経済的な面についてでは「大変不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満である（計）』（60.9%）が６割を超えており、『満足している（計）』（34.6%）を上回っている。

【経年比較】

平成4年以降の満足度の推移（3年ごと）をみると、各項目とも平成4年から13年までは大きな変化はないが、平成16年にいずれも大きく減少し、今年は収入や預貯金など経済的な面については2.9ポイント増加しているが、それ以外の項目では横ばいとなっている。

○各生活面の満足度・平成4年以降の満足層の推移



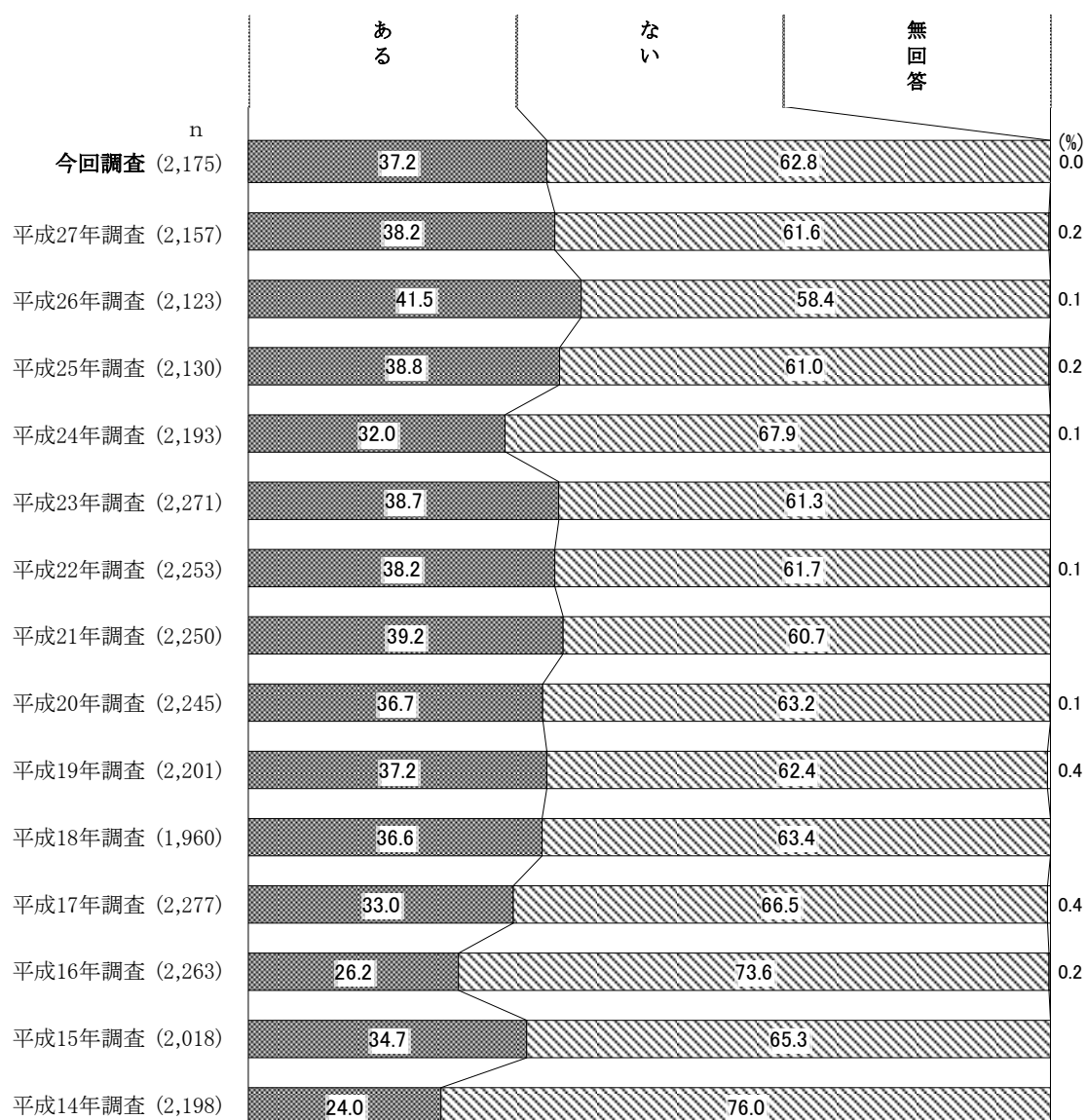
2 日常生活

(1) 地域社会活動への参加経験

◇参加経験が「ある」37.2%、「ない」62.8%

問5 次に、あなたの日常生活に関連することについておたずねいたします。

(1) あなたは、過去1年間に、自治会活動（清掃活動や防犯パトロール、地域運動会への参加など）やPTA活動、子供会活動、学校応援団（読み聞かせボランティアなど）、障がい者や高齢者の方々のための活動、青少年健全育成のための活動、みどりと川の再生活動など、地域活動やNPO・ボランティア活動に参加したことがありますか。



過去1年間に地域活動やNPO・ボランティア活動に参加したことが「ある」(37.2%)は3割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

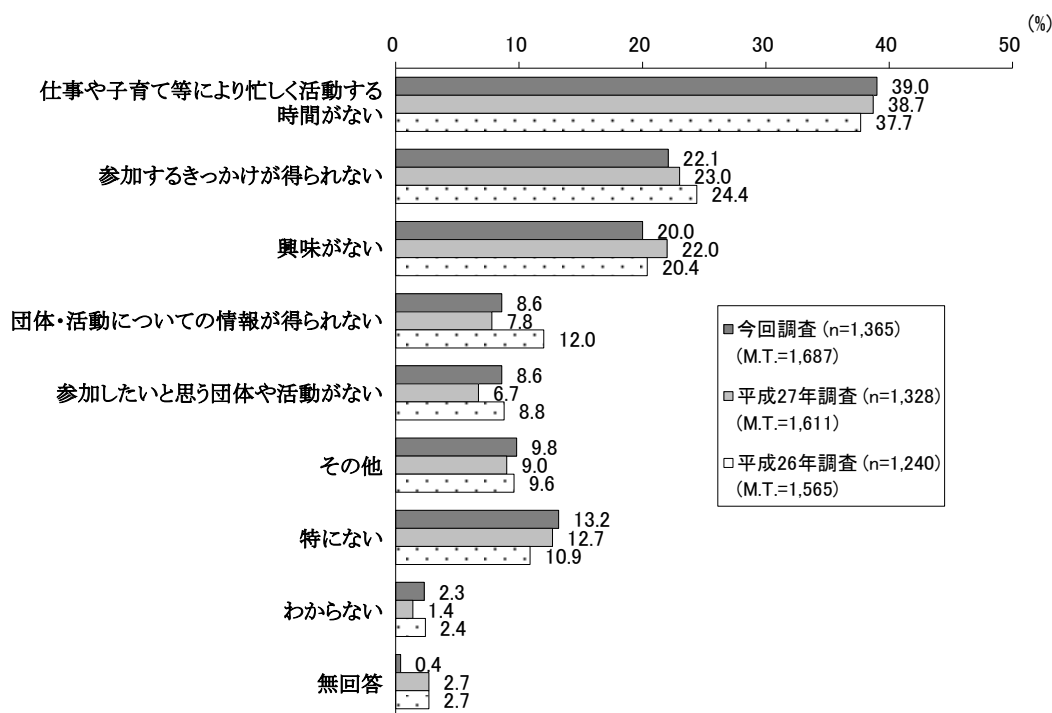
平成27年調査と比べて、「ある」は1.0ポイント減少している。

（１－１）地域社会活動への不参加の理由

◇「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」が39.0%

（問５（１）で「ない」と答えた方に）

問５（１）－１ その理由は何ですか。次の中から２つまで選んでください。



地域活動やNPO・ボランティア活動への不参加の理由は、「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」（39.0%）が最も高く、次いで、「参加するきっかけが得られない」（22.1%）、「興味がない」（20.0%）、「団体・活動についての情報が得られない」と「参加したいと思う団体や活動がない」（ともに8.6%）となっている。

【過去調査との比較】

平成27年調査と比較して、「参加したいと思う団体や活動がない」（1.9ポイント増）などが増加し、「興味がない」（2.0ポイント減）などが減少している。

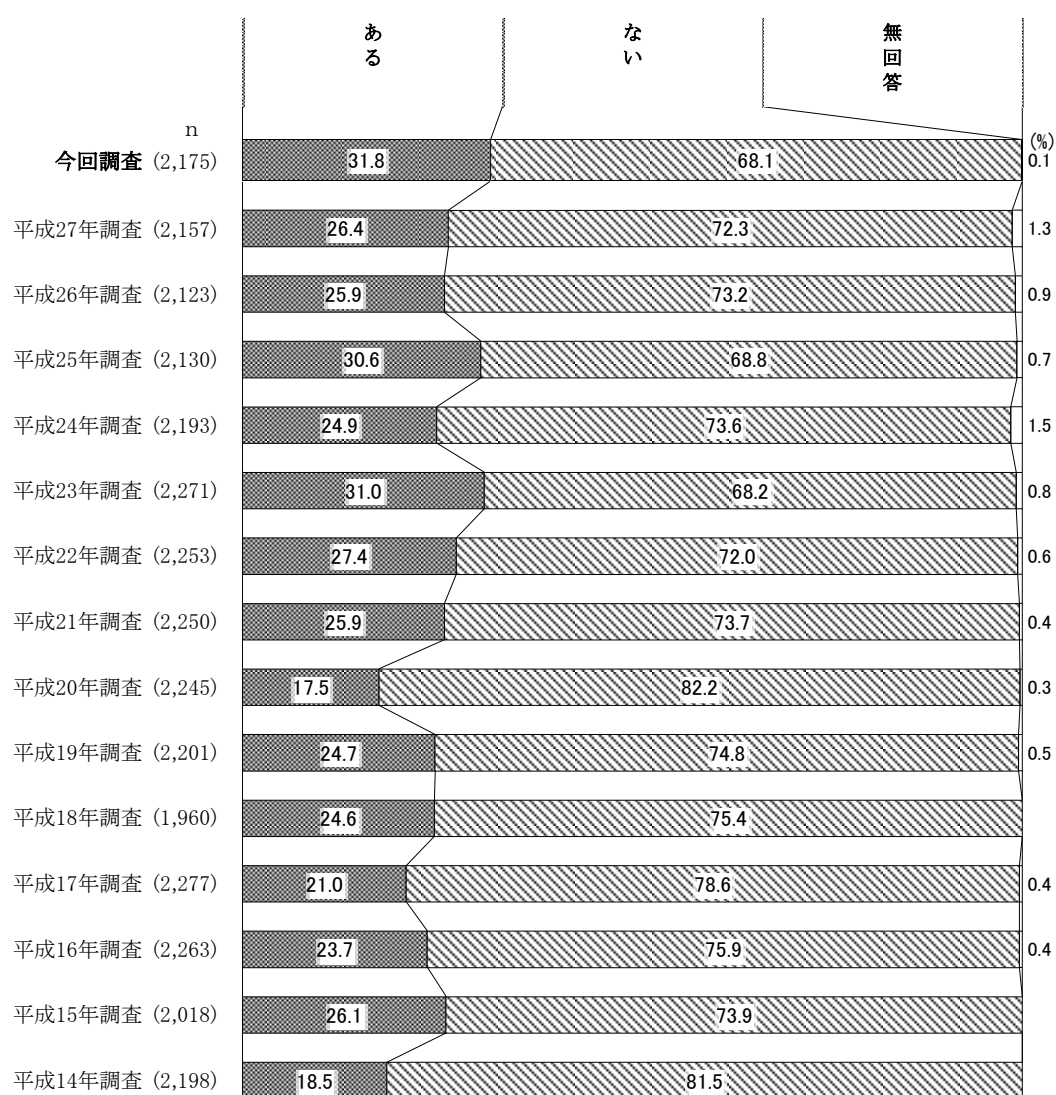
(2) 文化芸術活動の経験

◇文化芸術活動の経験が「ある」31.8%、「ない」68.1%

問5 (2) あなたは、この1年間に、文化芸術活動(※)を行ったことがありますか。

※文化芸術活動とは、以下のような分野での活動です。

- ・音楽(クラシック、ロック、ポピュラー、コーラス、演歌など)
- ・美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)
- ・写真(ポートレート、風景、スナップ写真など)
- ・文芸(小説、詩、俳句、短歌など)
- ・生活文化(書道、華道、盆栽など)
- ・国民娯楽(囲碁、将棋など)
- ・舞踊(バレエ、ダンスなど)
- ・伝統芸能(歌舞伎、能・狂言、日本舞踊、和太鼓、箏曲、神楽、獅子舞など)
- ・演劇(現代劇、ミュージカルなど)
- ・演芸(落語、漫談、漫才など)
- ・映画・漫画・アニメ・コンピューターグラフィックス



※ 平成22年調査までは、設問文を「現在、自主的な文化芸術活動を行っていますか」とし、選択肢を「行っている」と「行っていない」としていた。

この1年間に文化芸術活動を行ったことが「ある」(31.8%)は3割強となっている。

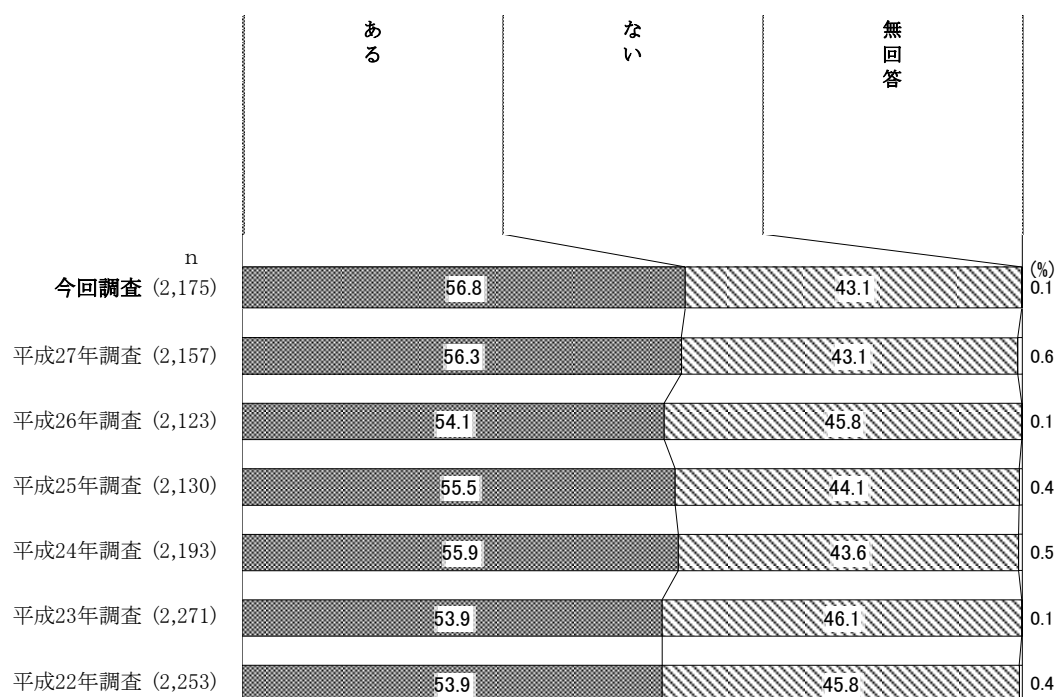
【過去調査との比較】

平成27年調査と比較して、「ある」は5.4ポイント増加した。

（３）文化芸術活動の鑑賞

◇文化芸術活動の鑑賞は「ある」56.8%、「ない」43.1%

問５（３）あなたは、この１年間に、文化芸術活動を鑑賞するためにホール・劇場、映画館、美術館、博物館などに出かけたことがありますか。



この１年間で、文化芸術活動を鑑賞するためにホール・劇場、映画館、美術館、博物館などに出かけたことが「ある」（56.8％）は5割台半ばを超えており、「ない」（43.1％）を13.7ポイント上回っている。

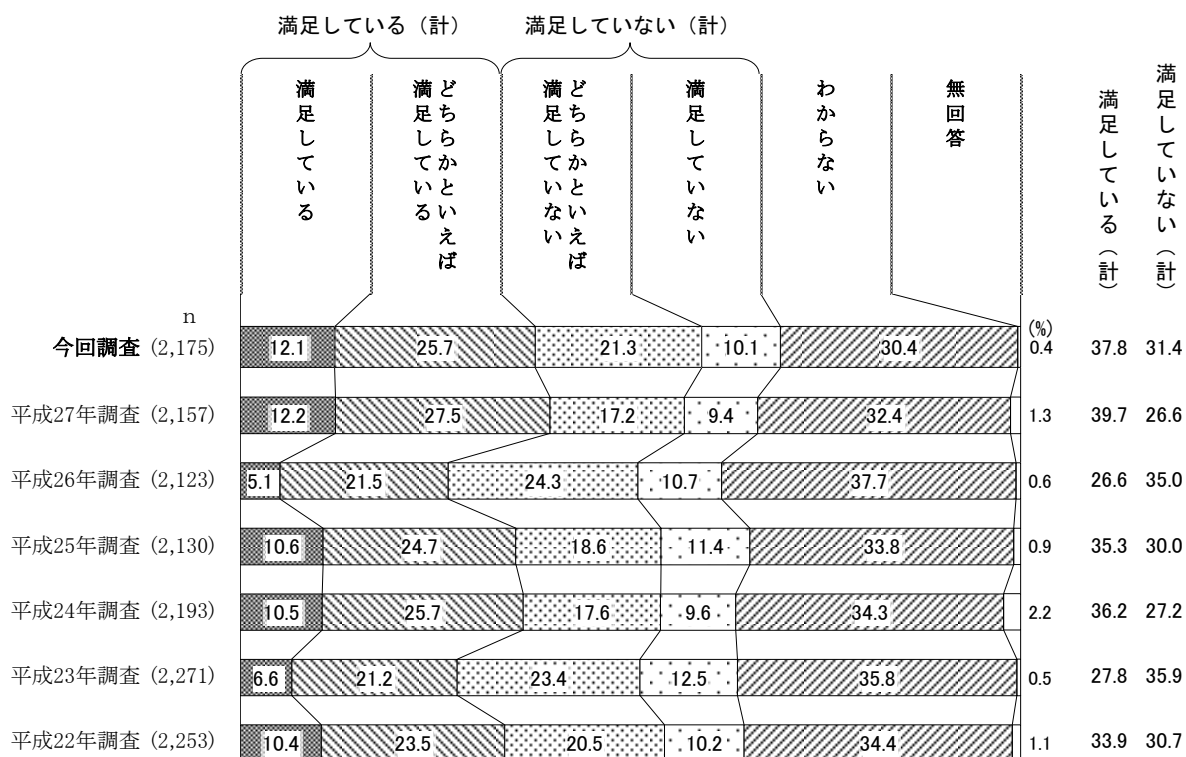
【過去調査との比較】

平成27年調査と比較して、「ある」は0.5ポイント増加した。

（４）文化芸術活動の機会や環境の満足度

◇『満足している（計）』は37.8%、『満足していない（計）』は31.4%

問５（４）あなたは、日常生活の中で文化芸術を鑑賞したり、文化芸術活動を行ったりする機会や環境について、満足していますか。



日常生活の中での文化芸術活動の機会や環境の満足度は、「どちらかといえば満足している」(25.7%)が2割台半ばと最も高くなっている。これに「満足している」(12.1%)を合わせた『満足している（計）』は37.8%となり、「満足していない」(10.1%)と「どちらかといえば満足していない」(21.3%)を合わせた『満足していない（計）』(31.4%)との差は6.4ポイントとなっている。また、「わからない」(30.4%)も3割を超えて高くなっている。

【過去調査との比較】

平成27年調査と比較して、『満足していない（計）』が4.8ポイント増加し、『満足している（計）』が1.9ポイント減少している。

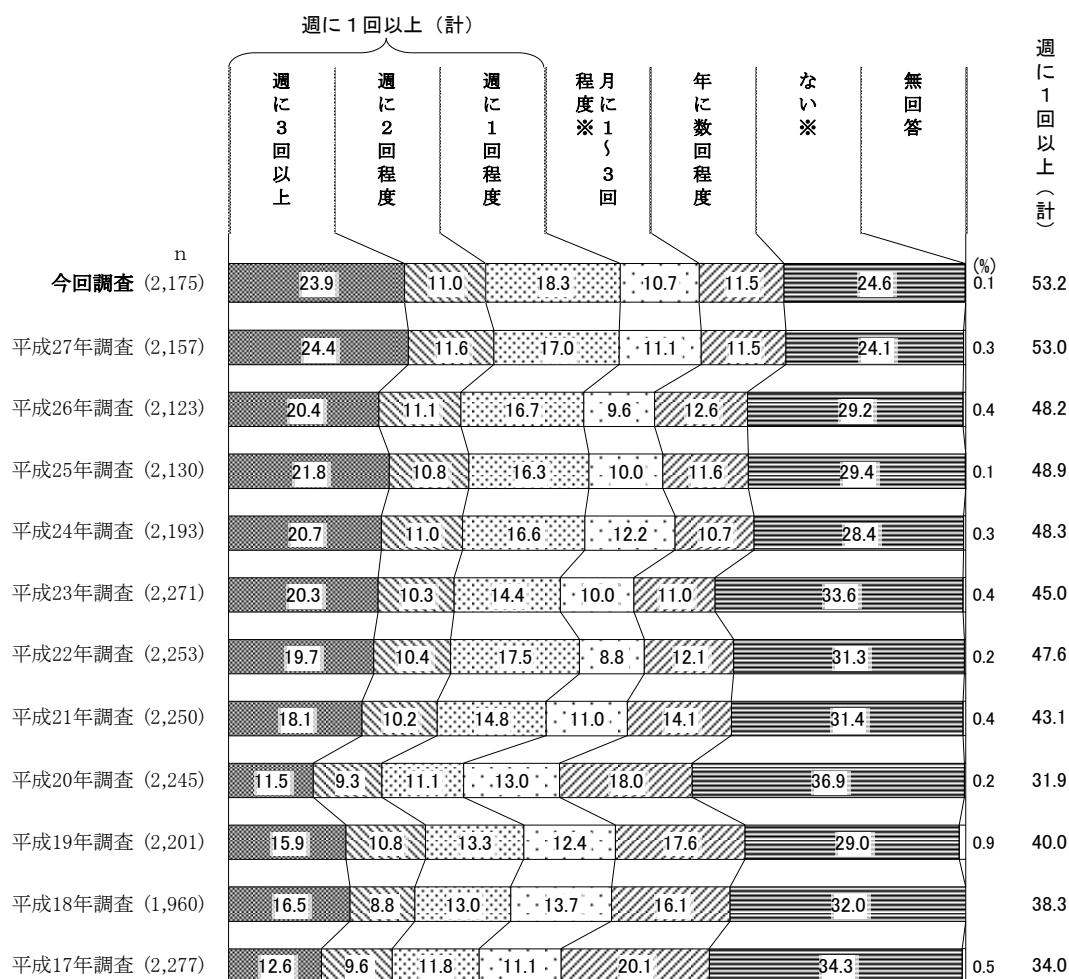
（５）スポーツをする機会

◇『週に１回以上（計）』は53.2%

問６ 埼玉県では、週に１回以上スポーツをすることを推奨しています。あなたは、過去１年間に、スポーツ・レクリエーション活動をする機会がどのくらいありましたか。（散歩やウォーキング、軽い体操、子供との体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなど（※）も含めます。）

※ スポーツ・レクリエーション活動には、以下のような活動も含めます。

〔 散歩・ウォーキング、ジョギング・ランニング、水泳、体操（軽い体操・ラジオ体操を含む）、登山（トレッキングを含む）、ハイキング、ボウリング、ゴルフ、筋力トレーニング、釣り、サイクリング、ゲートボール、フォークダンス、民謡踊りなど 〕



※ 選択肢「月に1〜3回程度」は、平成22年から平成26年調査までは「月に1〜2回程度」としていた。
また、平成24年調査までの選択肢「ない」は、「ない」と「わからない」の合計である。

過去１年間のスポーツをする機会は、「ない」（24.6%）が2割台半ばと最も高く、次いで、「週に3回以上」（23.9%）、「週に1回程度」（18.3%）などとなっている。また、『週に1回以上（計）』（「週に3回以上」（23.9%）、「週に2回程度」（11.0%）、「週に1回程度」（18.3%）の合計53.2%）は5割強となっている。

【過去調査との比較】

『週に1回以上（計）』（53.2%）は平成27年調査から0.2ポイント増加している。

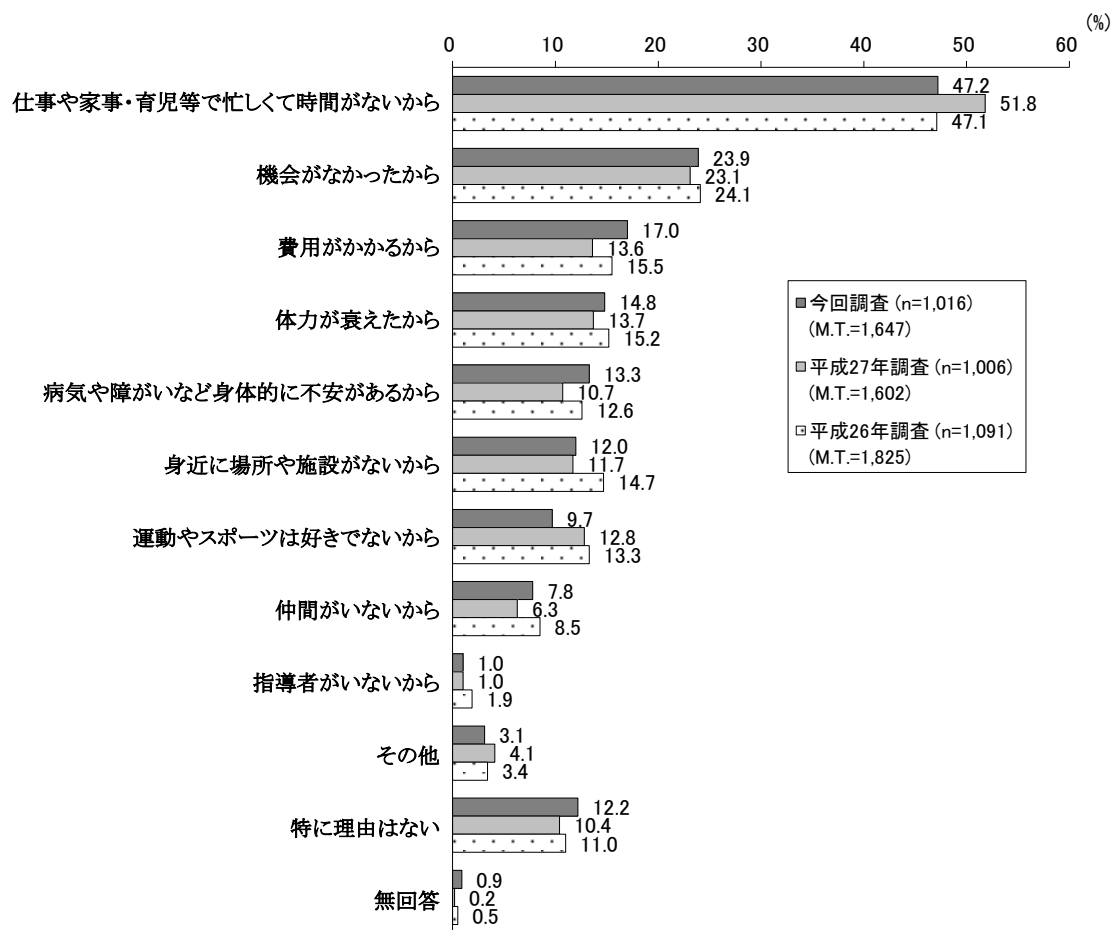
※週に1回以上スポーツをする満20歳以上の県民の割合は52.9%となっている。

（５－１）スポーツをする機会がなかった理由

◇「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が47.2%

（問６で「月に１～３回程度」「年に数回程度」「ない」のいずれかを答えた方に）

問６－１ 週に１回以上活動する機会がなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



週に１回以上スポーツをする機会がなかった理由は、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」（47.2％）が４割台半ばを超えて最も高く、次いで、「機会がなかったから」（23.9％）、「費用がかかるから」（17.0％）、「体力が衰えたから」（14.8％）、「病気や障がいなど身体的に不安があるから」（13.3％）などとなっている。

【過去調査との比較】

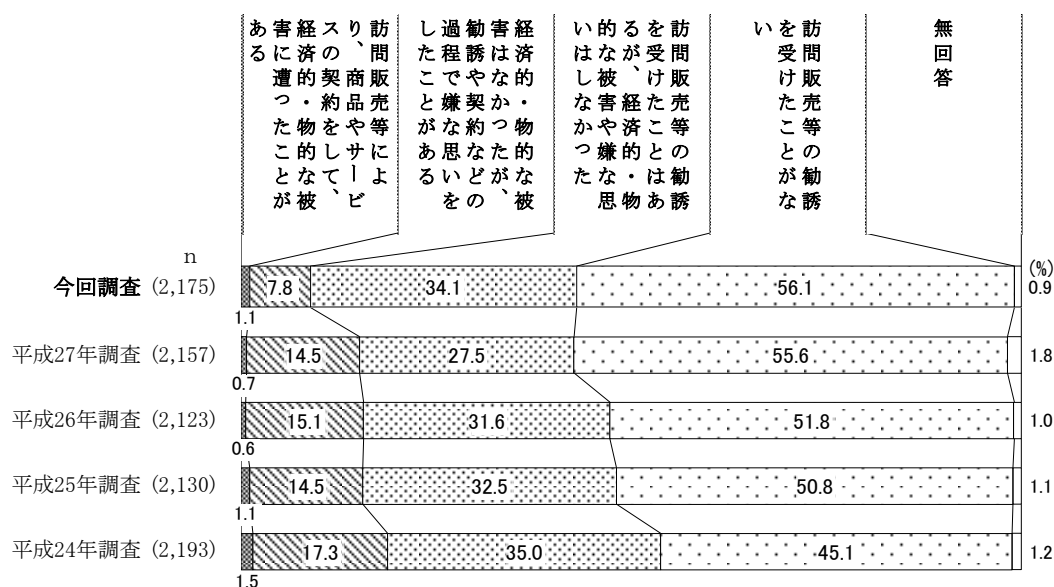
平成27年調査と比較して、「費用がかかるから」（3.4ポイント増）、「病気や障がいなど身体的に不安があるから」（2.6ポイント増）などが増加し、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」（4.6ポイント減）、「運動やスポーツは好きでないから」（3.1ポイント減）などが減少している。

（６－１）訪問販売、電話勧誘販売、通信販売による経済的・物的な被害

◇「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」が56.1%

問７ 消費生活についておたずねいたします。

（１）あなたはここ１年以内に、訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによって、経済的・物的な被害に遭ったことがありますか。



訪問販売、電話勧誘販売、通信販売などによる経済的・物的な被害は、「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」（56.1％）が5割台半ばで最も高くなっている。訪問販売等を受けたことがある中では、「訪問販売等の勧誘を受けたことはあるが、経済的・物的な被害や嫌な思いはしなかった」（34.1％）が3割台半ばで最も高くなっている。また、「経済的・物的な被害はなかったが、勧誘や契約などの過程で嫌な思いをしたことがある」（7.8％）は1割未満となっており、「訪問販売等により、商品やサービスの契約をして、経済的・物的な被害に遭ったことがある」（1.1％）は極めて低くなっている。

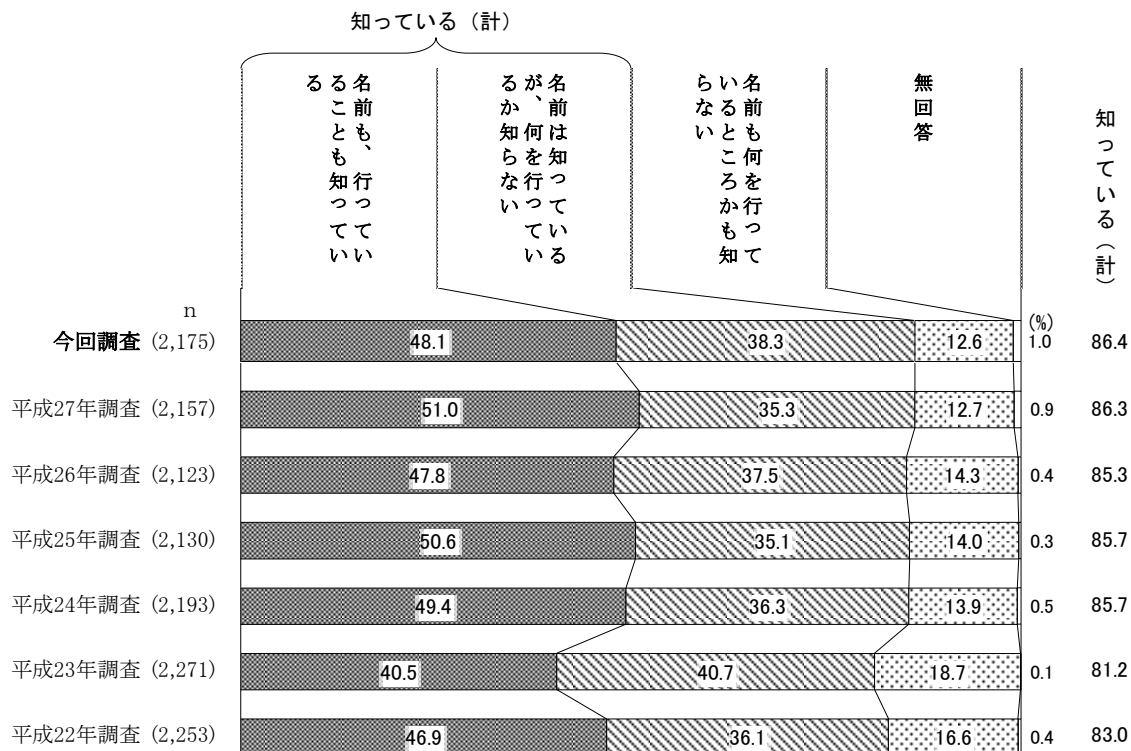
【過去調査との比較】

「訪問販売等の勧誘を受けたことがない」は調査開始の平成24年から徐々に増加傾向にあり、平成27年調査と比較すると0.5ポイント増加している。

（６－２）消費生活センターの認知度

◇『知っている（計）』が86.4%

問7（２）あなたは契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター（または消費生活相談窓口）を知っていますか。



消費生活センター（または消費生活相談窓口）の認知度は、「名前も、行っていることも知っている」（48.1%）が5割弱、これに「名前は知っているが、何を行っているか知らない」（38.3%）を合わせた『知っている（計）』（86.4%）は8割台半ばを超えている。一方で、「名前も何を行っているところかも知らない」（12.6%）は1割強となっている。

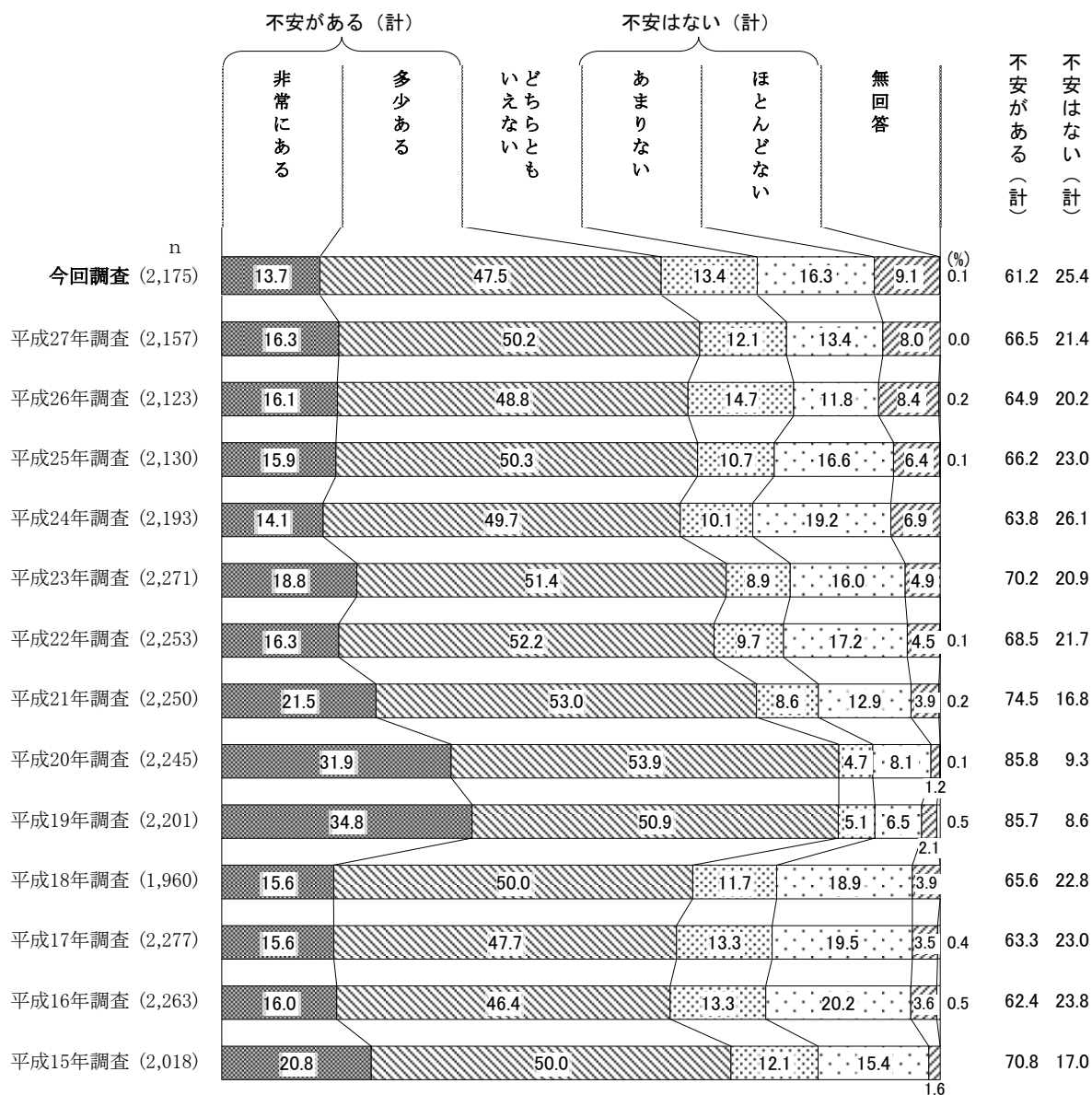
【過去調査との比較】

「名前も、行っていることも知っている」は平成27年調査から2.9ポイント減少したが、『知っている（計）』は0.1ポイント増加した。

（７）食品の安全性に対する意識

◇『不安がある（計）』が61.2%

問８ 食品の安全性についておたずねいたします。
あなたは、食品の安全性に不安がありますか。



食品の安全性に関して、不安が「多少ある」（47.5%）が4割台半ばを超えて最も高く、「非常にある」（13.7%）と合わせた『不安がある（計）』（61.2%）は6割強となっている。一方で、不安が「ほとんどない」（9.1%）と「あまりない」（16.3%）を合わせた『不安はない（計）』（25.4%）は2割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

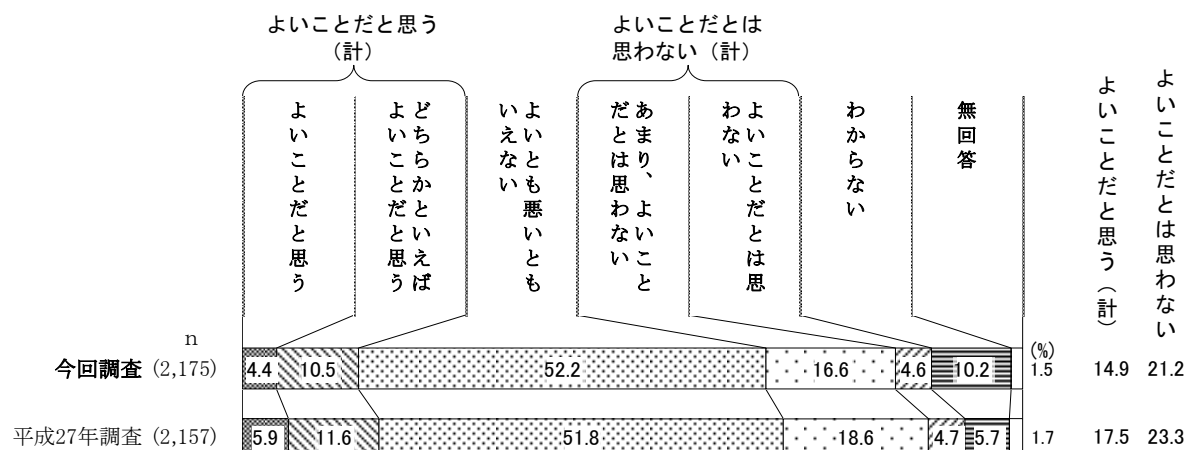
『不安がある（計）』の割合は、平成20年調査（85.8%）から減少傾向にあり、過去3年間までは6割台半ば程度で推移していた。平成27年調査と比較すると5.3ポイント減少している。

（８）外国人増加に対する感想

◇「よいとも悪いとも思わない」が52.2%

問９ 県内の外国人住民についておたずねいたします。

県内には、約14万人の外国人が住んでおり、今後も増えていくことが予想されています。
あなたは、お住まいの地域に外国人が増えていくことをどう思いますか。



地域に外国人が増えていくことに関して、「よいとも悪いとも思わない」（52.2%）が5割強と最も高く、次いで「あまり、よいことだとは思わない」（16.6%）が1割台半ばで、「よいことだとは思わない」（4.6%）と合わせた『よいことだとは思わない（計）』（21.2%）は2割強となっている。一方で、「よいことだと思う」（4.4%）と「どちらかといえばよいことだと思う」（10.5%）を合わせた『よいことだと思う（計）』（14.9%）は1割台半ばとなっている。

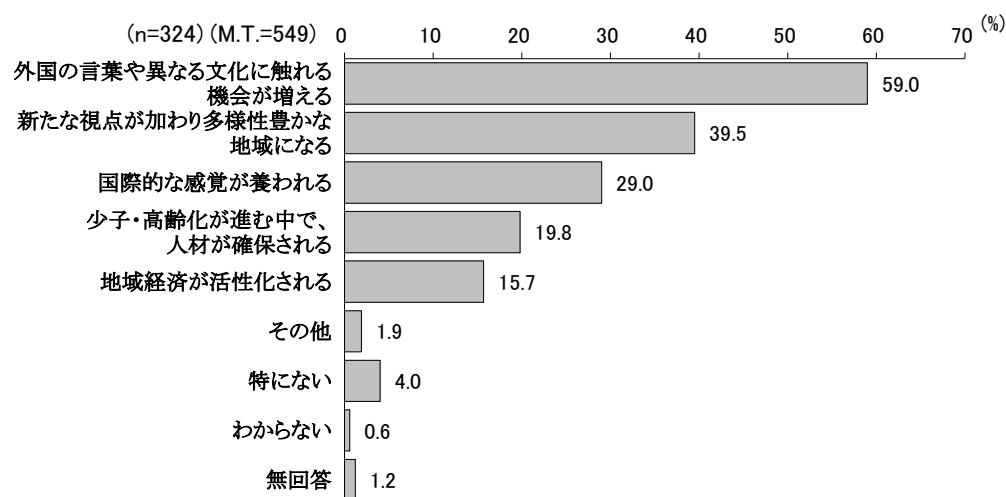
【過去調査との比較】

平成27年調査と比較して、『よいことだと思う（計）』が2.6ポイント、『よいことだとは思わない（計）』が2.1ポイント、いずれも減少している。

（８－１）外国人増加をよいことだと思う理由

◇「外国の言葉や異なる文化に触れる機会が増える」が59.0%

（問９で「よいことだと思う」「どちらかといえばよいことだと思う」のいずれかを答えた方に）
問９－１ その理由は何ですか。次の中から２つまで選んでください。



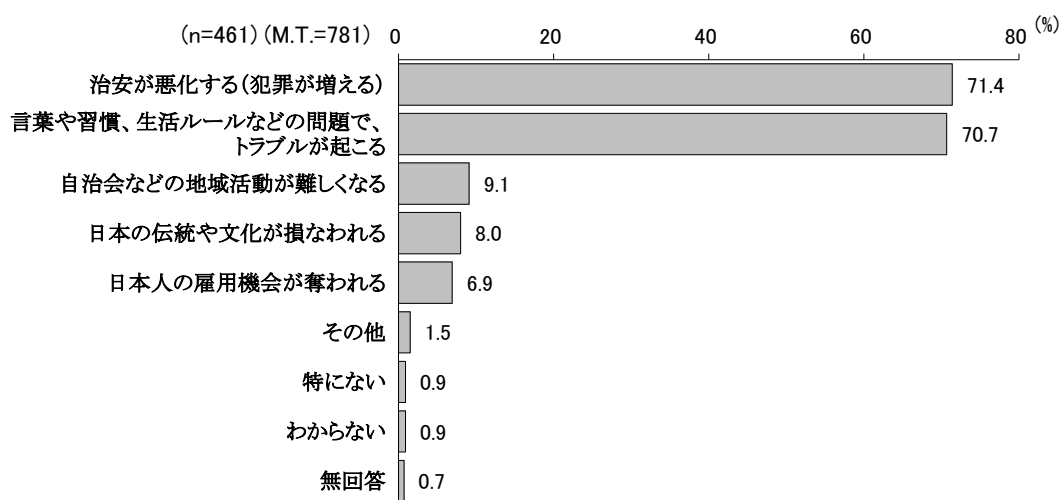
外国人増加をよいことだと思う理由は、「外国の言葉や異なる文化に触れる機会が増える」（59.0%）が約６割と最も高く、次いで、「新たな視点が加わり多様性豊かな地域になる」（39.5%）、「国際的な感覚が養われる」（29.0%）、「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」（19.8%）、「地域経済が活性化される」（15.7%）などとなっている。

（８－２）外国人増加をよいことだと思わない理由

◇「治安が悪化する（犯罪が増える）」71.4%と「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」70.7%が突出

（問9で「あまり、よいことだとは思わない」「よいことだとは思わない」のいずれかを
答えた方に）

問9－2 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



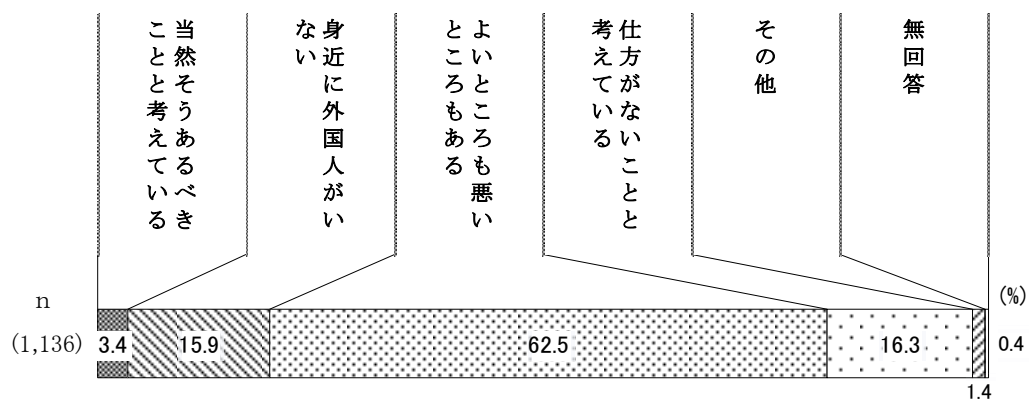
外国人増加をよいことだと思わない理由は、「治安が悪化する（犯罪が増える）」（71.4%）と「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」（70.7%）が突出して高くなっている。次いで、「自治会などの地域活動が難しくなる」（9.1%）、「日本の伝統や文化が損なわれる」（8.0%）、「日本人の雇用機会が奪われる」（6.9%）などとなっている。

（８－３）外国人増加をよいとも悪いともいえない理由

◇「よいところも悪いところもある」が62.5%

（問９で「よいとも悪いともいえない」を答えた方に）

問９－３ その理由は何ですか。次の中から１つ選んでください。

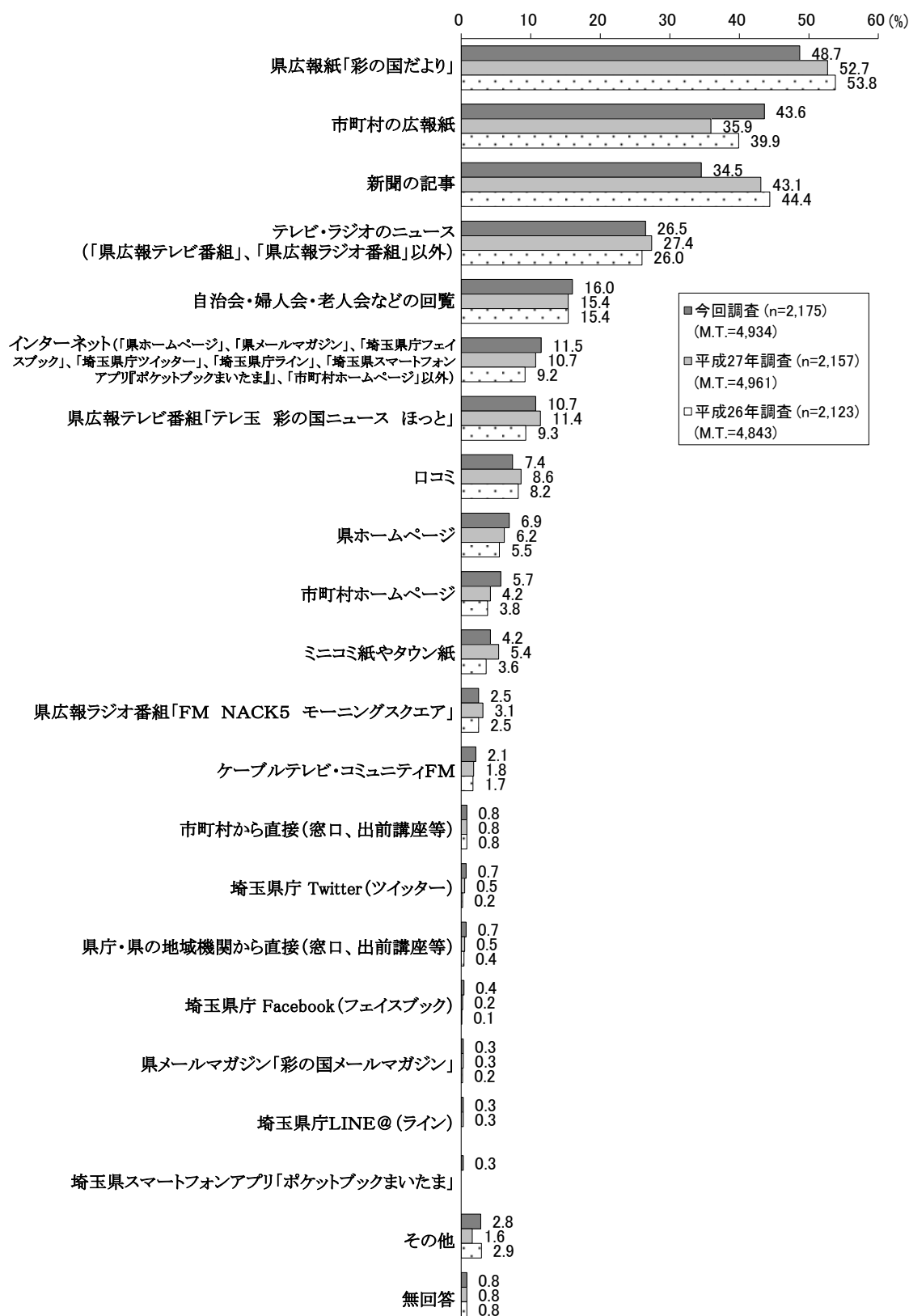


外国人増加をよいとも悪いともいえない理由は、「よいところも悪いところもある」（62.5%）が6割強と最も高く、「仕方がないことと考えている」（16.3%）と「身近に外国人がいない」（15.9%）がともに1割台半ばとなっている。

(9) 埼玉県に関する情報の入手先

◇「県広報紙「彩の国だより」」が48.7%

問10 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んでください。



※ 平成26年調査から「埼玉県庁Facebook(フェイスブック)」と「埼玉県庁Twitter(ツイッター)」を、平成27年調査から「埼玉県庁LINE@(ライン)」を、今回調査から「埼玉県スマートフォンアプリ『ポケットブックまいたま』」を追加した。

埼玉県に関する情報の入手先は、「県広報紙「彩の国だより」」（48.7%）が5割弱と最も高く、次いで、「市町村の広報紙」（43.6%）が4割強、「新聞の記事」（34.5%）が3割台半ばとなっている。以下、「テレビ・ラジオのニュース」（26.5%）、「自治会・婦人会・老人会などの回覧」（16.0%）、「インターネット」（11.5%）、「県広報テレビ番組「テレ玉 彩の国ニュース ほっと」」（10.7%）などとなっている。

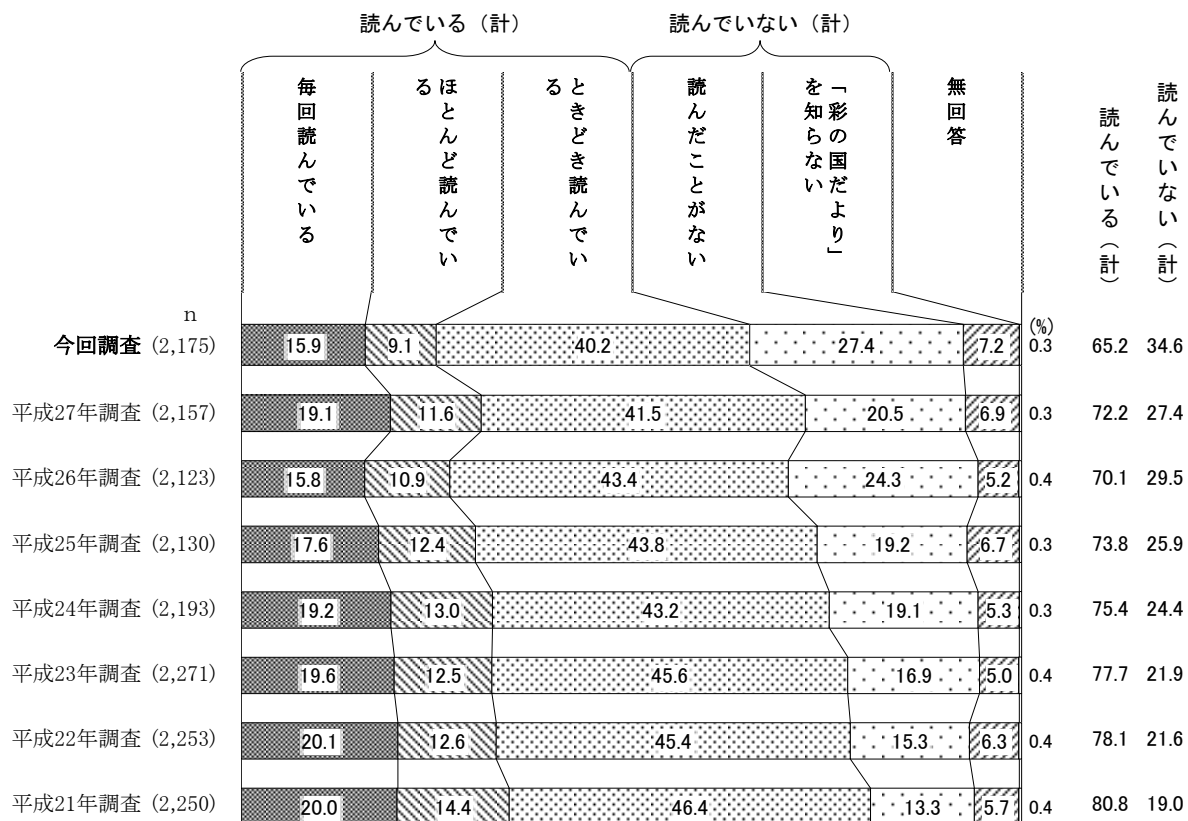
【過去調査との比較】

平成27年調査と比較してみると、「市町村の広報紙」は7.7ポイント増加している一方で、「新聞の記事」は8.6ポイント減少、「県広報紙「彩の国だより」」は4.0ポイント減少している。

(10) 県広報紙「彩の国だより」の閲読状況

◇『読んでいる（計）』が65.2%

問11 県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。



県広報紙「彩の国だより」の閲読状況は、「ときどき読んでいる」（40.2%）が4割を超えて最も高く、これに「毎回読んでいる」（15.9%）と「ほとんど読んでいる」（9.1%）を合わせた『読んでいる（計）』（65.2%）は6割台半ばとなっている。一方で、「読んだことがない」（27.4%）と「「彩の国だより」を知らない」（7.2%）を合わせた『読んでいない（計）』（34.6%）は3割台半ばとなっている。

【過去調査との比較】

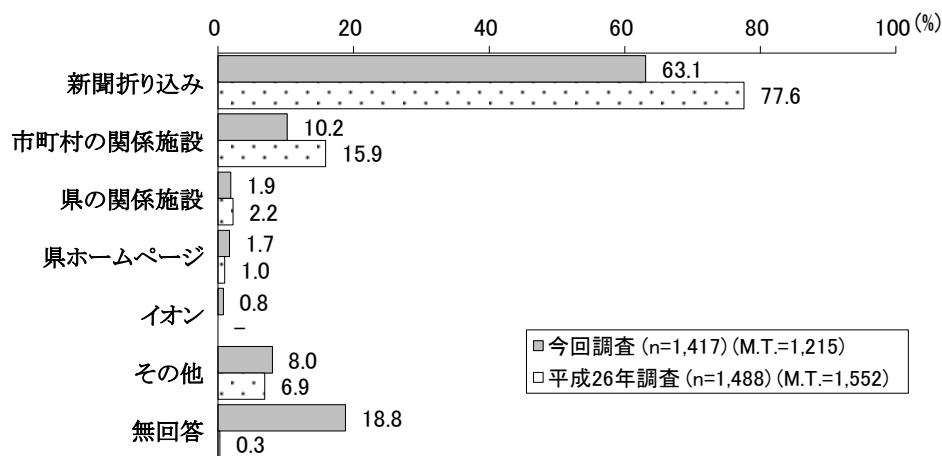
『読んでいる（計）』は、平成21年調査以降は徐々に減少傾向にあり、平成27年調査と比較すると7.0ポイント減少している。

（10－１）県広報紙「彩の国だより」の入手先

◇「新聞折り込み」63.1%

（問11で「毎回読んでいる」、「ほとんど読んでいる」、「ときどき読んでいる」のいずれかを答えた方に）

問11－１ どこで入手していますか。あてはまるものをすべて選んでください。



※ 今回調査から「イオン」を追加した。

県広報紙「彩の国だより」の入手先は、「新聞折り込み」（63.1％）が最も高く、次いで、「市町村の関係施設」（10.2％）、「県の関係施設」（1.9％）、「県ホームページ」（1.7％）などとなっている。

【過去調査との比較】

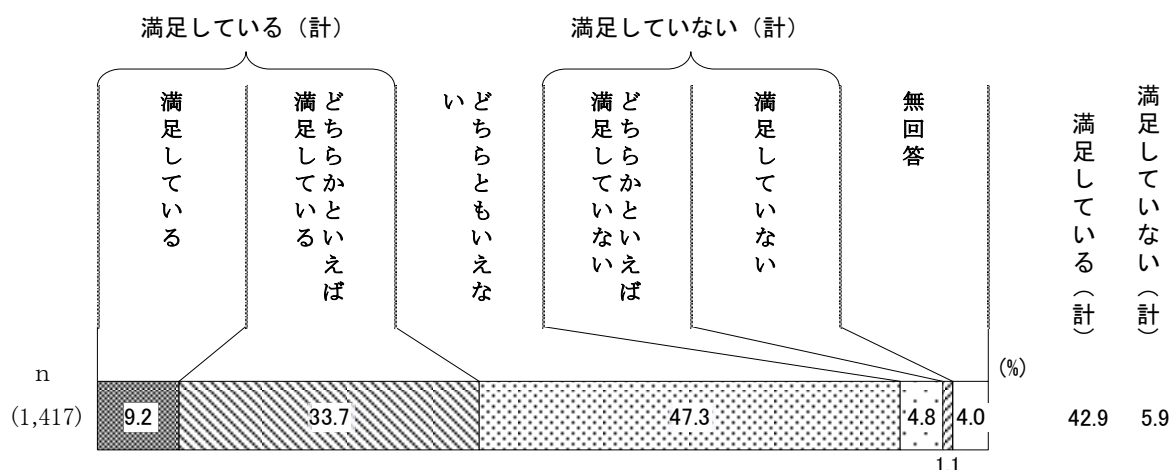
平成26年調査と比較してみると、「新聞折り込み」は14.5ポイント減少、「市町村の関係施設」は5.7ポイント減少している。

(10－2) 県広報紙「彩の国だより」の満足度

◇『満足している（計）』は42.9%、『満足していない（計）』は5.9%

（問11で「毎回読んでいる」、「ほとんど読んでいる」、「ときどき読んでいる」のいずれかを
答えた方に）

問11－2 あなたは、「彩の国だより」の内容について、満足していますか。

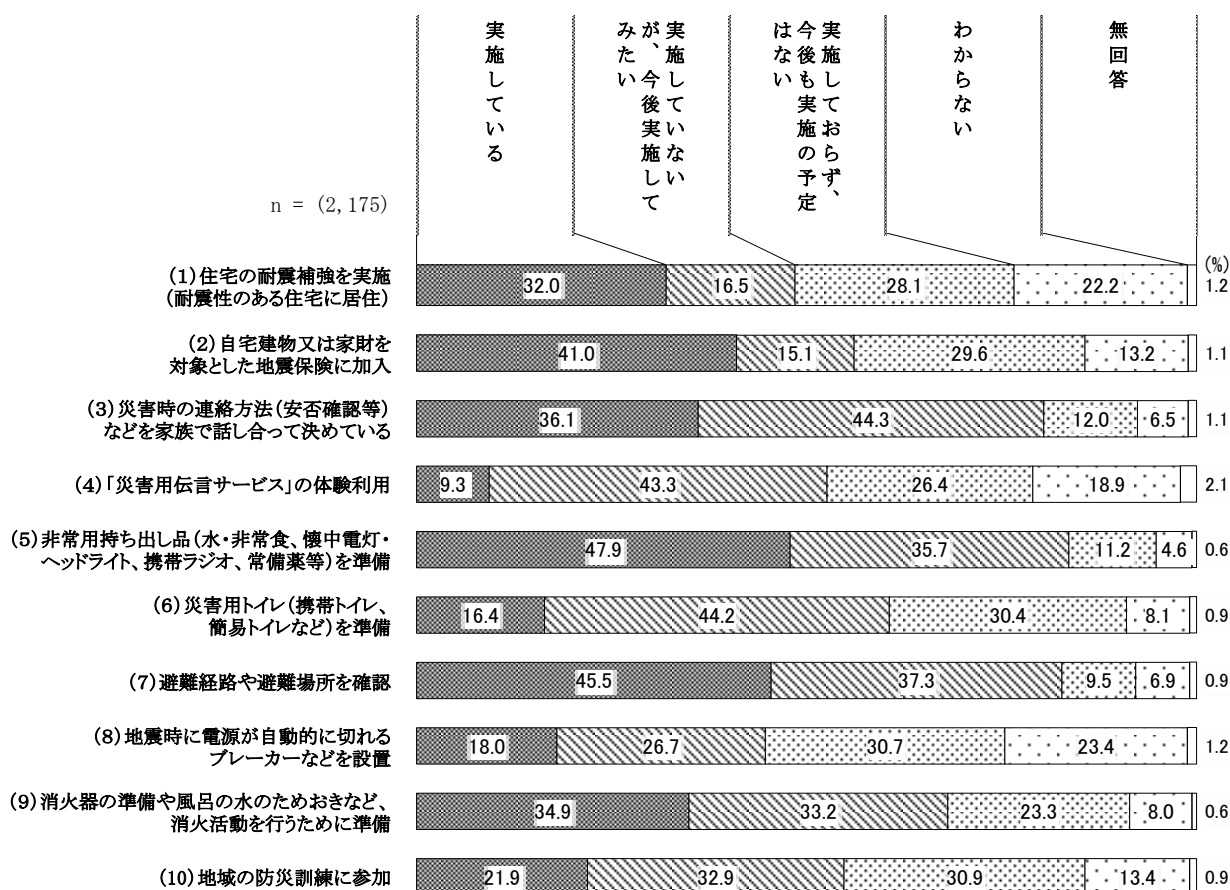


県広報紙「彩の国だより」の満足度は、「どちらともいえない」が47.3%で最も高く、次いで、「どちらかといえば満足している」が33.7%となっている。「満足している」（9.2%）と「どちらかといえば満足している」（33.7%）を合わせた『満足している（計）』（42.9%）は4割強、「満足していない」（1.1%）と「どちらかといえば満足していない」（4.8%）を合わせた『満足していない（計）』（5.9%）は1割未満となっている。『満足している（計）』が『不満である（計）』を37.0ポイント上回っている。

(11) 大地震に備えた取組の実施状況

◇「実施している」は非常用持ち出し品（水・非常食、懐中電灯・ヘッドライト、携帯ラジオ、常備薬等）を準備が47.9%

問12 あなたの家では、大地震に備えるために、どのような取組を実施していますか。次の(1)から(10)までのそれぞれの項目について、あてはまるものを選んでください。



大地震に備えた取組の実施状況は、「実施している」は非常用持ち出し品（水・非常食、懐中電灯・ヘッドライト、携帯ラジオ、常備薬等）を準備（47.9%）が4割台半ばを超えて最も高く、「実施していないが、今後実施してみたい」は、災害時の連絡方法（安否確認等）などを家族で話し合っている（44.3%）、災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレなど）を準備（44.2%）が4割台半ばと高くなっている。「実施しておらず、今後実施の予定はない」は、地域の防災訓練に参加（30.9%）、地震時に電源が自動的に切れるブレーカーなどを設置（30.7%）、災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレなど）を準備（30.4%）が3割を超えて高くなっている。

(1) 住宅の耐震補強を実施（耐震性のある住宅に居住）

「実施している」(32.0%)は3割強、「実施していないが、今後実施してみたい」(16.5%)は1割台半ばを超えている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」(28.1%)は3割弱となっている。

【平成27年調査との比較】

「実施している」は2.4ポイント減少している。

(2) 自宅建物又は家財を対象とした地震保険に加入

「実施している」(41.0%)は4割強、「実施していないが、今後実施してみたい」(15.1%)は1割台半ばとなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」(29.6%)は約3割となっている。

【平成27年調査との比較】

「実施していないが、今後実施してみたい」は1.9ポイント減少している。

(3) 災害時の連絡方法（安否確認等）などを家族で話し合っている

「実施している」(36.1%)は3割台半ばを超え、「実施していないが、今後実施してみたい」(44.3%)は4割台半ばとなっている。

【平成27年調査との比較】

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は1.2ポイント減少している。

(4) 「災害用伝言サービス」の体験利用

「実施している」(9.3%)は約1割、「実施していないが、今後実施してみたい」(43.3%)は4割強となっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」(26.4%)は2割台半ばを超えている。

(5) 非常用持ち出し品（水・非常食、懐中電灯・ヘッドライト、携帯ラジオ、常備薬等）を準備

「実施している」(47.9%)は4割台半ばを超えており、「実施していないが、今後実施してみたい」(35.7%)は3割台半ばとなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」(11.2%)は1割強となっている。

【平成27年調査との比較】

「実施している」は2.4ポイント減少している。

(6) 災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレなど）を準備

「実施している」(16.4%)は1割台半ばを超え、「実施していないが、今後実施してみたい」(44.2%)は4割台半ばとなっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」(30.4%)は3割を超えている。

【平成27年調査との比較】

「実施している」は1.2ポイント増加している。一方、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は2.4ポイント減少している。

(7) 避難経路や避難場所を確認

「実施している」(45.5%)は4割台半ば、「実施していないが、今後実施してみたい」(37.3%)は3割台半ばを超えている。

【平成27年調査との比較】

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は1.7ポイント減少している。

(8) 地震時に電源が自動的に切れるブレーカーなどを設置

「実施している」(18.0%)は2割弱、「実施していないが、今後実施してみたい」(26.7%)は2割台半ばを超えている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」(30.7%)は3割を超えている。

【平成27年調査との比較】

「実施している」は2.6ポイント増加している。

(9) 消火器の準備や風呂の水のためおきなど、消火活動を行うために準備

「実施している」(34.9%)は3割台半ば、「実施していないが、今後実施してみたい」(33.2%)は3割強となっている。

【平成27年調査との比較】

「実施しておらず、今後も実施の予定はない」は1.4ポイント減少している。

(10) 地域の防災訓練に参加

「実施している」(21.9%)は2割強、「実施していないが、今後実施してみたい」(32.9%)は3割強となっている。一方で、「実施しておらず、今後も実施の予定はない」(30.9%)は3割強となっている。

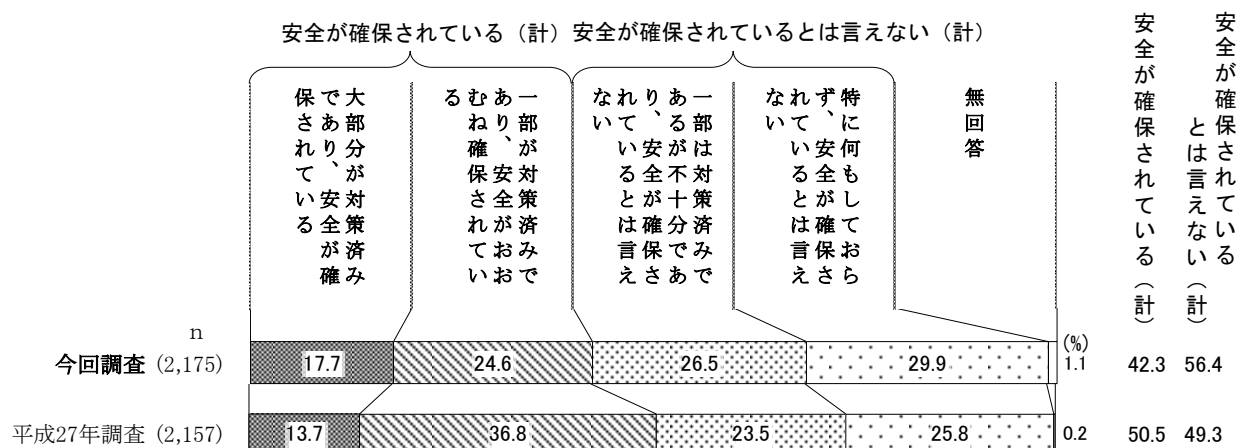
【平成27年調査との比較】

「実施している」は4.3ポイント増加している。

(12) 家具類の転倒・落下・移動への対策による安全確保状況

◇「特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない」29.9%

問13 あなたの家では、寝ている場所やよくいる場所（ダイニング、子供部屋等）、避難経路（特に出入口）において、家具類（タンス、食器棚、本棚、冷蔵庫、テレビ等）が転倒・落下・移動しないよう、固定や配置の工夫、家具類がない部屋で就寝するなどの対策により、安全が確保されていますか。



家具類の転倒・落下・移動への対策による安全確保状況は、「特に何もしておらず、安全が確保されているとは言えない」（29.9%）が約3割で最も高くなっている。一方、「一部は対策済みであるが不十分であり、安全が確保されているとは言えない」（26.5%）が2割台半ばを超え、「一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている」（24.6%）が、2割台半ば、「大部分が対策済みであり、安全が確保されている」（17.7%）が1割台半ばを超えている。なお、「大部分が対策済みであり、安全が確保されている」（17.7%）と「一部が対策済みであり、安全がおおむね確保されている」（24.6%）を合わせると4割強（42.3%）となっている。

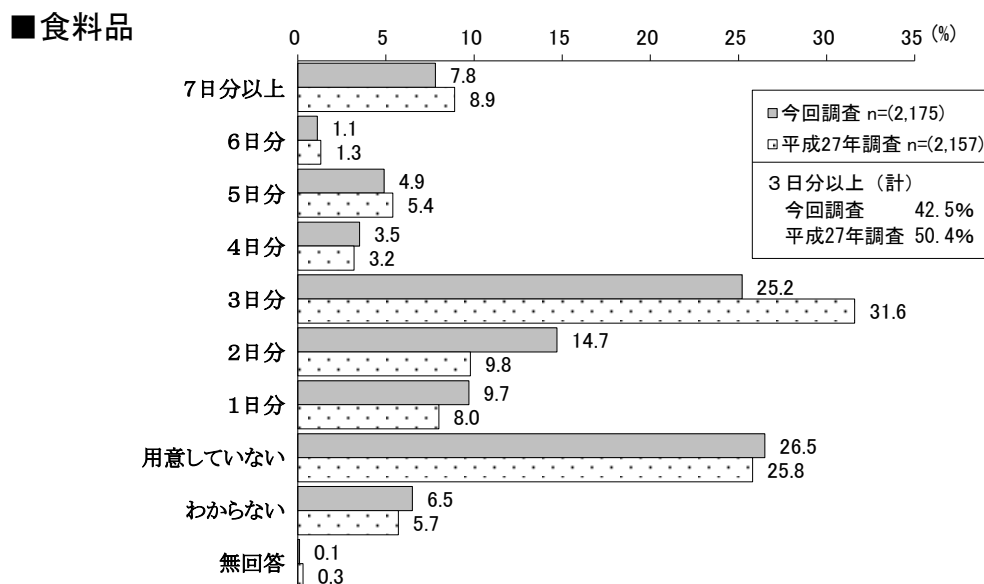
【過去調査との比較】

平成27年調査と比べて、『安全が確保されている（計）』は8.2ポイント減少している。

(13) 災害時に備えた備蓄量

◇『3日分以上（計）』は食料品が42.5%、飲料水が46.8%

問14 あなたの家では、災害時に利用できる食料品及び飲料水を何日分用意していますか。

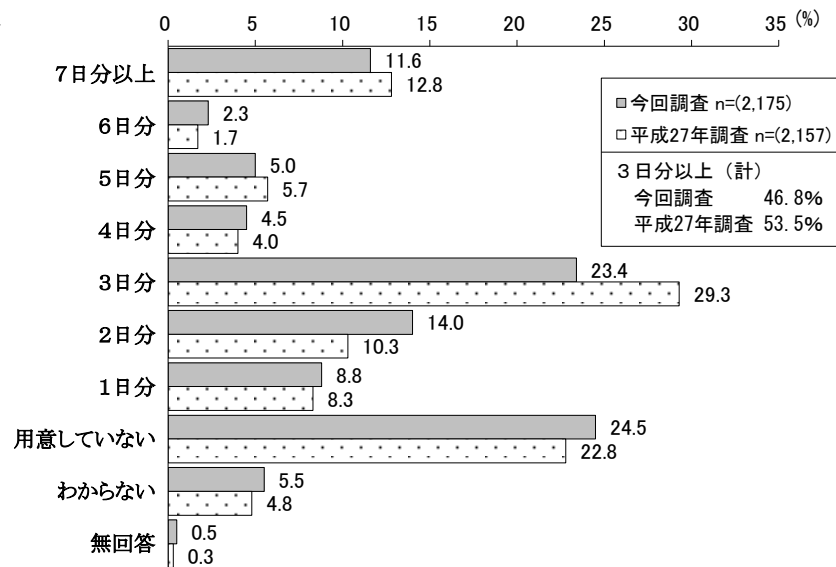


災害時に備えた備蓄量について、食料品は「用意していない」（26.5%）が2割台半ばを超えて最も多く、「3日分」（25.2%）が2割台半ば、「2日分」（14.7%）が1割台半ばである。なお、備蓄量を「3日分」以上と回答した人の割合を合わせた『3日分以上（計）』（42.5%）は4割強となっている。

【過去調査との比較】

平成27年調査と比べて、「2日分」（4.9ポイント増）などが増加している一方、「3日分」（6.4ポイント減）などが減少し、『3日分以上（計）』は7.9ポイントの減少となっている。

■ 飲料水



災害時に備えた備蓄量について、飲料水は「用意していない」（24.5%）が2割台半ばと最も多く、「3日分」（23.4%）が2割強、「2日分」（14.0%）が1割台半ば、「7日分以上」（11.6%）が1割強である。なお、備蓄量を「3日分」以上と回答した人の割合を合わせた『3日分以上（計）』（46.8%）は4割台半ばを超えている。

【過去調査との比較】

平成27年調査と比べて、「2日分」（3.7ポイント増）などが増加している一方、「3日分」（5.9ポイント減）などが減少し、『3日分以上（計）』は6.7ポイントの減少となっている。

3 県政への要望

◇「医療サービス体制を整備する」(26.9%)が1位

問15 埼玉県政への要望についておたずねいたします。

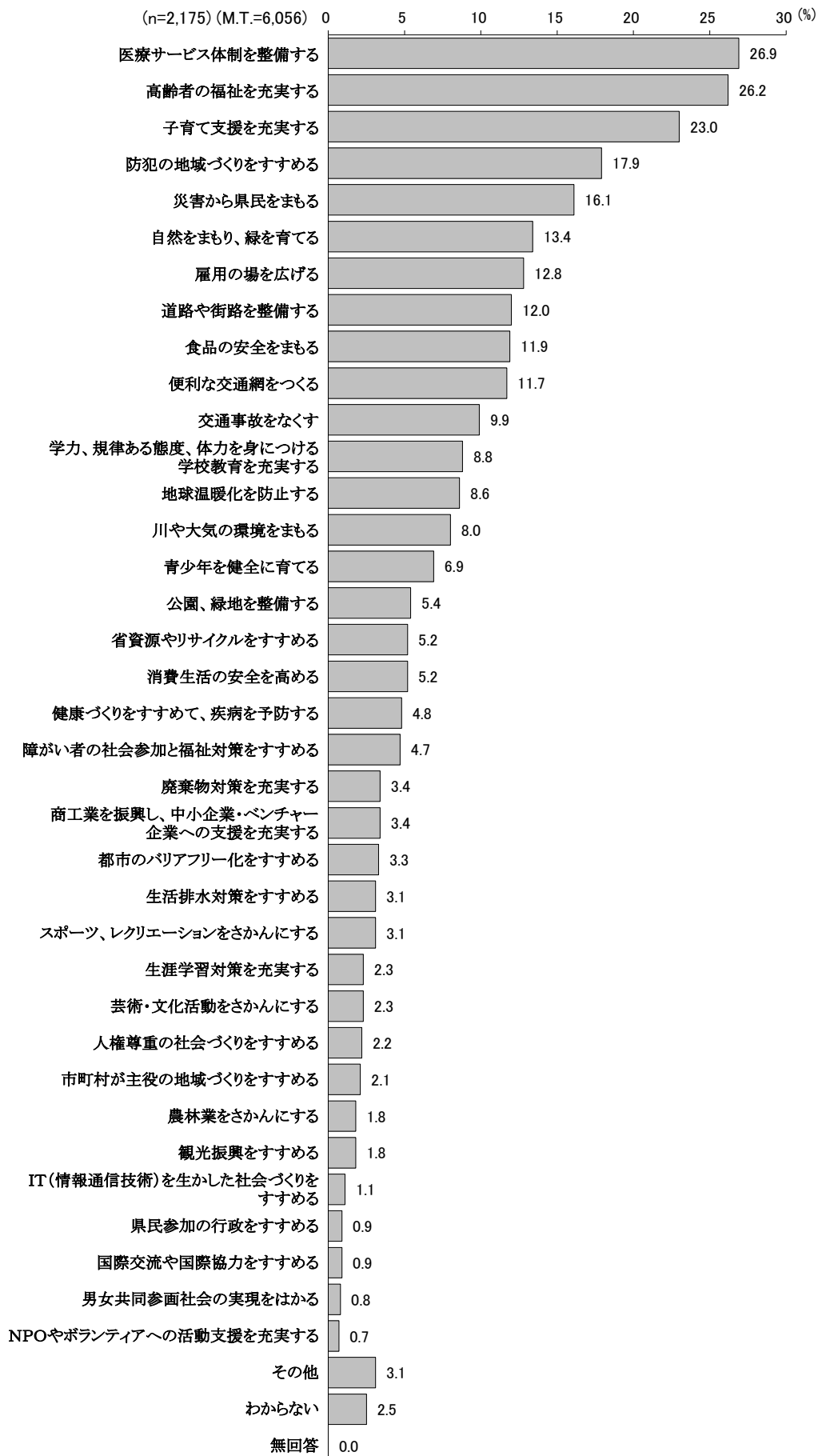
県の行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。

	今 回	前回（平成27年調査）	増減差
1位 医療サービス体制を整備する	26.9%	24.5% (2位)	2.4
2位 高齢者の福祉を充実する	26.2	28.5 (1位)	△ 2.3
3位 子育て支援を充実する	23.0	23.4 (3位)	△ 0.4
4位 防犯の地域づくりをすすめる	17.9	17.4 (4位)	0.5
5位 災害から県民をまもる	16.1	14.6 (5位)	1.5
6位 自然をまもり、緑を育てる	13.4	12.4 (9位)	1.0
7位 雇用の場を広げる	12.8	12.8 (8位)	0.0
8位 道路や街路を整備する	12.0	13.0 (7位)	△ 1.0
9位 食品の安全をまもる	11.9	13.4 (6位)	△ 1.5
10位 便利な交通網をつくる	11.7	12.0 (10位)	△ 0.3

【過去調査との比較】

今回の上位10位と前回の平成27年調査を比較すると、1位の「医療サービス体制を整備する」と2位の「高齢者の福祉を充実する」の順位が入れ替わった。3位から5位の「子育て支援を充実する」、「防犯の地域づくりをすすめる」「災害から県民をまもる」には順位の変化がない。前回9位の「自然をまもり、緑を育てる」は順位を上げて6位、前回8位の「雇用の場を広げる」も順位を上げて7位となっている。

前回調査との増減をみると、「医療サービス体制を整備する」(2.4ポイント増)、「災害から県民をまもる」(1.5ポイント増)などが増加している。一方で、「高齢者の福祉を充実する」(2.3ポイント減)、「食品の安全をまもる」(1.5ポイント減)などは減少している。



【平成24年以降の上位10位の推移】

過去5年間の上位10位の推移をみると、今回1位の「医療サービス体制を整備する」（2位→2位→2位→2位→1位）と、2位の「高齢者の福祉を充実する」（1位→1位→1位→1位→2位）は上位で固定している。3位の「子育て支援を充実する」（7位→3位→3位→3位→3位）は平成24年に順位を下げていたが、平成25年から平成28年は3位を維持している。4位の「防犯の地域づくりをすすめる」（4位→4位→4位→4位→4位）は同じ順位を維持している。5位の「災害から県民をまもる」（6位→8位→5位→5位→5位）は平成25年に順位を下げたが、前々回から5位を維持している。6位の「自然をまもり、緑を育てる」（3位→7位→9位→9位→6位）は平成26年から平成27年まで9位であったが、今回順位を大きく上げた。7位の「雇用の場を広げる」（5位→5位→6位→8位→7位）は平成27年から順位を1つ上げた。8位の「道路や街路を整備する」（11位→11位→11位→7位→8位）は前回7位に順位を上げたが、今回順位を1つ下げた。9位の「食品の安全をまもる」（8位→6位→8位→6位→9位）は前回順位を上げたが、今回順位を大きく下げた。

順位	24年	25年	26年	27年	28年
1	高齢者の福祉を充実する 26.4%	高齢者の福祉を充実する 26.2%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	医療サービス体制を整備する 26.9%
2	医療サービス体制を整備する 21.2%	医療サービス体制を整備する 25.4%	医療サービス体制を整備する 25.3%	医療サービス体制を整備する 24.5%	高齢者の福祉を充実する 26.2%
3	自然をまもり、緑を育てる 19.7%	子育て支援を充実する 20.0%	子育て支援を充実する 17.3%	子育て支援を充実する 23.4%	子育て支援を充実する 23.0%
4	防犯の地域づくりをすすめる 17.6%	防犯の地域づくりをすすめる 16.9%	防犯の地域づくりをすすめる 16.7%	防犯の地域づくりをすすめる 17.4%	防犯の地域づくりをすすめる 17.9%
5	雇用の場を広げる 17.3%	雇用の場を広げる 15.7%	災害から県民をまもる 16.5%	災害から県民をまもる 14.6%	災害から県民をまもる 16.1%
6	災害から県民をまもる 17.2%	食品の安全をまもる 15.2%	雇用の場を広げる 15.3%	食品の安全をまもる 13.4%	自然をまもり、緑を育てる 13.4%
7	子育て支援を充実する 16.6%	自然をまもり、緑を育てる 15.0%	交通事故をなくす 14.2%	道路や街路を整備する 13.0%	雇用の場を広げる 12.8%
8	食品の安全をまもる 14.2%	災害から県民をまもる 12.1%	食品の安全をまもる 13.8%	雇用の場を広げる 12.8%	道路や街路を整備する 12.0%
9	交通事故をなくす 13.2%	交通事故をなくす 11.6%	自然をまもり、緑を育てる 13.0%	自然をまもり、緑を育てる 12.4%	食品の安全をまもる 11.9%
10	地球温暖化を防止する 9.6%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.2%	便利な交通網をつくる 11.7%	便利な交通網をつくる 12.0%	便利な交通網をつくる 11.7%

【上位4位の10年間の推移】

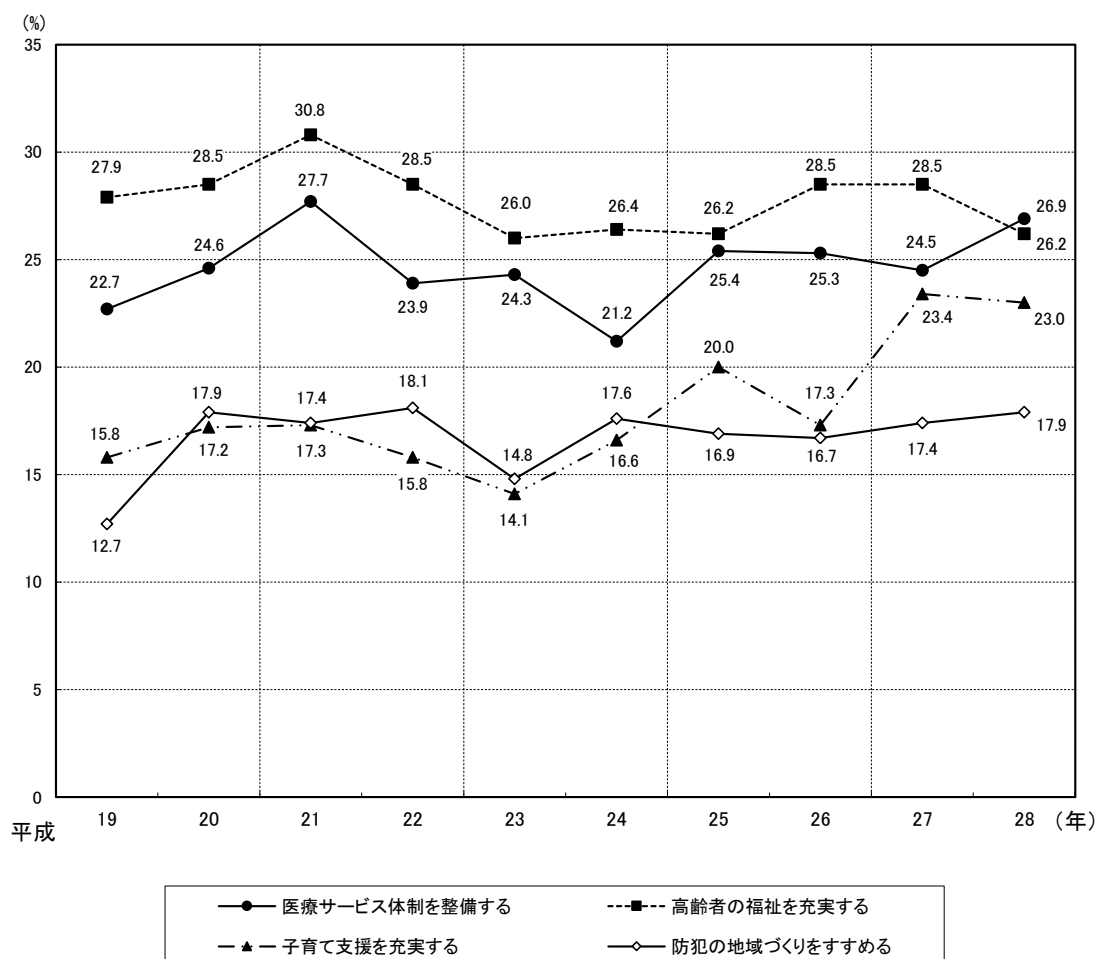
今回調査で上位となった「医療サービス体制を整備する」、「高齢者の福祉を充実する」、「子育て支援を充実する」、「防犯の地域づくりをすすめる」の4項目について、平成19年以降の直近10年間の推移をみると次のようになっている。

まず、1位の「医療サービス体制を整備する」は平成21年に直近10年間での最高値を記録してから減少傾向に転じたが、平成25年に増加に転じ、今回は2割台半ばを超えて最高値に次いで2番目の値を記録した。

2位の「高齢者の福祉を充実する」は平成21年に直近10年間での最高値を記録した以降は減少傾向に転じたが、平成26年から平成27年にかけては3割弱で推移し、今回再び減少している。

3位の「子育て支援を充実する」は、平成23年に直近10年間での最低値を記録した以降は増加傾向に転じ、前回最高値を記録して、今回も2割強を維持して推移している。

4位の「防犯の地域づくりをすすめる」は平成19年に直近10年間での最低値を記録した以降、おおむね15～18%程度の間で推移している。



県政への要望10年間の推移(平成19年～平成28年)

	H19	H20	H21	H22	H23
1	高齢者の福祉を充実する 27.9%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 30.8%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 26.0%
2	医療サービス体制を整備する 22.7%	医療サービス体制を整備する 24.6%	医療サービス体制を整備する 27.7%	医療サービス体制を整備する 23.9%	医療サービス体制を整備する 24.3%
3	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	食品の安全をまもる 20.8%	自然をまもり、緑を育てる 19.7%	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	食品の安全をまもる 22.3%
4	地球温暖化を防止する 20.5%	地球温暖化を防止する 20.0%	防犯の地域づくりをすすめる 17.4%	防犯の地域づくりをすすめる 18.1%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%
5	食品の安全をまもる 17.7%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%	子育て支援を充実する 17.3%	子育て支援を充実する/ 雇用の場を広げる 15.8%	防犯の地域づくりをすすめる 14.8%
6	子育て支援を充実する 15.8%	防犯の地域づくりをすすめる 17.9%	食品の安全をまもる 16.8%	雇用の場を広げる 14.1%	災害から県民をまもる/ 雇用の場を広げる 14.7%
7	防犯の地域づくりをすすめる 12.7%	子育て支援を充実する 17.2%	地球温暖化を防止する 16.0%	地球温暖化を防止する 14.1%	子育て支援を充実する 14.1%
8	災害から県民をまもる 10.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.8%	雇用の場を広げる 12.7%	食品の安全をまもる 12.9%	交通事故をなくす 10.7%
9	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.3%	消費生活の安全を高める 10.3%	川や大気の状態をまもる 9.6%	交通事故をなくす 10.9%	道路や街路を整備する 10.4%
10	交通事故をなくす 9.9%	災害から県民をまもる 10.0%	災害から県民をまもる 9.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.1%	地球温暖化を防止する 10.0%
11	省資源やリサイクルをすすめる 9.5%	省資源やリサイクルをすすめる 9.9%	省資源やリサイクルをすすめる 8.7%	道路や街路を整備する 9.5%	省資源やリサイクルをすすめる/ 川や大気の状態をまもる 8.6%
12	川や大気の状態をまもる 9.3%	雇用の場を広げる 9.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.5%	省資源やリサイクルをすすめる 9.2%	消費生活の安全を高める 8.3%
13	雇用の場を広げる 8.4%	青少年を健全に育てる 8.7%	消費生活の安全を高める 8.2%	災害から県民をまもる 9.1%	生活排水対策をすすめる 3.2%
14	道路や街路を整備する/ 便利な交通網をつくる 8.0%	便利な交通網をつくる 8.5%	便利な交通網をつくる 7.9%	公園、緑地を整備する 8.4%	商業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.1%
15	消費生活の安全を高める 7.2%	川や大気の状態をまもる 7.5%	道路や街路を整備する 6.8%	青少年を健全に育てる 8.3%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%
16	青少年を健全に育てる 7.1%	道路や街路を整備する 7.2%	青少年を健全に育てる 6.2%	川や大気の状態をまもる 7.4%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%
17	公園、緑地を整備する 6.8%	公園、緑地を整備する 6.4%	公園、緑地を整備する 5.9%	便利な交通網をつくる 6.7%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.6%
18	廃棄物対策を充実する 5.5%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.8%	廃棄物対策を充実する 5.0%	消費生活の安全を高める 6.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.5%
19	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 4.6%	廃棄物対策を充実する 4.5%	農林業をさかんにする 3.9%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 4.2%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.4%
20	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.5%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.7%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.8%	都市のバリアフリー化をすすめる/ 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる/ 健康づくりをすすめて 疾病を予防する 3.6%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.3%
21	都市のバリアフリー化をすすめる 4.4%	農林業をさかんにする 3.0%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.6%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 3.3%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.2%
22	芸術・文化活動をさかんにする/ 生活排水対策をすすめる 2.4%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.8%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 3.3%	生活排水対策をすすめる 3.3%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.1%
23	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 1.4%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.7%	農林業をさかんにする 3.1%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.0%
24	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 1.3%	県民参加の行政をすすめる/ スポーツ・レクリエーションをさかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.5%	スポーツ・レクリエーションをさかんにする 2.4%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.0%
25	スポーツ・レクリエーションをさかんにする 2.3%	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	人権尊重の社会づくりをすすめる 1.8%	芸術・文化活動をさかんにする 1.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.0%
26	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	人権尊重の社会づくりをすすめる 1.8%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.6%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.0%
27	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.6%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.0%
28	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.6%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.0%
29	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.6%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.0%
30	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.6%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.0%
31	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.6%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.0%
32	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.6%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.0%
33	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.6%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.0%
34	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.6%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.0%
35	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.6%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.0%
36	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.6%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.0%

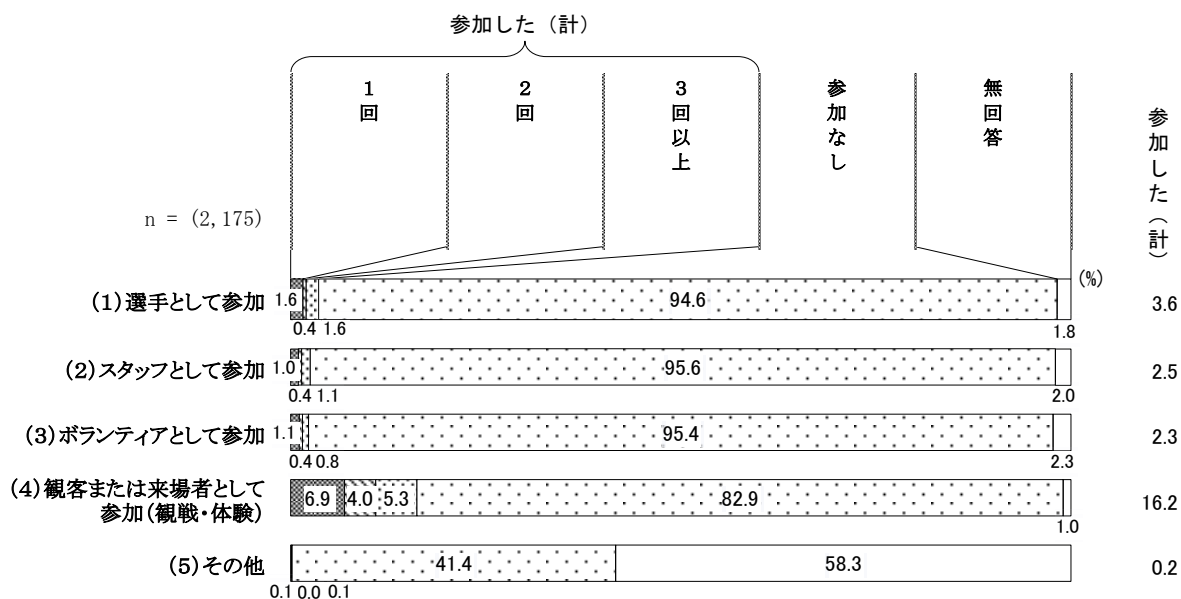
	H24	H25	H26	H27	H28
1	高齢者の福祉を充実する 26.4%	高齢者の福祉を充実する 26.2%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	医療サービス体制を整備する 26.9%
2	医療サービス体制を整備する 21.2%	医療サービス体制を整備する 25.4%	医療サービス体制を整備する 25.3%	医療サービス体制を整備する 24.5%	高齢者の福祉を充実する 26.2%
3	自然をまもり、緑を育てる 19.7%	子育て支援を充実する 20.0%	子育て支援を充実する 17.3%	子育て支援を充実する 23.4%	子育て支援を充実する 23.0%
4	防犯の地域づくりをすすめる 17.6%	防犯の地域づくりをすすめる 16.9%	防犯の地域づくりをすすめる 16.7%	防犯の地域づくりをすすめる 17.4%	防犯の地域づくりをすすめる 17.9%
5	雇用の場を広げる 17.3%	雇用の場を広げる 15.7%	災害から県民をまもる 16.5%	災害から県民をまもる 14.6%	災害から県民をまもる 16.1%
6	災害から県民をまもる 17.2%	食品の安全をまもる 15.2%	雇用の場を広げる 15.3%	食品の安全をまもる 13.4%	自然をまもり、緑を育てる 13.4%
7	子育て支援を充実する 16.6%	自然をまもり、緑を育てる 15.0%	交通事故をなくす 14.2%	道路や街路を整備する 13.0%	雇用の場を広げる 12.8%
8	食品の安全をまもる 14.2%	災害から県民をまもる 12.1%	食品の安全をまもる 13.8%	雇用の場を広げる 12.8%	道路や街路を整備する 12.0%
9	交通事故をなくす 13.2%	交通事故をなくす 11.6%	自然をまもり、緑を育てる 13.0%	自然をまもり、緑を育てる 12.4%	食品の安全をまもる 11.9%
10	地球温暖化を防止する 9.6%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.2%	便利な交通網をつくる 11.7%	便利な交通網をつくる 12.0%	便利な交通網をつくる 11.7%
11	道路や街路を整備する 8.4%	道路や街路を整備する／ 便利な交通網をつくる 9.2%	道路や街路を整備する 11.1%	交通事故をなくす 10.5%	交通事故をなくす 9.9%
12	便利な交通網をつくる 8.2%		学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 9.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.8%
13	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.0%	川や大気の状態をまもる 8.6%	川や大気の状態をまもる 8.7%	青少年を健全に育てる 7.9%	地球温暖化を防止する 8.6%
14	省資源やリサイクルをすすめる／ 青少年を健全に育てる 7.8%	地球温暖化を防止する 7.9%	地球温暖化を防止する 8.4%	川や大気の状態をまもる 6.6%	川や大気の状態をまもる 8.0%
15	青少年を健全に育てる 7.8%	青少年を健全に育てる 6.9%	青少年を健全に育てる 7.3%	地球温暖化を防止する 6.4%	青少年を健全に育てる 6.9%
16	川や大気の状態をまもる 6.5%	省資源やリサイクルをすすめる 5.9%	省資源やリサイクルをすすめる 6.6%	公園、緑地を整備する 6.4%	公園、緑地を整備する 5.4%
17	消費生活の安全を高める 6.0%	公園、緑地を整備する 5.8%	消費生活の安全を高める 6.5%	消費生活の安全を高める 6.3%	省資源やリサイクルをすすめる 5.2%
18	公園、緑地を整備する 5.6%	消費生活の安全を高める 5.1%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 5.9%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 5.6%	消費生活の安全を高める 5.2%
19	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 4.7%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 4.8%	公園、緑地を整備する 5.2%	省資源やリサイクルをすすめる 5.1%	健康づくりをすすめて、疾病を予防する 4.8%
20	廃棄物対策を充実する 4.2%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.8%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.2%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 4.3%	障がい者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.7%
21	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 4.1%	廃棄物対策を充実する／ 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.7%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.5%	障がい者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.7%	廃棄物対策を充実する／ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.4%
22	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.8%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.7%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 3.1%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.4%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.4%
23	都市のバリアフリー化をすすめる／ 人権尊重の社会づくりをすすめる 2.7%	都市のバリアフリー化をすすめる／ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.4%	廃棄物対策を充実する 3.0%	生活排水対策をすすめる 3.2%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.3%
24	人権尊重の社会づくりをすすめる／ 農林業をさかんにする 2.7%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.4%	都市のバリアフリー化をすすめる 2.9%	廃棄物対策を充実する 3.1%	生活排水対策をすすめる／ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 3.1%
25	農林業をさかんにする 2.7%	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.3%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.1%
26	生活排水対策をすすめる／ 市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.5%	農林業をさかんにする 2.2%	生活排水対策をすすめる 2.8%	芸術・文化活動をさかんにする 2.6%	生涯学習対策を充実する／ 芸術・文化活動をさかんにする 2.3%
27	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.5%	芸術・文化活動をさかんにする 2.1%	人権尊重の社会づくりをすすめる／ 農林業をさかんにする 2.4%	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.6%	芸術・文化活動をさかんにする 2.3%
28	芸術・文化活動をさかんにする／ スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.2%	観光振興をすすめる 1.9%	芸術・文化活動をさかんにする 2.4%	農林業をさかんにする 2.4%	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.2%
29	スポーツ、レクリエーションをさかんにする 2.2%	生活排水対策をすすめる／ 生涯学習対策を充実する 2.1%	農林業をさかんにする 2.1%	生涯学習対策を充実する 2.1%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.1%
30	観光振興をすすめる 2.1%	生涯学習対策を充実する 2.1%	県民参加の行政をすすめる 1.7%	観光振興をすすめる 2.0%	農林業をさかんにする 1.8%
31	県民参加の行政をすすめる 2.0%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 1.8%	観光振興をすすめる 1.6%	人権尊重の社会づくりをすすめる 1.6%	観光振興をすすめる 1.8%
32	生涯学習対策を充実する 1.8%	県民参加の行政をすすめる 1.4%	生涯学習対策を充実する 1.6%	男女共同参画社会の実現をはかる／ 県民参加の行政をすすめる 1.0%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりをすすめる 1.1%
33	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりをすすめる 1.1%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりをすすめる 1.3%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.2%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.2%	県民参加の行政をすすめる 0.9%
34	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.9%	国際交流や国際協力をすすめる 0.9%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 1.2%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりをすすめる 0.9%	国際交流や国際協力をすすめる 0.9%
35	国際交流や国際協力をすすめる 0.9%	男女共同参画社会の実現をはかる 0.8%	IT(情報通信技術)を生かした社会づくりをすすめる 0.8%	国際交流や国際協力をすすめる 0.8%	男女共同参画社会の実現をはかる 0.8%
36	男女共同参画社会の実現をはかる 0.7%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.8%	国際交流や国際協力をすすめる 0.8%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.8%	NPOやボランティアへの活動支援を充実する 0.7%

4 スポーツ振興

(1) スポーツイベントへの参加状況

◇『参加した（計）』は観客または来場者として参加（観戦・体験）が16.2%

問16 過去1年間のスポーツイベント（例.さいたま国際マラソンへの出場、プロスポーツの観戦など）への参加状況について、各項目ごとに参加回数をお答えください。（活動内容ごとに1つずつ選択）



※「(5) その他」については、具体的な内容の回答を一部抜粋して記載した（160ページ参照）。

スポーツイベントへの参加状況について、「1回」、「2回」、「3回以上」を合わせた『参加した（計）』は、観客または来場者として参加（観戦・体験）（16.2%）が1割台半ばを超えて最も高く、それ以外は1割未満となっている。一方、「参加なし」は、スタッフとして参加（95.6%）、ボランティアとして参加（95.4%）、選手として参加（94.6%）、観客または来場者として参加（観戦・体験）（82.9%）で高くなっている。

(1) 選手として参加

『参加した（計）』は3.6%、「参加なし」（94.6%）は9割台半ばとなっている。

(2) スタッフとして参加

『参加した（計）』は2.5%、「参加なし」（95.6%）は9割台半ばとなっている。

(3) ボランティアとして参加

『参加した（計）』は2.3%、「参加なし」（95.4%）は9割台半ばとなっている。

(4) 観客または来場者として参加（観戦・体験）

『参加した（計）』は16.2%、「参加なし」（82.9%）は8割強となっている。

(5) その他

【主な回答（一部抜粋）】

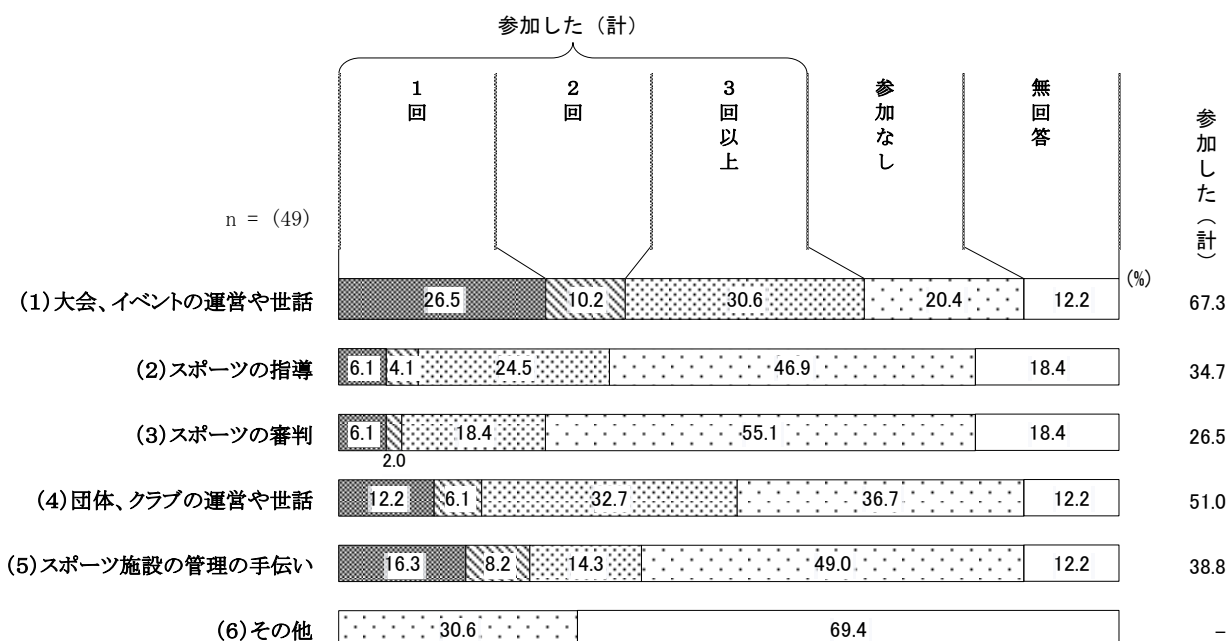
地域の運動会、ウォーキング大会、ゲートボール大会、フィギュアスケート、TV観戦 等

(1-1) スポーツボランティア活動の実施回数

◇『参加した(計)』は大会、イベントの運営や世話が67.3%、団体、クラブの運営や世話が51.0%

(問16で(3)「ボランティアとして1回以上参加した」と答えた方に)

問16-1 あなたが、過去1年間に行ったことのあるスポーツボランティア活動について、項目ごとに実施回数をお答えください。(活動内容ごとに1つずつ選択)



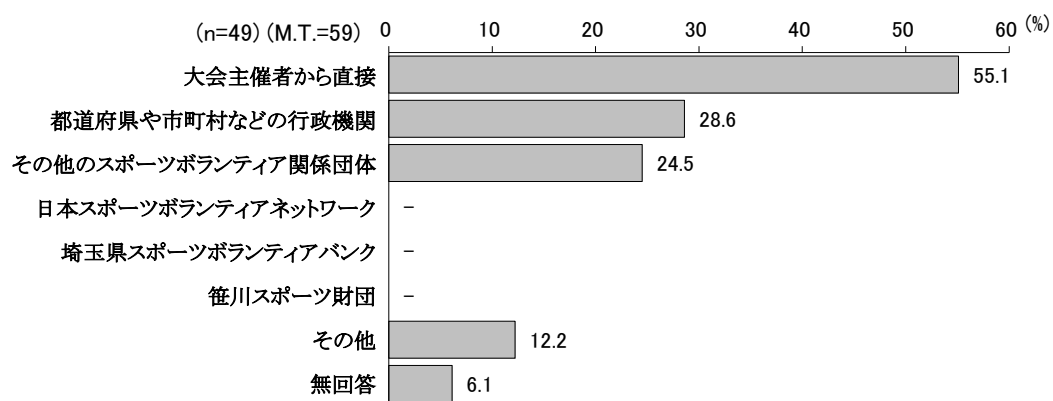
スポーツボランティア活動の実施回数について、「1回」、「2回」、「3回以上」を合わせた『参加した(計)』は、大会、イベントの運営や世話(67.3%)が6割台半ばを超えて最も高く、次いで、団体、クラブの運営や世話(51.0%)が5割強、スポーツ施設の管理の手伝い(38.8%)が4割弱、スポーツの指導(34.7%)が3割台半ば、スポーツの審判(26.5%)が2割台半ばを超えている。

（１－２）スポーツボランティア活動の募集情報の入手方法

◇「大会主催者から直接」55.1%

（問16で（３）「ボランティアとして１回以上参加した」と答えた方に）

問16－２ スポーツボランティア活動の募集情報は、どちらから入手しますか。あてはまるものをすべて選んでください。

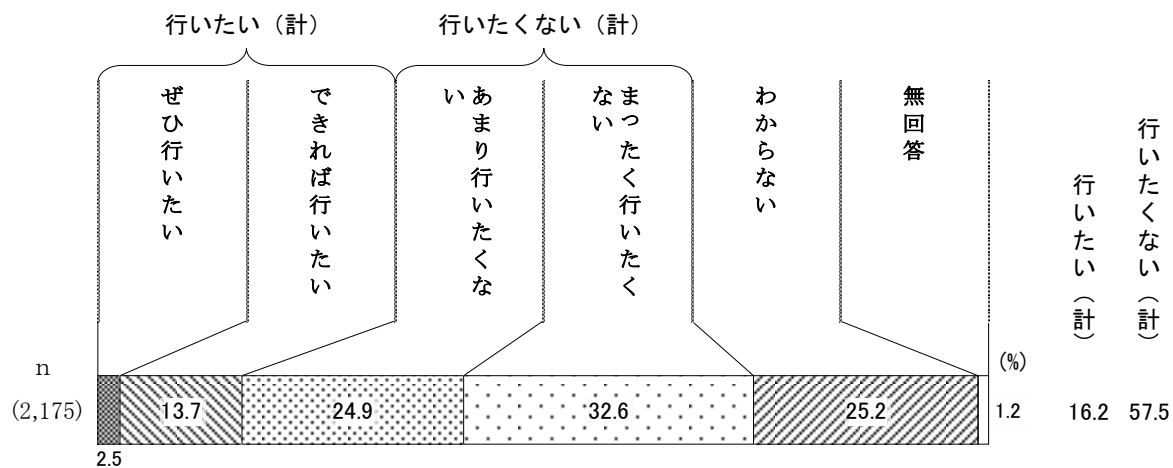


スポーツボランティア活動の募集情報の入手方法は、「大会主催者から直接」（55.1%）が5割台半ばと最も高く、次いで「都道府県や市町村などの行政機関」（28.6%）、「その他のスポーツボランティア関係団体」（24.5%）などとなっている。

（２）今後のスポーツボランティア活動意向

◇『行いたくない（計）』が57.5%、『行いたい（計）』が16.2%

問17 今後、スポーツボランティア活動を行ってみたいと思いますか。

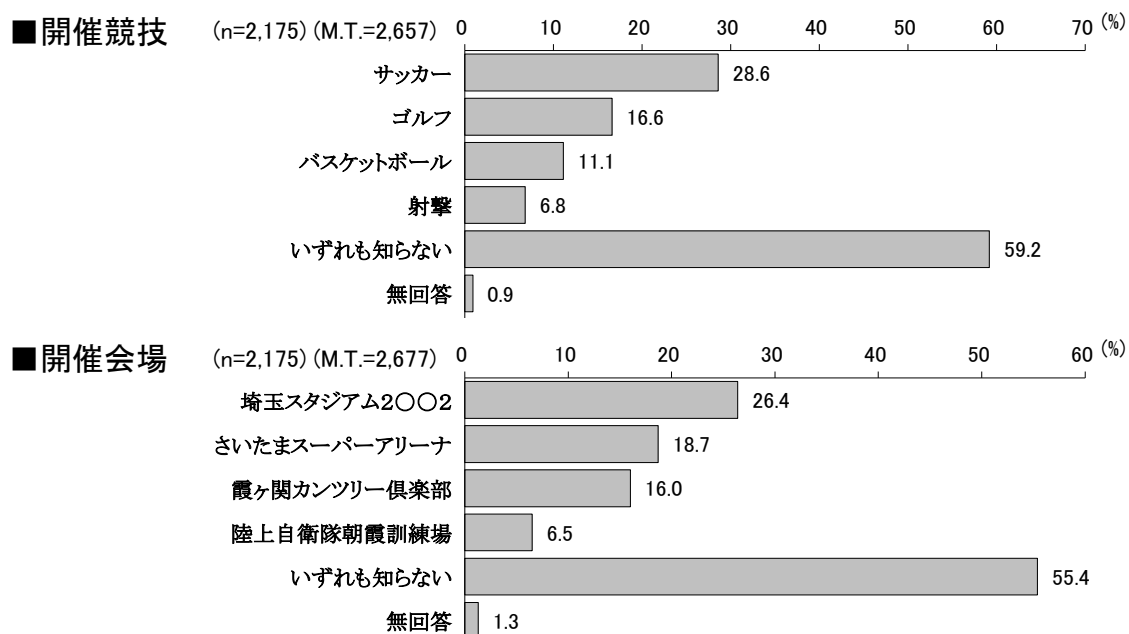


今後のスポーツボランティア活動意向は、「まったく行いたくない」（32.6%）が3割強と最も高く、これに「あまり行いたくない」（24.9%）を合わせた『行いたくない（計）』（57.5%）は5割台半ばを超えている。一方で、「ぜひ行いたい」（2.5%）と「できれば行いたい」（13.7%）を合わせた『行いたい（計）』（16.2%）は1割台半ばを超えている。また、「わからない」（25.2%）は2割台半ばとなっている。

（３）東京2020オリンピック・パラリンピック 埼玉県内の認知状況

◇開催競技は「サッカー」が28.6%、開催会場は「埼玉スタジアム2002」が26.4%

問18 「東京2020オリンピック・パラリンピック」において、埼玉県内で開催される競技と会場で、知っていたものはどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。



東京2020オリンピック・パラリンピックについて、埼玉県内の認知状況を聞いたところ、開催競技、開催会場ともに「いずれも知らない」が最も多く、競技（59.2%）で約6割、会場（55.4%）で5割台半ばとなっている。開催競技では、「サッカー」（28.6%）が3割弱で最も高く、次いで、「ゴルフ」（16.6%）、「バスケットボール」（11.1%）、「射撃」（6.8%）となっている。開催会場では、「埼玉スタジアム2002」（26.4%）が2割台半ばを超えて最も高く、次いで、「さいたまスーパーアリーナ」（18.7%）、「霞ヶ関カンツリー倶楽部」（16.0%）、「陸上自衛隊朝霞訓練場」（6.5%）となっている。

◇『関心が高い（計）』が55.9%、『関心が低い（計）』が43.7%

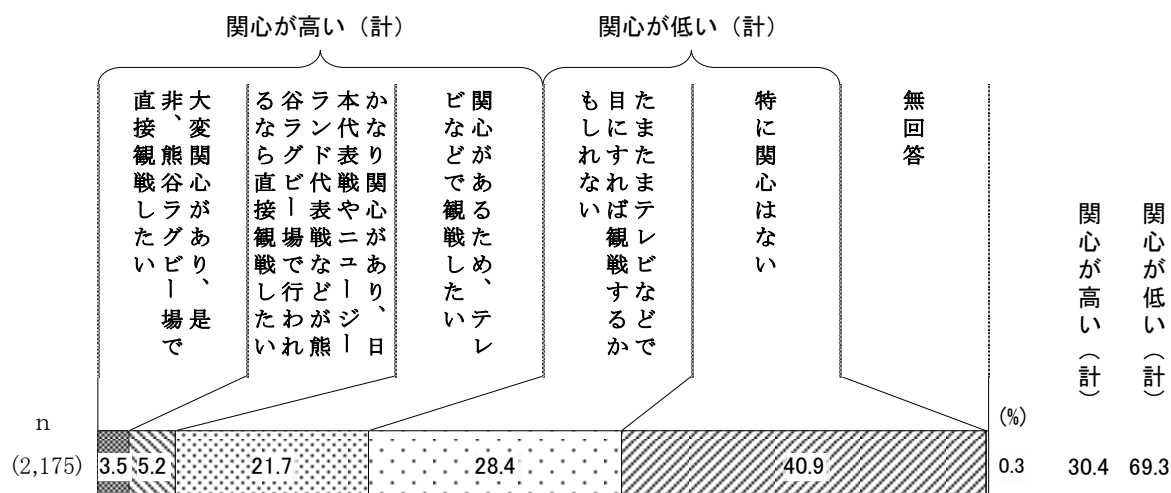
関心が高い (計)		関心が低い (計)		無回答		関心が高い (計)		関心が低い (計)	
大変関心があり、 会場で直接観戦し たい	関心があるため、 テレビなどで観戦 したい	たまたまテレビな どで目にした観 戦するかもしれな い	特に関心はない			関心が高い (計)	関心が低い (計)		
16.4	39.5	27.9	15.8	0.4	55.9	43.7			

– 54 –

（５）ラグビーワールドカップ2019への関心度

◇『関心が高い（計）』が30.4%、『関心が低い（計）』が69.3%

問20 埼玉県は、熊谷市とともに平成31年9月20日～11月2日に日本で開催されるラグビーワールドカップ2019の開催都市になっており、県営熊谷ラグビー場は全国12会場の一つになっています。あなたは、ラグビーワールドカップ2019に対してどのような関心がありますか。



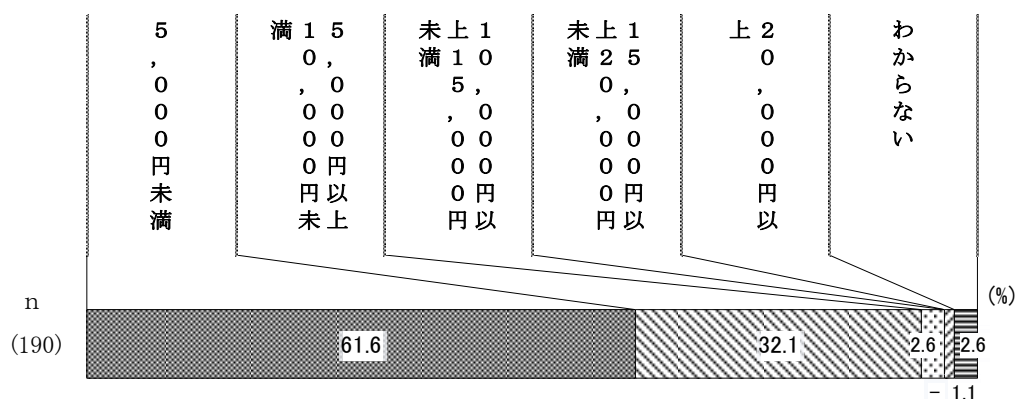
ラグビーワールドカップ2019への関心度は、「特に関心はない」（40.9%）が4割を超えて最も高くなっている。これに、「たまたまテレビなどで目にすれば観戦するかもしれない」（28.4%）を合わせた『関心が低い（計）』（69.3%）は7割弱となっている。一方で、「大変関心があり、是非、熊谷ラグビー場で直接観戦したい」（3.5%）、「かなり関心があり、日本代表戦やニュージーランド代表戦などが熊谷ラグビー場で行われるなら直接観戦したい」（5.2%）、「関心があるため、テレビなどで観戦したい」（21.7%）を合わせた『関心が高い（計）』（30.4%）は3割となっている。

（５－１）観戦できるチケットの価格帯

◇「5,000円未満」61.6%、「5,000円以上10,000円未満」32.1%

（問20で「大変関心があり、是非、熊谷ラグビー場で直接観戦したい」、「かなり関心があり、日本代表戦やニュージーランド代表戦などが熊谷ラグビー場で行われるなら直接観戦したい」のいずれかを答えた方に）

問20-1 どのような価格帯なら観戦したいと思いますか。



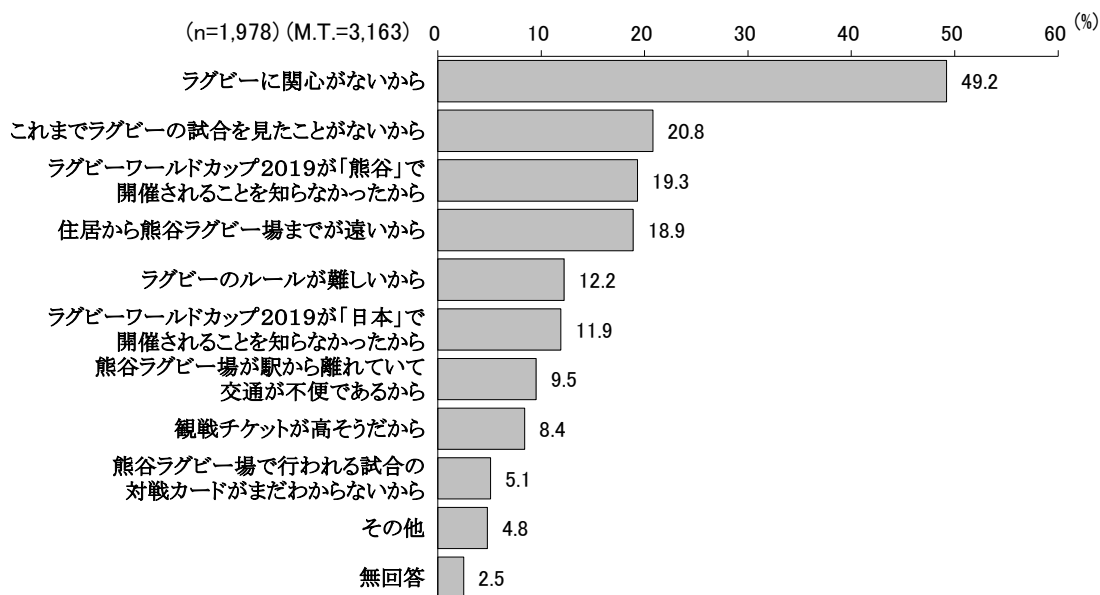
観戦できるチケットの価格帯は、「5,000円未満」（61.6%）が6割を超えて最も高くなっている。次いで、「5,000円以上10,000円未満」（32.1%）が3割強などとなっている。

(5-2) テレビなどで観戦する理由、特に関心がない理由

◇「ラグビーに関心がないから」49.2%

(問20で「関心があるため、テレビなどで観戦したい」、「たまたまテレビなどで目にすれば観戦するかもしれない」、「特に関心はない」のいずれかを答えた方に)

問20-2 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

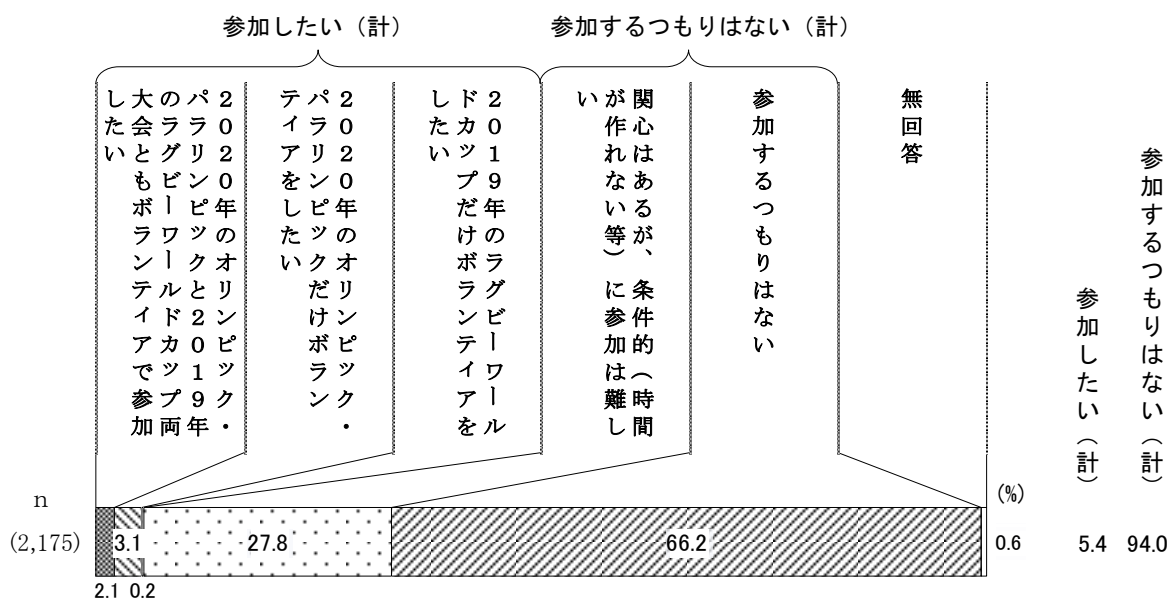


テレビなどで観戦する理由、特に関心がない理由は、「ラグビーに関心がないから」(49.2%)が約5割と最も高く、次いで「これまでラグビーの試合を見たことがないから」(20.8%)、「ラグビーワールドカップ2019が「熊谷」で開催されることを知らなかったから」(19.3%)、「住居から熊谷ラグビー場までが遠いから」(18.9%)などとなっている。

（６）オリンピック・パラリンピックとラグビーワールドカップのボランティア

◇『参加するつもりはない（計）』が94.0%、『参加したい（計）』が5.4%

問21 2020年のオリンピック・パラリンピックと2019年のラグビーワールドカップの両大会でのボランティアについてあなたのお考えを教えてください。

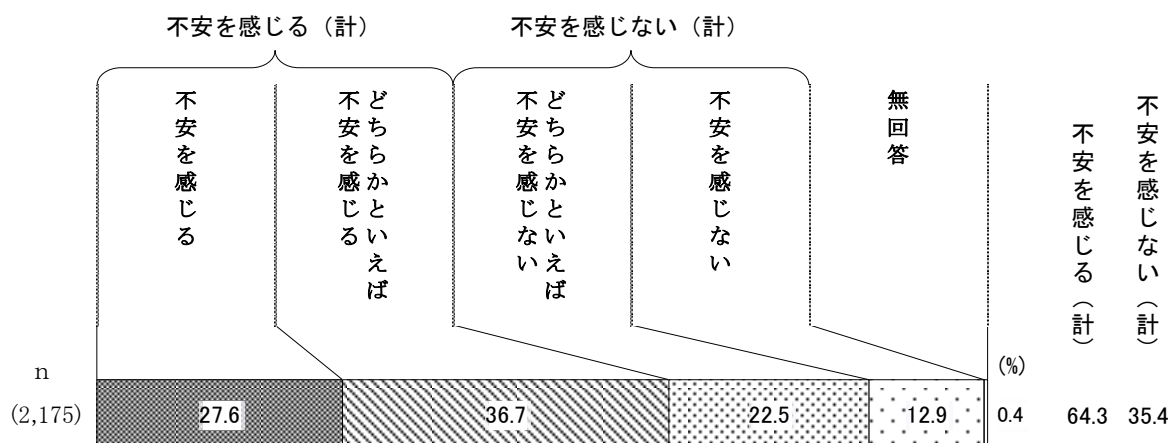


オリンピック・パラリンピックとラグビーワールドカップのボランティアについては、「参加するつもりはない」（66.2%）が6割台半ばを超えて最も高くなっている。これに、「関心はあるが、条件的（時間が作れない等）に参加は難しい」（27.8%）を合わせた『参加するつもりはない（計）』（94.0%）は9割台半ばとなっている。一方で、「2020年のオリンピック・パラリンピックと2019年のラグビーワールドカップ両大会ともボランティアで参加したい」（2.1%）と「2020年のオリンピック・パラリンピックだけボランティアをしたい」（3.1%）、「2019年のラグビーワールドカップだけボランティアをしたい」を合わせた『参加したい（計）』（5.4%）は1割未満となっている。

(7) オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ開催に伴う県内でのテロ発生への不安

◇『不安を感じる（計）』が64.3%、『不安を感じない（計）』が35.4%

問22 「東京2020オリンピック・パラリンピック」や「ラグビーワールドカップ2019」の開催に伴う県内でのテロ発生に不安を感じますか。



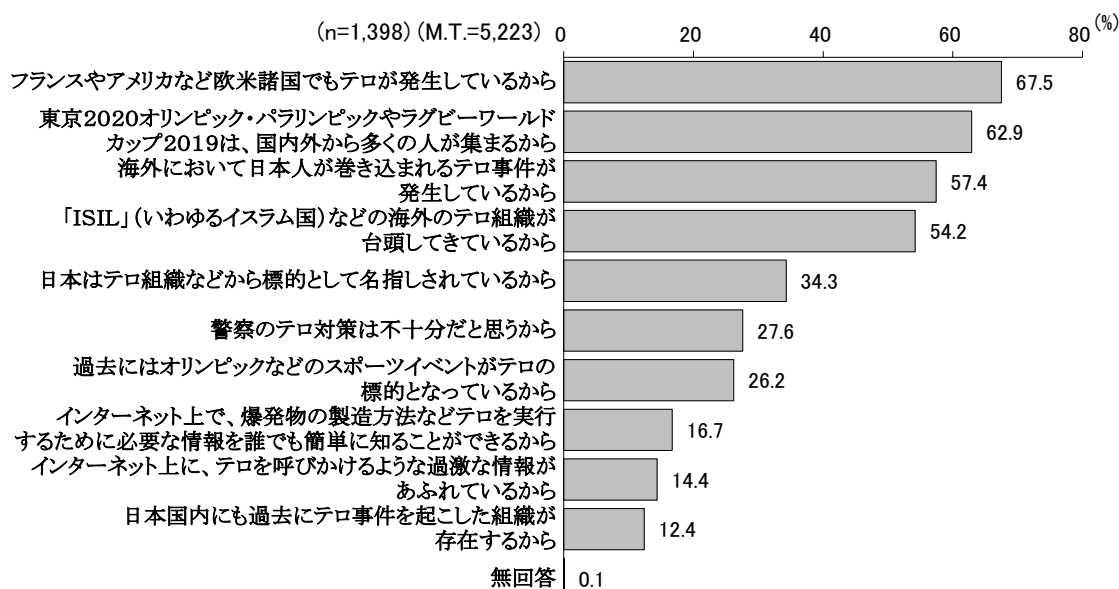
オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ開催に伴う県内でのテロ発生への不安は、「どちらかといえば不安を感じる」（36.7%）が3割台半ばを超えて最も高く、これに「不安を感じる」（27.6%）を合わせた『不安を感じる（計）』（64.3%）は6割台半ばとなっている。一方で、「どちらかといえば不安を感じない」（22.5%）と「不安を感じない」（12.9%）を合わせた『不安を感じない（計）』（35.4%）は3割台半ばとなっている。

(7-1) 県内においてテロが発生することに不安を感じる理由

◇「フランスやアメリカなど欧米諸国でもテロが発生しているから」67.5%

(問22で「不安を感じる」、「どちらかといえば不安を感じる」のいずれかを答えた方に)

問22-1 県内においてテロが発生することに不安を感じる理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



県内においてテロが発生することに不安を感じる理由は、「フランスやアメリカなど欧米諸国でもテロが発生しているから」(67.5%)が6割台半ばを超えて最も高く、次いで「東京2020オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ2019は、国内外から多くの人が集まるから」(62.9%)、「海外において日本人が巻き込まれるテロ事件が発生しているから」(57.4%)、「『ISIL』(いわゆるイスラム国)などの海外のテロ組織が台頭してきているから」(54.2%)などとなっている。

5 認知症

「認知症」をテーマに、関連することについておたずねしました。

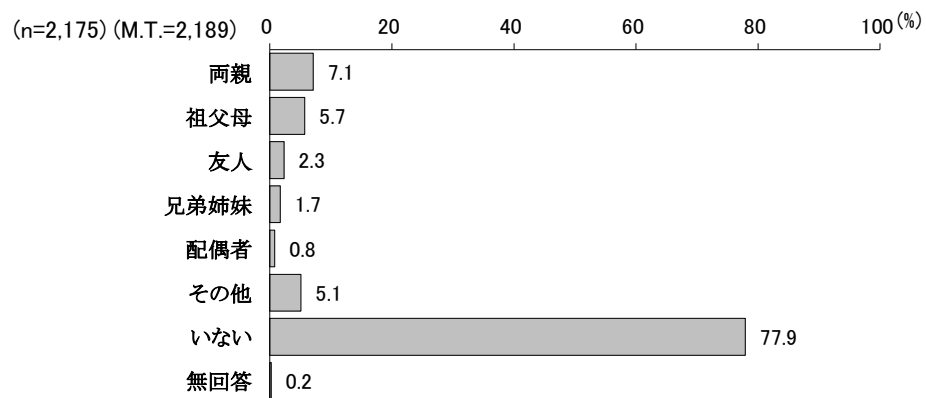
認知症とは、いろいろな病気が原因で脳の細胞が壊れてしまったり、働きが悪くなったりしたために様々な障害が起こり、生活の上で支障が出ている状態が、およそ6か月以上継続している状態を指します。

現在、65歳以上の高齢者のうち、15%は認知症であるという調査結果があります。

(1) 身近にいる認知症の人

◇「いない」77.9%、「両親」7.1%、「祖父母」5.7%

問23 現在、あなたの身近に認知症の人はいますか。あてはまるものをすべて選んでください。

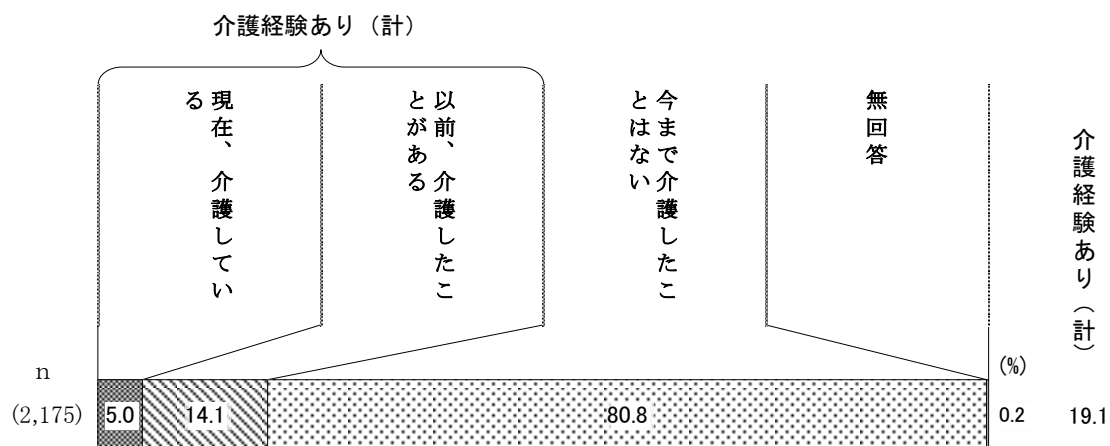


身近にいる認知症の人は、「いない」(77.9%)が7割台半ばを超えている。一方、身近にいる人の中では「両親」(7.1%)が最も高く、次いで、「祖父母」(5.7%)、「友人」(2.3%)などとなっている。

（２）認知症の人の介護経験

◇『介護経験あり（計）』19.1%

問24 あなたは、認知症の人の介護経験がありますか。

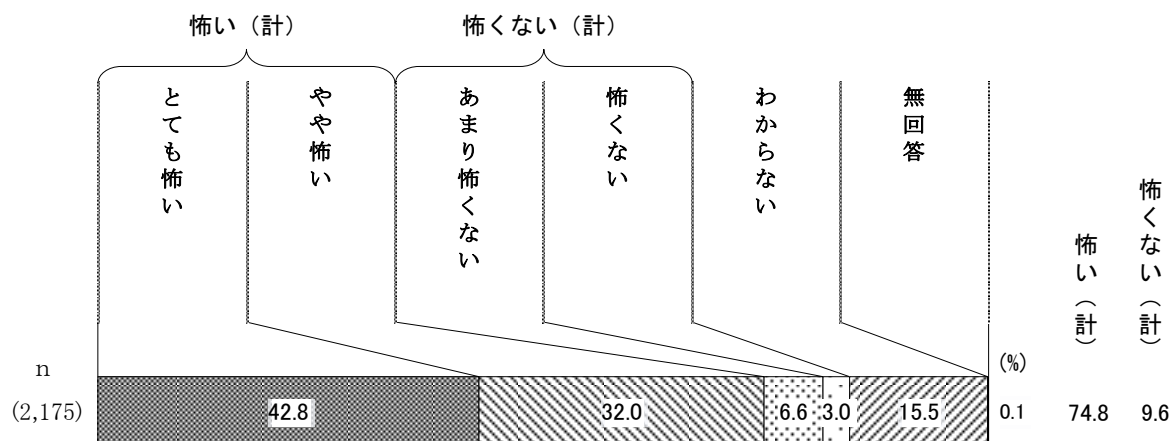


認知症の人の介護経験は、「今まで介護したことはない」（80.8％）が8割を超えて最も高くなっている。一方で、「以前、介護したことがある」（14.1％）が1割台半ばで、これに「現在、介護している」（5.0％）を合わせた『介護経験あり（計）』（19.1％）が約2割となっている。

(3) 自分自身が認知症になることに対するイメージ

◇『怖い (計)』74.8%、『怖くない (計)』9.6%

問25 あなたは、自分自身が認知症になることに対してどのようなイメージを持っていますか。
あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

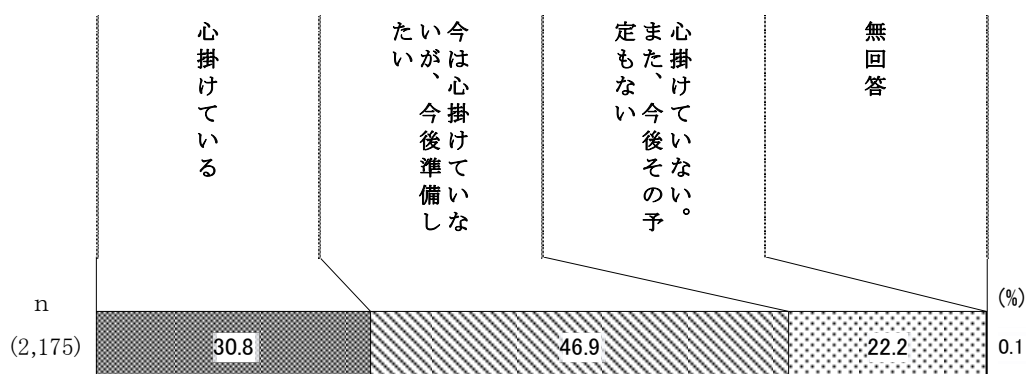


自分自身が認知症になることに対するイメージについては、「とても怖い」(42.8%)が4割強で最も高く、これに「やや怖い」(32.0%)を合わせた『怖い (計)』(74.8%)は7割台半ばとなっている。一方で、「あまり怖くない」(6.6%)と「怖くない」(3.0%)を合わせた『怖くない (計)』(9.6%)は約1割となっている。

(4) 自分や家族が認知症にならないために心掛けていること

◇「今は心掛けていないが、今後準備したい」46.9%

問26 自分や家族が認知症にならないために、何か心掛けていることがありますか。



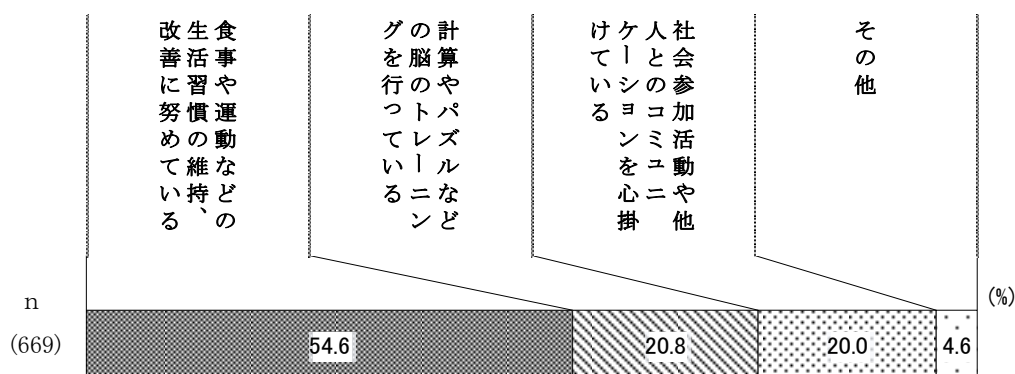
自分や家族が認知症にならないために心掛けていることは、「今は心掛けていないが、今後準備したい」(46.9%)が4割台半ばを超えて最も高く、「心掛けている」(30.8%)が3割を超えている。一方で、「心掛けていない。また、今後その予定もない」(22.2%)は2割強となっている。

(4-1) 準備している内容

◇「食事や運動などの生活習慣の維持、改善に努めている」54.6%

(問26で「心掛けている」と答えた方に)

問26-1 どんな準備をしていますか。最もあてはまるものを一つ選んでください。

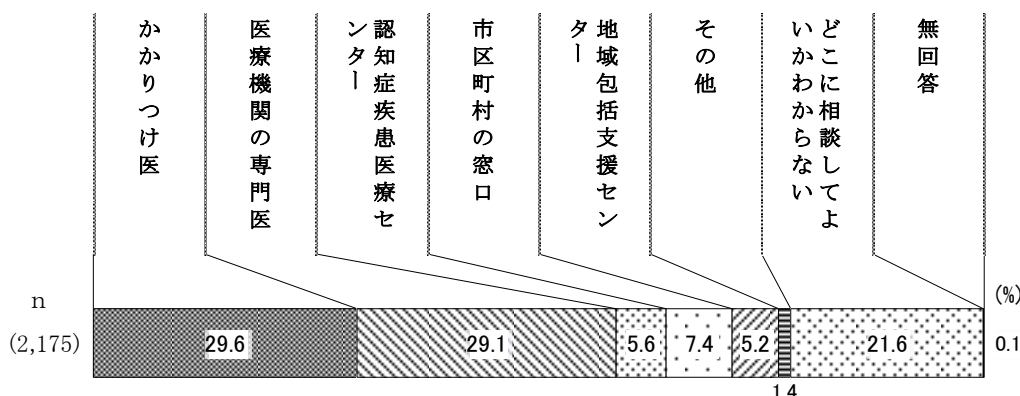


準備している内容は、「食事や運動などの生活習慣の維持、改善に努めている」(54.6%)が5割台半ばと最も高く、次いで「計算やパズルなどの脳のトレーニングを行っている」(20.8%)、「社会参加活動や他人とのコミュニケーションを心掛けている」(20.0%)となっている。

(5) 認知症に関して相談したい場合の相談先

◇「かかりつけ医」29.6%、「医療機関の専門医」29.1%

問27 あなたは、認知症に関して相談したい場合、どこに相談しますか。最もあてはまるものを一つ選んでください。



認知症に関して相談したい場合の相談先は、「かかりつけ医」(29.6%)と「医療機関の専門医」(29.1%)が約3割といずれも高く、次いで、「市区町村の窓口」(7.4%)、「認知症疾患医療センター」(5.6%)などとなっている。一方で、「どこに相談してよいかわからない」(21.6%)が2割強となっている。

◇『知らない（計）』が77.5%、『知っている（計）』が22.2%

Category	Sub-category	Percentage (%)
知っている (計)	知っている (計)	5.4
	知らない (計)	16.8
知らない (計)	知らない (計)	66.8
	知らない (計)	10.7
無回答		0.3
知っている (計)		22.2
知らない (計)		77.5

– 65 –

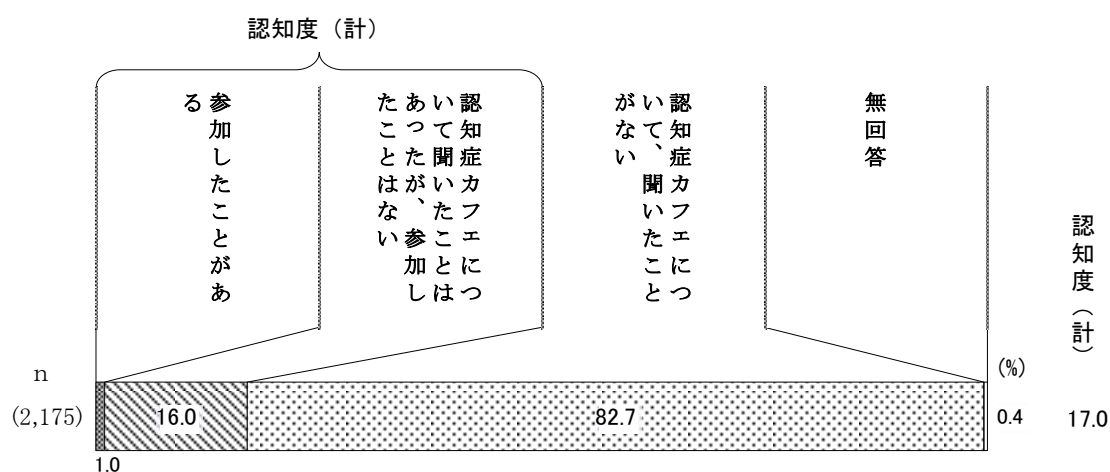
（７）認知症カフェの参加経験等

◇『認知度（計）』が17.0%

問29 あなたは、認知症カフェ（※）の参加経験等がありますか。

※認知症カフェとは・・

認知症の人やその家族、地域住民や医療・福祉専門職の人々が集う場所のことです。家族の介護負担の軽減を図ることや、認知症の人を支えるつながりをつくること等を目的に開催されています。



認知症カフェの参加経験等は、「参加したことがある」（1.0%）が1割未満と低く、「認知症カフェについて聞いたことはあったが、参加したことはない」（16.0%）と合わせた『認知度（計）』（17.0%）は1割台半ばを超えた程度にとどまる。一方、「認知症カフェについて、聞いたことがない」（82.7%）が8割強と高くなっている。

（８）若年性認知症の認知状況

◇「言葉を知っているだけではなく、意味も理解している」66.5%

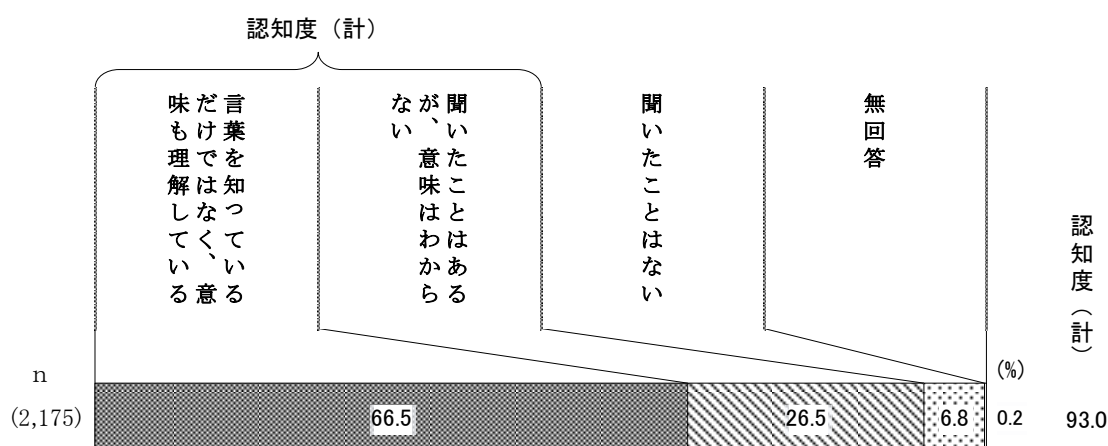
問30 あなたは、若年性認知症（※）という言葉を知っていますか。

※若年性認知症とは・・

18歳以上65歳未満で発症する認知症は「若年性認知症」と呼ばれ、推定発症年齢の平均は、およそ51歳であると言われています。

高齢になってから発症する認知症と比べ、脳の委縮スピードが速く、一般的に病気の進行が早いのが特徴です。

埼玉県内には、およそ2,000人の患者の方がいると推計されています。



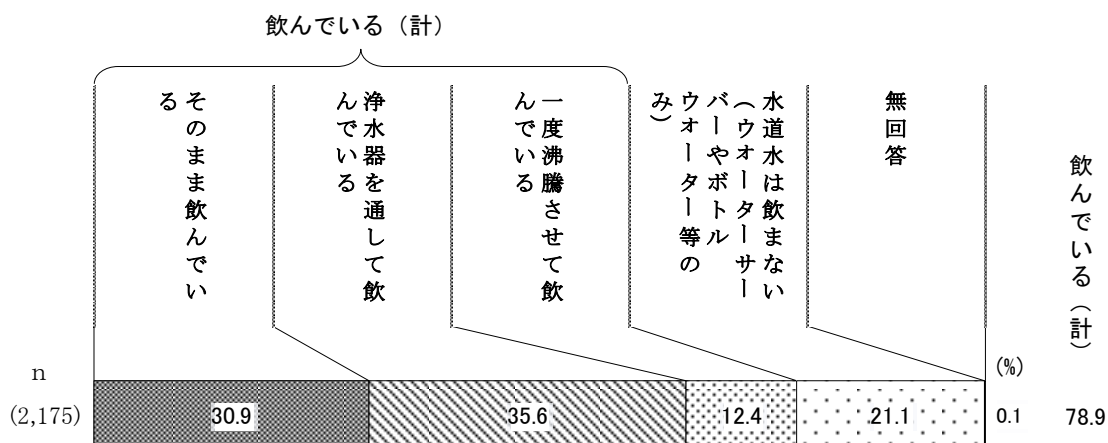
若年性認知症の認知状況は、「言葉を知っているだけではなく、意味も理解している」（66.5%）が6割台半ばを超えて最も高く、これに「聞いたことはあるが、意味はわからない」（26.5%）と合わせた『認知度（計）』（93.0%）は9割強となっている。一方、「聞いたことはない」（6.8%）は1割未満となっている。

6 水道の利用

(1) 普段の水道水の飲用状況

◇『飲んでいる（計）』78.9%

問31 あなたは普段、水道水を主にどのようにして飲んでいますか。最もあてはまるものを一つ選んでください。

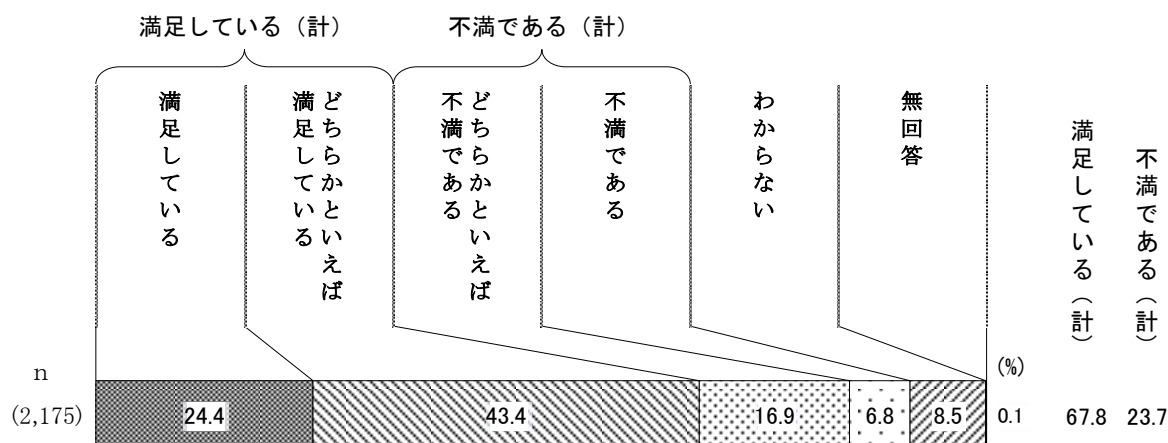


普段の水道水の飲用状況は、「浄水器を通して飲んでいる」（35.6％）が3割台半ばで最も高く、次いで「そのまま飲んでいる」（30.9％）が3割を超えている。それらに「一度沸騰させて飲んでいる」（12.4％）を合わせた『飲んでいる（計）』（78.9％）は8割弱となっている。一方で、「水道水は飲まない（ウォーターサーバーやボトルウォーター等のみ）」（21.1％）は2割強となっている。

（２）水道に対する満足度

◇『満足している（計）』は67.8%、『不満である（計）』は23.7%

問32 現在、あなたが使用している水道に対して満足していますか。次の中から最もあてはまるものを一つ選んでください。



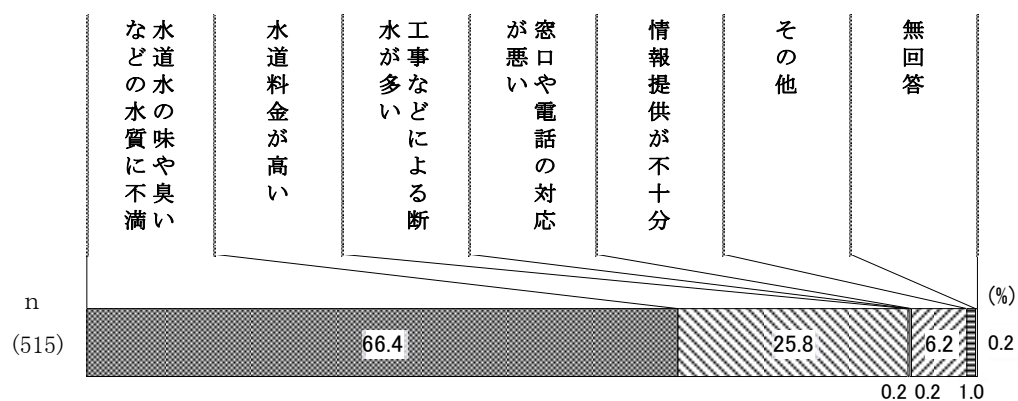
水道に対する満足度は、「どちらかといえば満足している」（43.4%）が4割強で最も高く、次いで、「満足している」が24.4%となっている。両者を合わせた『満足している（計）』（67.8%）は6割台半ばを超えている。一方で、「不満である」（6.8%）と「どちらかといえば不満である」（16.9%）を合わせた『不満である（計）』（23.7%）は2割強となっている。『満足している（計）』が『不満である（計）』を44.1ポイント上回っている。

（２－１）不満の理由

◇「水道水の味や臭いなどの水質に不満」66.4%

（問32で「どちらかといえば不満である」、「不満である」のいずれかを答えた方に）

問32-1 その理由は何ですか。次の中から最も不満を感じているものを一つ選んでください。

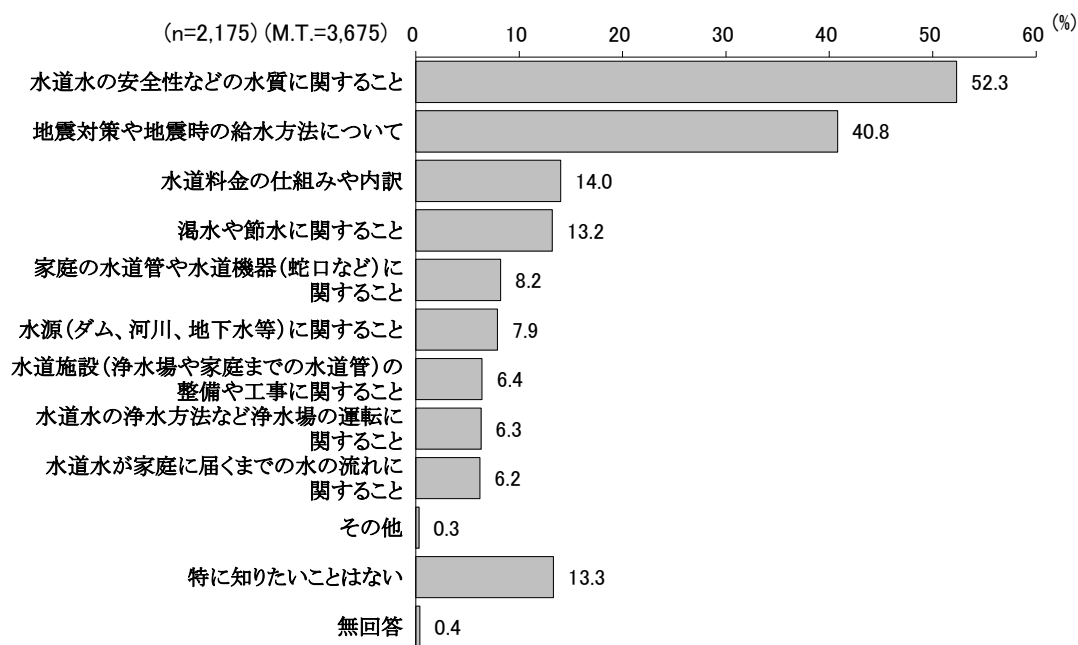


不満の理由は、「水道水の味や臭いなどの水質に不満」（66.4%）が6割台半ばと最も高く、次いで「水道料金が低い」（25.8%）、「情報提供が不十分」（6.2%）などとなっている。

（３）水道全般について知りたいことや広報してほしいこと

◇「水道水の安全性などの水質に関すること」52.3%

問33 水道全般について、あなたの知りたいことや広報してほしいことは何ですか。次の中から2つまで選んでください。

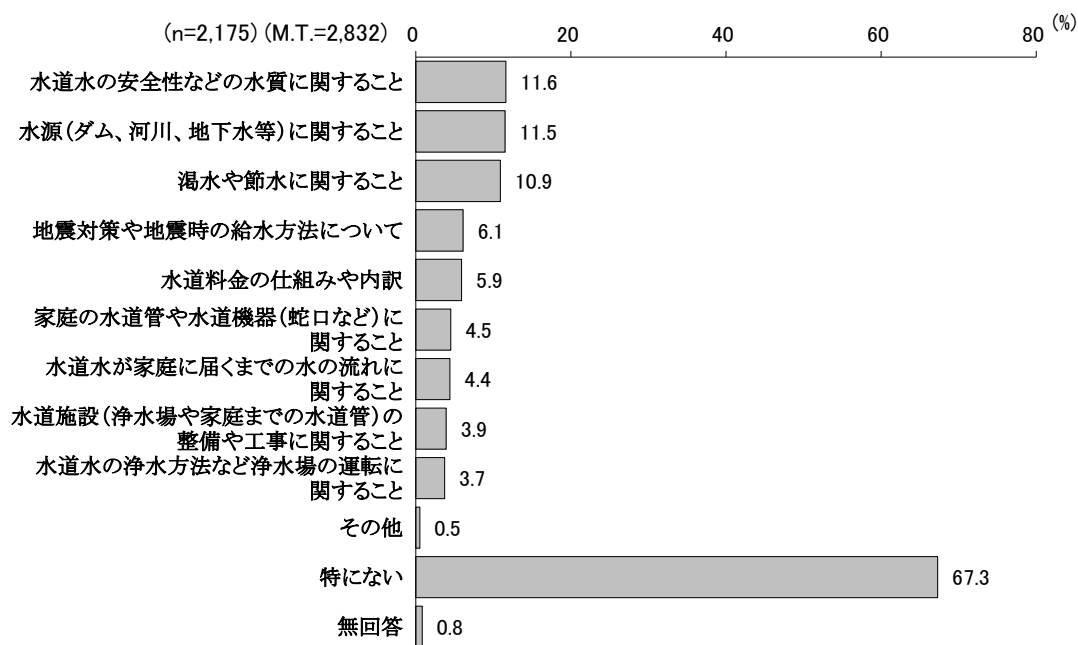


水道全般について知りたいことや広報してほしいことは、「水道水の安全性などの水質に関すること」（52.3%）が5割強と最も高く、次いで、「地震対策や地震時の給水方法について」（40.8%）、「水道料金の仕組みや内訳」（14.0%）、「喝水や節水に関すること」（13.2%）などとなっている。

（４）水道全般の情報について調べたものや広報活動により知ったもの

◇「水道水の安全性などの水質に関すること」11.6%、「水源（ダム、河川、地下水等）に関すること」11.5%、「喝水や節水に関すること」10.9%

問34 あなたはここ5年間で、水道全般の情報について調べたものや広報活動により知ったものがありますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

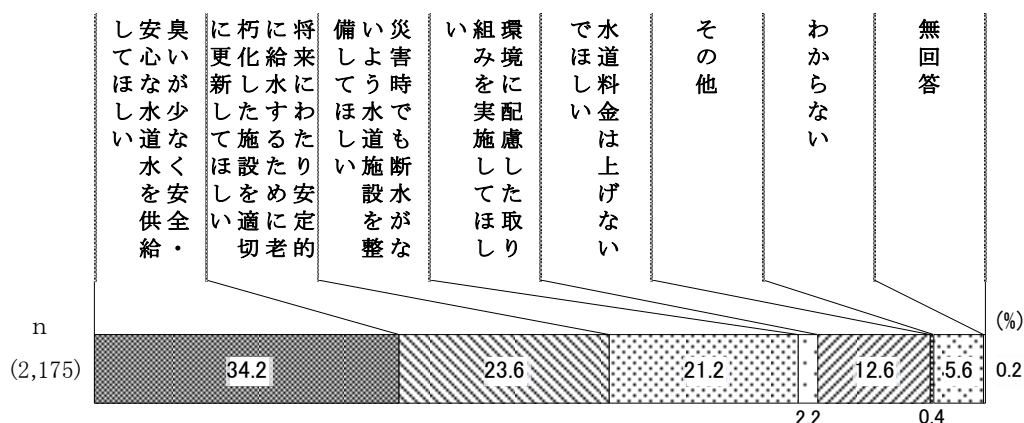


水道全般の情報について調べたものや広報活動により知ったものは、「特にない」(67.3%)が6割台半ばを超えて最も高くなっている。知ったものの中では、「水道水の安全性などの水質に関すること」(11.6%)、「水源(ダム、河川、地下水等)に関すること」(11.5%)、「喝水や節水に関すること」(10.9%)が1割を超えている。

（５）今後の水道経営で優先すべき施策

◇「臭いが少なく安全・安心な水道水を供給してほしい」34.2%

問35 水道は将来にわたって安全・安心な水を安定的に供給するため、適切な投資を継続的に実施し、それを料金に反映させて経営を維持させています。あなたは今後の水道経営はどのような施策を優先すべきと考えますか。次の中から最も優先すべきものを一つ選んでください。

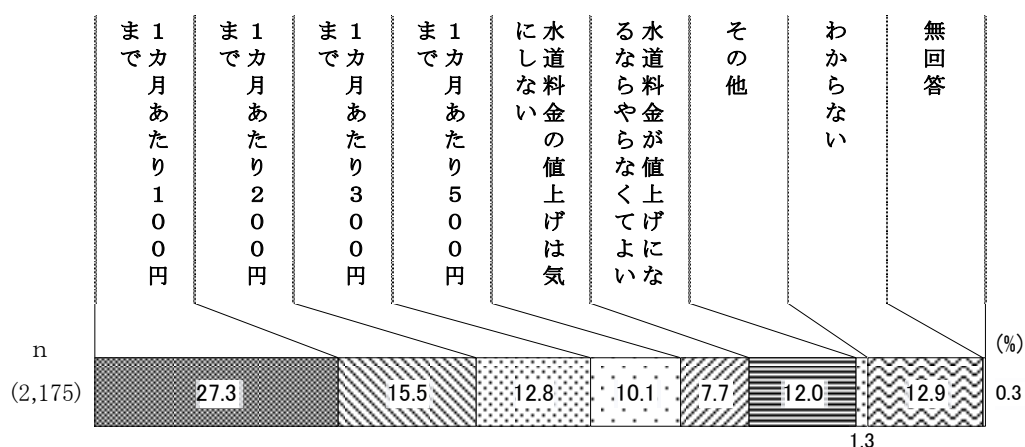


今後の水道経営で優先すべき施策については、「臭いが少なく安全・安心な水道水を供給してほしい」（34.2%）が3割台半ばと最も高く、次いで「将来にわたり安定的に給水するために老朽化した施設を適切に更新してほしい」（23.6%）と「災害時でも断水がないよう水道施設を整備してほしい」（21.2%）が2割強となっている。

（６）「高度浄水処理」のための水道料金の値上げ

◇「１カ月あたり100円まで」27.3%、「水道料金が値上げになるならやなくてよい」12.0%

問36 「高度浄水処理」は、オゾンや微生物の働きにより、臭いの元となる物質や有害な物質をより確実に取り除くことができる浄水処理方法です。より安全・安心な水道水となる反面、水道料金が値上げになる場合があります。あなたはどの程度までなら料金の値上げを許容できますか。最も近いものを一つ選んでください。（金額は各家庭で1ヶ月あたりに支払う水道料金です。）



「高度浄水処理」のための水道料金の値上げについては、「１カ月あたり100円まで」（27.3%）が2割台半ばを超えて最も高く、次いで「１カ月あたり200円まで」（15.5%）が1割台半ば、「１カ月あたり300円まで」（12.8%）が1割強となっている。一方で、「水道料金が値上げになるならやなくてよい」（12.0%）が1割強となっている。

世論調査実施状況

(参考資料)

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
1	昭和43年度	8月16日～9月2日	県政全般(県政への関心、暮らし向き、青少年、教育、保健、スポーツ、社会福祉、住宅、環境等)	1,500	個別面接聴取法	84.0%
2	昭和44年度	7月15日～31日	県政全般(自治意識、暮らし向き、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、環境、消費生活等)	1,500	個別面接聴取法	81.3%
3	昭和45年度	9月20日～10月10日	県政全般(自治意識、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、公害、消費生活、農業等)	1,500	個別面接聴取法	86.5%
4		11月9日～24日	広報、具体的な広報の媒体、広聴	1,500	個別面接聴取法	89.1%
5	昭和46年度	9月20日～10月3日	近隣社会、居住環境	1,500	個別面接聴取法	90.7%
6		11月26日～12月9日	大災害に関すること(一般的関心、地震、防火、避難、近隣組織、職場・外出先での対策、地震に対する備えについて)	1,500	個別面接聴取法	86.6%
7	昭和47年度	10月26日～11月4日	県政全般(公害・交通問題、県民の健康とくらし、教育・文化・スポーツを伸ばす等)	1,500	個別面接聴取法	82.5%
8	昭和48年度	11月14日～26日	県政全般(広報、自然環境と開発、福祉、消費生活、ごみ処理、保健、商工、農林、労働、都市環境、教育等)	1,500	個別面接聴取法	84.7%
9	昭和49年度	8月15日～27日	県政全般(現在の住まい、広報、公害、交通、健康、県民のくらし、学校教育、自然保護等)	1,500	個別面接聴取法	80.9%
10	昭和50年度	8月上旬～中旬	県政全般(公害、交通安全、災害、警察、医療、福祉、教育、自然保護と開発、水、住宅、ごみ、商工、農林等)	1,500	個別面接聴取法	77.1%
11		3月9日～18日	学校教育、生活環境、自然環境	1,500	個別面接聴取法	83.0%
12	昭和51年度	7月20日～31日	水問題、福祉問題、コミュニティ問題	1,500	個別面接聴取法	83.9%
13	昭和52年度	6月15日～30日	地域社会、地域福祉、文化活動、医療、献血、暴走族、県政への満足度、県民討論会、県政全般	1,500	個別面接聴取法	83.6%
14	昭和53年度	7月14日～26日	文化の問題、婦人の問題、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.1%
15	昭和54年度	7月10日～26日	みどりの環境、地震災害、県政全般	1,500	個別面接聴取法	81.9%
16	昭和55年度	7月25日～8月11日	老人福祉、21世紀のまちづくり、地価及び宅地問題、県政全般	1,500	留置記入依頼法	87.5%
17	昭和56年度	7月25日～8月14日	水問題、障害者福祉、県政全般	1,500	個別面接聴取法	84.1%
18	昭和57年度	7月23日～8月12日	交通安全、行政改革、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	82.5%
19	昭和58年度	7月20日～8月14日	21世紀の県民生活、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.7%
20	昭和59年度	7月20日～8月12日	みどり、快適な環境、文化活動、サービス業、県税、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	80.4%
21	昭和60年度	7月18日～8月11日	高齢化社会、コミュニティ、学校教育、平和、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	78.4%
22	昭和61年度	7月9日～8月14日	国際交流、健康、快適な環境、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.1%
23	昭和62年度	6月1日～30日	住環境、景観、交通網、生涯学習、ボランティア活動、社会意識、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	80.2%
24	昭和63年度	7月1日～31日	県民生活、土地問題、ごみ処理、文化活動、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.7%
25	平成元年度	6月23日～7月23日	高度情報化施策、男女平等意識、青少年健全育成、埼玉コロシウム・埼玉メッセ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
26	平成2年度	7月4日～29日	環境保全、交通安全、県税、お墓、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	78.1%

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
27	平成3年度	7月5日～8月4日	スポーツ・レクリエーション活動、道路整備、ペット問題、商品包装、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.5%
28	平成4年度	6月26日～7月26日	住宅問題、防災、高度情報化施策、個人情報の保護、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.0%
29	平成5年度	7月9日～8月4日	新しくにづくり、人と環境にやさしいリサイクル県づくり、国際化とまちづくり、住みよさ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.2%
30	平成6年度	7月8日～8月10日	消費生活、ボランティア活動・福祉活動への参加について、子どもと家族、県の広報について、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
31	平成7年度	7月1日～31日	21世紀の彩の国さいたまの将来像、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	78.3%
32	平成8年度	7月10日～8月11日	ごみ減量化について、身近な自然について、健康と医療サービスについて、高度情報化施策について、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.3%
33	平成9年度	8月16日～9月15日	県政情報、安全な暮らし(防災、高齢者の交通安全、犯罪)、墓地、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.8%
34	平成10年度	7月10日～8月9日	国民体育大会、青少年問題、公園、高齢者福祉、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.9%
35	平成11年度	7月9日～8月8日	埼玉県の緑、子育て支援、ボランティア活動、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
36	平成12年度	7月8日～8月7日	環境全般・環境学習について、公害問題について、廃棄物問題・リサイクルについて、有害な化学物質について、地球温暖化について、環境保全活動について、今後の県の取り組み、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.7%
37	平成13年度	6月30日～7月30日	保健・医療、文化・芸術、国際交流・国際協力、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.2%
38	平成14年度	7月6日～8月5日	農林業の役割、屋外照明による生活環境への影響、日常生活、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
39	平成15年度	7月15日～8月5日	防犯、水環境、食の安全、日常生活、生活意識、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	67.3%
40	平成16年度	7月13日～8月10日	生活意識、日常生活、森林環境、地球温暖化、子どもの虐待、スポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.4%
41	平成17年度	7月2日～8月1日	生活意識、日常生活、子育て支援、みどりの環境税制、消費生活、まちづくり・住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.9%
42	平成18年度	7月8日～8月14日	生活意識、日常生活、生活範囲とまちづくり、外国人との共生、団塊世代等の人材活用、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	65.3%
43	平成19年度	7月13日～8月6日	生活意識、日常生活、消費生活、子どもの安全対策、県民のスポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.4%
44	平成20年度	7月11日～8月8日	生活意識、日常生活、住みよさ、みどりと川の再生、大学と地域の連携、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.8%
45	平成21年度	7月10日～8月3日	生活意識、日常生活、定住意向、スポーツ振興、水道の未来づくり、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.0%
46	平成22年度	7月9日～8月2日	生活意識、日常生活、消費生活、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.1%
47	平成23年度	7月8日～8月1日	生活意識、日常生活、住みよさ、自転車利用、生涯学習、買い物弱者、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.7%
48	平成24年度	7月6日～29日	生活意識、日常生活、定住意向、健康長寿埼玉、震災前後における省エネ・創エネに関する意識と行動の変化、県教育行政、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.1%
49	平成25年度	7月5日～28日	生活意識、日常生活、個人情報の保護と活用、埼玉県ホームページの利用状況、生涯学習、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.0%
50	平成26年度	7月4日～27日	生活意識、日常生活、住みよさ、埼玉版ウーマノミクスプロジェクト、治水対策、食品ロスの削減、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	70.8%
51	平成27年度	7月3日～26日	生活意識、日常生活、定住意向、人口減少問題、大地震への備え、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	71.9%
52	平成28年度	7月8日～31日	生活意識、日常生活、スポーツ振興、認知症、水道の利用、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	72.5%



埼玉県マスコット「コバトン&さいたまっち」